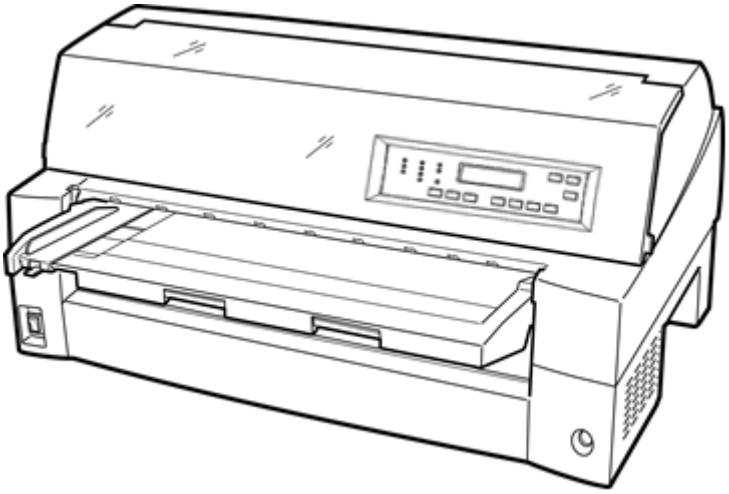
ドットインパクトプリンター

fit7850Pro-H
fit7650Pro-H

プリンター装置

取扱説明書



富士通アイソテック株式会社

はじめに

このたびは、fit プリンターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本取扱説明書は、プリンターの取り扱い方法や正しい操作方法などについて説明したものです。
ご使用いただく前に、必ず最後までお読みください。

■重要なお知らせ

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■規制、対策などについて

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI－B

●電源の瞬時電圧低下対策について
落雷等による電源の瞬時電圧低下対策に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人　電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●高調波ガイドライン適合について
本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立正-第 3-2 部：限度値-高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標値レベルに適合して設計・製造した製品です。

●輸出管理規制について
本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、お問い合わせ先にお問い合わせください。

●本製品およびオプション品のハイセイフティ用途について
本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

●保守用部品について
本プリンターの保守用部品の保有期間は製造打ち切り後 5 年です。

© 2020-2026 富士通アイソテック株式会社

プリンターを安全にお使いいただくために

●安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

・操作は、この取扱説明書内の指示、手順に従って行ってください。

・装置や取扱説明書に表示されている注意事項は必ず守ってください。

これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

●シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。

これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。

⚠ 警告　これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。

⚠ 注意　これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

注意　これは、装置の重大な損害、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

【表記例 1】感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。

【表記例 2】分解禁止

⃠の図記号は行ってはいけないことを示し、⃠中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。

【表記例 3】電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

●操作や動作は

取扱説明書に記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員をお呼びください。

●自分自身でもご注意を

装置や取扱説明書に表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

⚠警告

異常な熱さ、煙、異常音、異臭
万一異常が発生した場合は、電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

ケースカバーの取り外し
ケースカバーを取り外さないでください。内部に高電圧の部分があり、触れると感電の原因になります。

接地付き電源コードと接地接続のあるコンセントを使用してください。
電源を接続する前に必ず以下のいずれかにアース接続してください。
- 電源コンセントのアース線
- 銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種（第 3 種））を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。
アース接続は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に行って下さい。
また、アース接続を外す場合は、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

プリンター内部への異物の混入
通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

プリンターの上に物を置く
花びん、植木鉢など水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、発火の原因になります。

電源コードの扱い
電源コードは必ず付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したりショートや一部断線で、過熱して感電や火災の原因になります。
・ものを載せない
・引っ張らない
・押しつけない
・折り曲げない
・加工しない
・熱器具のそばで使わない
・束ねない

電源プラグの抜き差し
・電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
・休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
・電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

電源プラグの接触不良やトラッキング
電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。
・電源プラグは根本までしっかり差し込んでください。
・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布なので拭き取ってから、差し込んでください。
・グラグラしないコンセントを使ってください。

⚠警告

落下などによる衝撃
落下させたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災の原因になります。

使用する電源
使用できる電源は交流１００Ｖです。
それ以外では使用しないでください。
電圧の大きさに従って内部が破損したり過熱・劣化して感電や火災の原因になります。

修理・改造・分解
本書の指示に従って行うオプションなどの増設作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。
特に電源ユニット内部は高電圧部が数多くあり、万一さわると危険です。

日本国外での使用
本プリンターは日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており、本プリンターは適合していません。

タコ足配線
同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。

温度差のある場所への移動
移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

湿気やほこりの多い場所での使用
浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

通気孔
通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。
内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。

揮発性液体の近くでの使用
マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、プリンターの近くで使わないでください。プリンターの中に入って引火すると火災の原因になります。

オプションの接続
オプション接続するときは、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類をプリンターから外してください。
また、マニュアルの説明に従い、マニュアルで使用できることが明記されたオプションを使用してください。それ以外のオプションを使用すると、接続仕様の違いによる故障から発煙、発火、火災や故障の原因になります。

ポリ袋の取り扱い
ポリ袋をかぶったりすると窒息するおそれがあります。特に小さなお子様のいる所では、取り出したらすぐにお子様の手の届かない所へかたづけてください。

⚠注意

プリンター内部品への接触
使用直後のプリンターの印字機構部は、高温になっています。冷めるまで待ってください。触れるとやけどの原因になります。

アルミ電解コンデンサーについて
このプリンターに使用されているアルミ電解コンデンサーは有寿命部品です。設計寿命は、月２００時間使用で約５年です。寿命になると、電解液の漏れや枯渇が生じます。特に電源ユニットでの電解液漏れは、発煙の原因になることがあります。これらの危険を避けるために、設計寿命を越えて使用する場合は、有寿命部品単位で交換してください。また、業務用など昼夜連続運転相当では５年より寿命は短くなります。

金属などの端面への接触
移動するなどで鉄板やプラスチックなどの端面に触れる必要がある場合は、注意して触れてください。けがをするおそれがあります。

不安定な場所での使用
傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。印刷中のプリンターは強い振動を発生するため、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
また、トップカバーをあけて消耗品の交換などを行っている時に、トップカバーが閉じてけがをするおそれがあります。

目的以外での使用
踏み台など目的以外に使用しないでください。壊れたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

ケーブルの接続
ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。足をひっかけると、けがをするおそれがあります。

接続端子への接触
ネットワークケーブルのコネクターなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。金属片のある場所に置かないでください。発煙したり、接触不良などにより故障の原因になります。

注意

動作中のカバーの開閉
プリンターのカバーは動作中に開けないでください。けがの原因になります。

電波障害について
ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。
・テレビやラジオなどからできるだけ離す
・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
・コンセントを別にする

屋外での使用
屋外では使用しないでください。故障の原因になります。

プリンターの廃棄
プリンターを廃棄するときには、廃棄物管理表（マニュフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、お買い求め先にご相談いただくか、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。

警告マークについて

この取扱説明書では、安全上の注意事項を記述した箇所に、警告表示とともにその内容を示す警告マークを配置して、一目で分かるように配慮しています。
使用している警告マークの意味は以下のとおりです。内容をよく理解したうえで、お読みください。

高温注意

高温による傷害の可能性について記述していることを示します。

発火注意

発火する可能性について記述していることを示します。

接触禁止

機器の特定の場所に触れる事によって傷害が起こる可能性について記述していることを示します。

分解禁止

機器を分解することにより、感電などの傷害が起こる可能性について記述していることを示します。

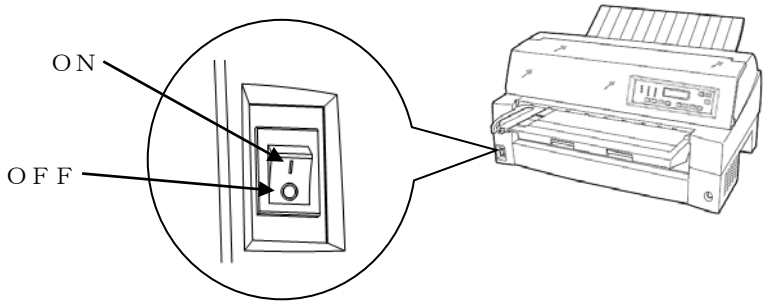
一般的禁止

特定しない一般的な禁止事項を記述していることを示します。

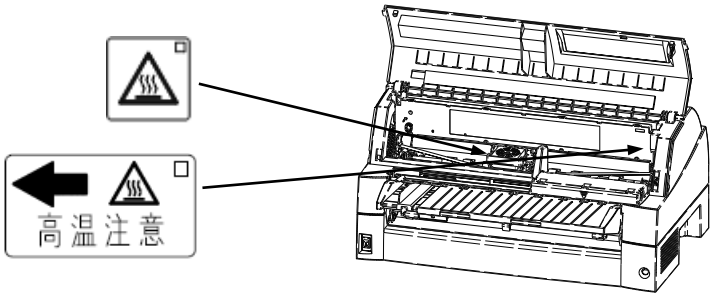
装置上のマークについて

本製品には、注意ラベル、警告ラベルが貼ってあります。
内容をご覧になり、安全にお使いください。
注意ラベル、警告ラベルは、絶対に剥がしたり、汚したりしないでください。

●電源スイッチ
プリンターの電源を ON(印刷可能状態)／OFF(印刷不可能状態)にします。



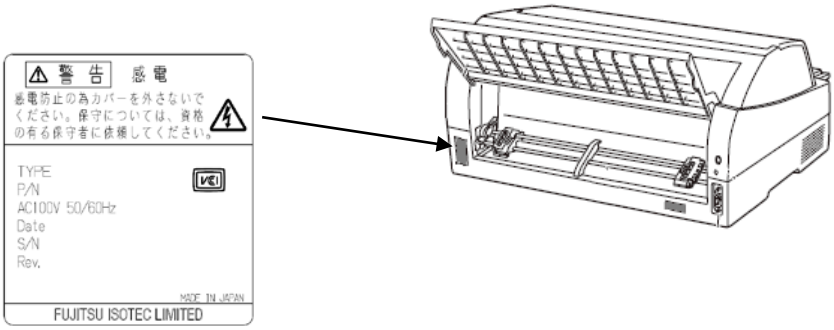
●高温注意：印字ヘッド／駆動モーター
使用中や印字した直後は、印字ヘッドやプリンター内部が高温になります。
温度が下がるまで印字ヘッドやプリンター内部に触れないでください。
けがややけどの原因となることがあります。



●警告表示

安全のため、カバーを外さないでください。

けがややけど、感電の原因となることがあります。



■取扱説明書の表記方法

●商標・略称について

・Microsoft® Windows® 11 日本語版 (以下 Windows 11)

・Microsoft® Windows® 10 日本語版 (以下 Windows 10)

・Microsoft® Windows Server® 2025 日本語版 (以下 Windows Server 2025)

・Microsoft® Windows Server® 2022 日本語版 (以下 Windows Server 2022)

・Microsoft® Windows Server® 2019 日本語版 (以下 Windows Server 2019)

・Microsoft® Windows Server® 2016 日本語版 (以下 Windows Server 2016)

その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

目　次

プリンターを安全にお使いいただくために

第１章　お使いになる前に

製品の内容 1-2

使用上のご注意 1-3

　設置場所について 1-3

　電源について 1-4

　使用方法について 1-5

各部の名称とはたらき 1-6

　各部の名称 1-6

　各部のはたらき 1-7

プリンターを設置する 1-9

　設置手順 1-9

　輸送用固定材の取り外し 1-10

　単票テーブルのセット 1-11

　単票テーブルの取り扱いについて 1-12

　リアスタッカーの取り付け 1-13

　パソコンとの接続 1-14

　電源コードの接続 1-16

電源の投入と切断 1-17

リボンカセットの取り付け 1-18

オプションの取り付け 1-22

　オートシートフィーダーの取り付け 1-23

　オートシートフィーダーの取り外し 1-31

　トラクターユニットの取り付け 1-32

　LANボードの取り付け 1-34

第２章　ソフトウエアの設定

ソフトウエアの概要 2-2
表記について 2-2
ソフトウエアの動作環境 2-2
ソフトウエアのインストール 2-3
プリンタードライバーの設定 2-5
拡張ドライバーの設定 2-6
通常ドライバーの設定 2-16
印刷設定可能範囲について 2-29
用紙サイズ 2-29
印刷設定可能範囲 2-31
用紙の印刷方向 2-34
ユーティリティーの設定 2-35
ユーティリティーを使用するために 2-35
ステータスモニター 2-36
リモートパネル 2-39

第３章　プリンターの機能とその使い方

操作パネルの機能 3-2
操作パネルランプ 3-3
操作パネルスイッチ 3-4
表示パネル 3-7
動作環境の設定 3-8
メニュー設定の変更方法 3-8
メニュー設定項目 3-11
[大項目]:オフィスモード 3-11
[大項目]:テサシ　セッテイ 3-12
[大項目]:マエASF　セッテイ 3-14
[大項目]:ウシロASF　セッテイ 3-15
[大項目]:マエレンチョウ　セッテイ 3-16
[大項目]:ウシロレンチョウ　セッテイ 3-18
[大項目]:ハードウエア　セッテイ 3-20
[大項目]:コマンドキノウ　セッテイ 3-23
[大項目]:ソノタ　セッテイ 3-24
メニュー設定初期化方法 3-26

第４章　用紙のセット

用紙をセットする 4-2
単票テーブルに用紙をセットする 4-3
連続用紙をセットする 4-7
連続用紙をカット位置に送る 4-15
オートシートフィーダーに用紙をセットする 4-16
用紙厚を調整する 4-21
印字位置を微調整する 4-23
印字開始位置を微調整する 4-23
行間ズレを微調整する（水平印字補正） 4-24

第５章　用紙について

使用できる用紙について 5-2
手差しで使用する単票用紙 5-3
オートシートフィーダーで使用する単票用紙 5-8
連続帳票用紙 5-12
とじ穴の開けかた 5-24
プレプリント用紙を使用するとき 5-25
用紙の形状について 5-28
取扱い上のご注意 5-29
再生紙の利用について 5-32
使用できない用紙 5-34
帳票設計時のご注意 5-37

第６章　保守と点検

リボンカセットの交換 6-2
リボンカセットの種類 6-2
リボンカセットの交換方法 6-3
サブカセットの交換方法 6-5
用紙づまりのとき 6-6
単票用紙がつまったとき 6-6
連続用紙がつまったとき 6-9
プリンターがうまく動かないとき 6-12
エラーメッセージが表示されている 6-12
こんなときには 6-15
保守機能 6-18
メニュー設定一覧印刷 6-18
テスト印字 6-19
ブザー音量設定 6-20
水平印字補正 6-21
HEXダンプ（16進ダンプ）印字をする 6-23
清掃のしかた 6-24
プリンターを輸送するとき 6-25
アフターサービス 6-26

付　　録

プリンターの概略仕様 A-2
　印字品質 A-3
外観図 A-4
　標準外観図 A-4
　オートシートフィーダー取り付け時の外観図 A-5
インターフェイス仕様 A-6
　パラレルインターフェイス A-6
　USBインターフェイス A-9
ネットワーク接続 A-10
自動検出機能 A-11
専用コマンド A-13
制限事項 A-21
消耗品の廃棄について A-23
有償交換部品のご案内 A-24

第 1 章

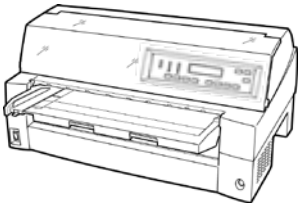
お使いになる前に

この章では、プリンターの主な特長や製品の内容、使用上の注意事項、各部の名称とはたらき、設置方法、リボンカセットの取り付け、電源の投入／切断について説明します。

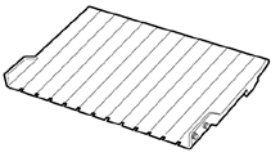
製品の内容 1-2
使用上のご注意 1-3
設置場所について 1-3
電源について 1-4
使用方法について 1-5
各部の名称とはたらき 1-6
各部の名称 1-6
各部のはたらき 1-7
プリンターを設置する 1-9
設置手順 1-9
輸送用固定材の取り外し 1-10
単票テーブルのセット 1-11
単票テーブルの取り扱いについて 1-12
リアスタッカーの取り付け 1-13
パソコンとの接続 1-14
電源コードの接続 1-16
電源の投入と切断 1-17
リボンカセットの取り付け 1-18
オプションの取り付け 1-22
オートシートフィーダーの取り付け 1-23
オートシートフィーダーの取り外し 1-31
トラクターユニットの取り付け 1-32
LANボードの取り付け 1-34

製品の内容

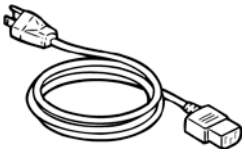
お使いになる前に、以下の製品が揃っていることを確認してください。
なお、プリンターが入っていた箱や輸送用固定材は、プリンターの保管、移設や引き取り保守等、輸送の際に必要になりますので捨てないでください。



プリンター本体

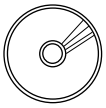


リアスタッカー

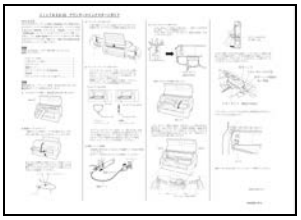


電源コード
（１本）

リボンカセット
（黒、１個）



ＣＤ－ＲＯＭ　（１枚）
（プリンタードライバー、
ユーティリティー）



クイックスタートガイド

保証書

お願い

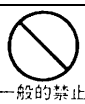
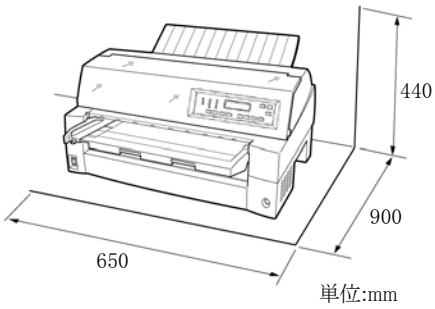
- 本プリンターにプリンターケーブルおよび USB ケーブルは含まれていません。プリンターケーブル(FMV-CBL716)、または USB ケーブル(XL-CBLU2G)を、別途用意してください。
- 保証書に必要な事項が書かれていることを確認してください。
  お買い求めのときに、正しい記載のなかった保証書は無効となり、無償保証を受けられないことがあります。
- 保証書は大切に保管してください。

使用上のご注意

このプリンターを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いします。
不明な点については、お買い求めの販売店、保守会社、または当社プリンターお問い合わせ窓口（「第6章 アフターサービス」参照）にご相談ください。

設置場所について

⚠警告

	湿気やほこりの多い場所での使用 浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。
 一般的禁止	・長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。 温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。 周囲温度:5℃～35℃ 周囲湿度:35%～80%（結露しないこと） ・水平で安定した場所に設置してください。 ・通風口をふさがないでください。 ・振動のある場所には設置しないでください。 ・落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。 ・ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所、火気のある場所、水気のある場所は避けてください。 ・磁石はもちろん、テレビやスピーカーなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。 ・紙など燃えやすいものの上に設置しないでください。
 お願い	プリンターを設置するときに必要なスペースは、右図のとおりです。十分なスペースがないと正しい設置や操作ができません。図を参考にしてゆとりのある水平な設置場所を確保してください。 

電源について

次の電圧、周波数の範囲の電源を利用してください。

・電源電圧：AC100V±10%

・電源周波数：50/60Hz，±1Hz

⚠警告

万一、プリンターから発熱・異臭・異常音が発生したら、すぐに電源を切断した上で、お買い求めの販売店、保守会社、または当社プリンターお問い合わせ窓口（「第6章　アフターサービス」参照）にご連絡ください。

感電や発火・発煙のおそれがあります。

使用方法について

⚠警告

一般的禁止

・プリンターの上に物を置かないでください。
・長時間プリンターを使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
・万が一、近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
　入れたままにしておきますと、機器を破壊し、お客様の財産に損害をおよぼす可能性があります。
・用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。
　印字ヘッドやプラテンが傷みます。

⚠注意

高温注意

印字ヘッドは高温になります。温度が下がるまで触らないでください。
　やけど・けがのおそれがあります。

⚠注意

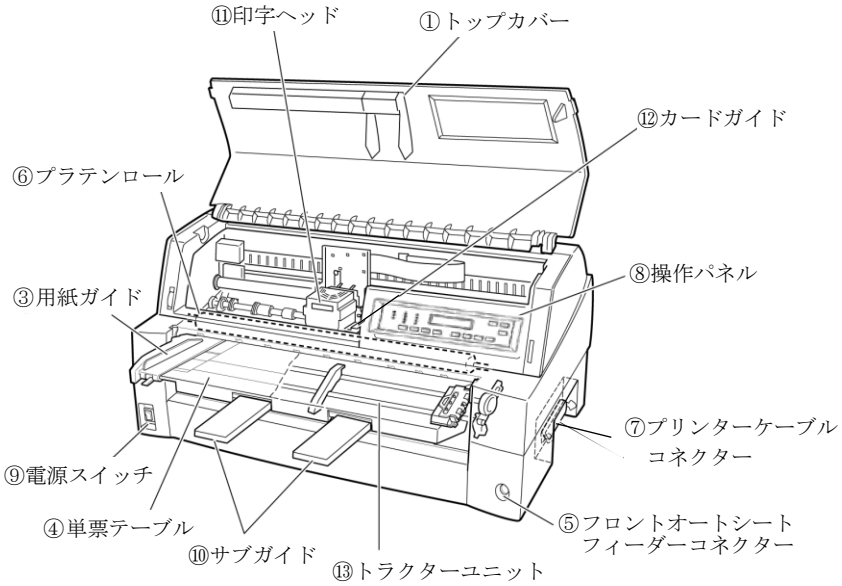
接触禁止

・プリンターケーブルコネクターや印字ヘッドの金属部には触らないでください。
・印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、電源を切ったりしないでください。
　やけど・けがのおそれがあります。

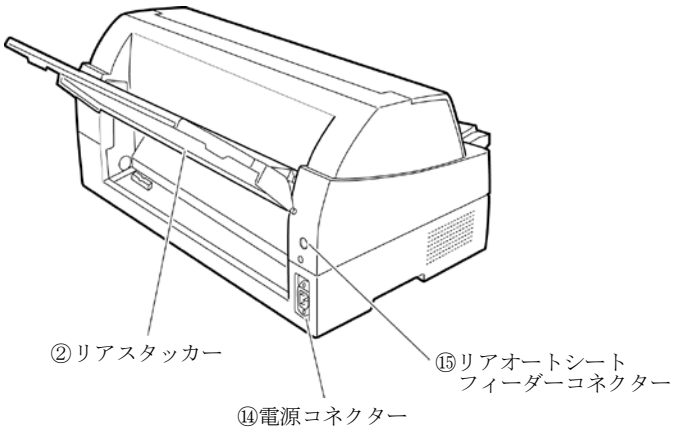
各部の名称とはたらき

各部の名称

正面



背面



各部のはたらき

各部の名称	はたらき
①トップカバー	オペレーターが動作中の印字ヘッドに触れない様に保護します。また印字ヘッドをホコリやチリから守ります。
②リアスタッカー	単票用紙をスタックします。
③用紙ガイド	イージーセット機能オフの場合に、単票手差し時に用紙の左端を支えます。印字開始位置に対して用紙ガイドを移動することにより、左端余白を調整できます。 イージーセット機能オンの場合は使用しないので、左端に寄せておきます。
④単票テーブル	手差し単票用紙を使用するときのテーブルです。
⑤フロントオートシート フィーダーコネクター	オプションのオートシートフィーダーを前部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクターです。
⑥プラテンロール	印字時に用紙を支えます。
⑦プリンターケーブル コネクター	パラレルまたは USB プリンターケーブルをここに接続して、プリンターとパソコンをつなぎます。 オプションの LAN ボードを接続する場合は、オプションインターフェイスカバーを外して挿入します。
⑧操作パネル	プリンターの状態表示、プリンターを操作するための各種スイッチがあります。
⑨電源スイッチ	「｜」側を押すと電源が入り、「○」側を押すと電源が切れます。
⑩サブガイド	長い単票を使用するとき、引き伸ばして用紙がプリンターから落下しないようにするものです。
⑪印字ヘッド	用紙に印字する部分です。
⑫カードガイド	用紙を送るときの案内板です。また、カードガイド上の二本線は、行方向の印字位置を合わせるための目安です。
⑬トラクターユニット	連続帳票用紙をプリンター内部へ送ります。プリンターの前部または後部に取り付けることができます。
⑭電源コネクター	電源コードを接続します。
⑮リアオートシート フィーダーコネクター	オプションのオートシートフィーダーを後部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクターです。

⚠注意

・印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
・印字中は、トップカバーを開けないでください。
トップカバーを開けると、途中で印字が中断されます、カバーを閉じた後に、自動的に中断した位置から印字を再開しますが、印字品質が低下する事が有ります。
・プリンターケーブルコネクターや印字ヘッドの金属部には触らないでください。
機器の破壊、けがのおそれがあります。

⚠注意

印字直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。
やけど・けがのおそれがあります。

プリンターを設置する

プリンターが届いたら、箱から出して輸送用梱包材を取り外し、リアスタッカーを取り付けてパソコンや電源と接続します。

設置手順

プリンターは下記の手順を確認しながら設置してください。

1 製品がすべてそろっていることを確認する

2 カバー、部品を固定しているテーピング、固定部材を外す

3 単票テーブルをセットする

4 トップカバーを開けて輸送用固定材を外す

5 リアスタッカーを取り付ける

6 パソコンと接続する

7 電源コードを接続する

8 リボンカセットを取り付ける

9 必要に応じて、オプションを取り付ける

10 プリンタードライバーをインストールする

輸送用固定材の取り外し

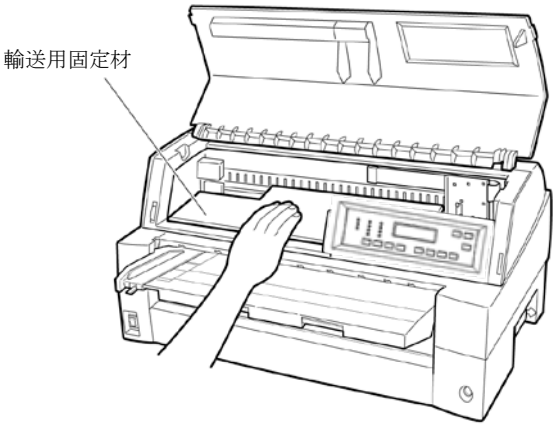
輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。プリンターを使用する前に、必ず取り外してください。

取り外した輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンターを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

⚠警告

ポリ袋をかぶったりすると窒息するおそれがあります。特に小さなお子様のいる所では、取り出したらすぐにお子様の手の届かない所へかたづけてください。

両サイドの突起部を持ちながらトップカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を抜き取ります。

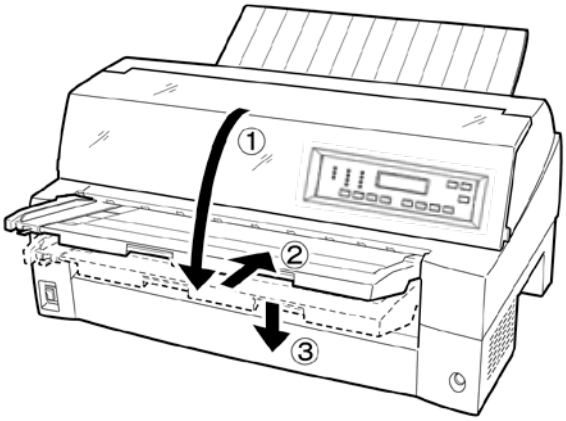


⚠警告

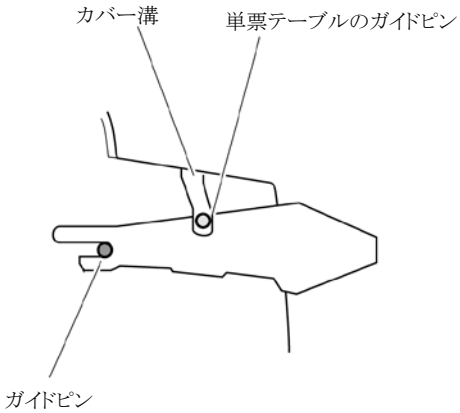
プリンター本体のカバーや差し込み口についているカバーは、オプションを取り付けるなど必要な場合を除いて取り外さないでください。
　内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

単票テーブルのセット

単票テーブルを手前に倒した(①)のち、奥に押し込んで(②)セットします(③)。



セット完了状態は、単票テーブルの先端がプリンターのガイドピンに挿入され単票テーブルのガイドピンがカバーの溝に入っていることを確認してください。



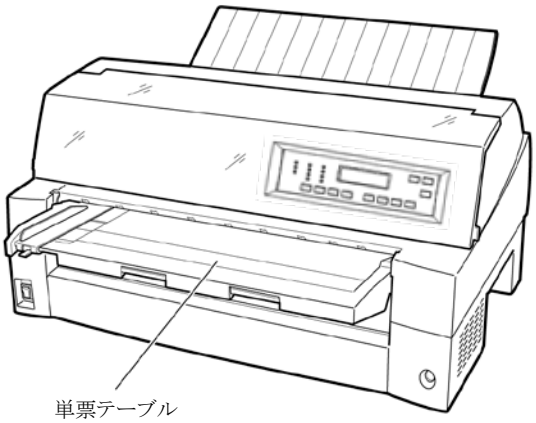
お願い	単票テーブルの操作の途中で、無理な力をかけないでください。破損の原因となります。また、途中の状態で放置しないようにしてください。 単票テーブルをセットしている途中の状態で使用すると、用紙づまりの原因となります。

単票テーブルの取り扱いについて

単票テーブルは、連続帳票用紙を前トラクターにセットするときや、オートシートフィーダーをプリンター前部に取り付けるときに、いったん開閉する必要があります。
単票テーブルの開閉方法については、第4章の「連続用紙をセットする」または第1章の「オートシートフィーダーの取り付け」を参照してください。

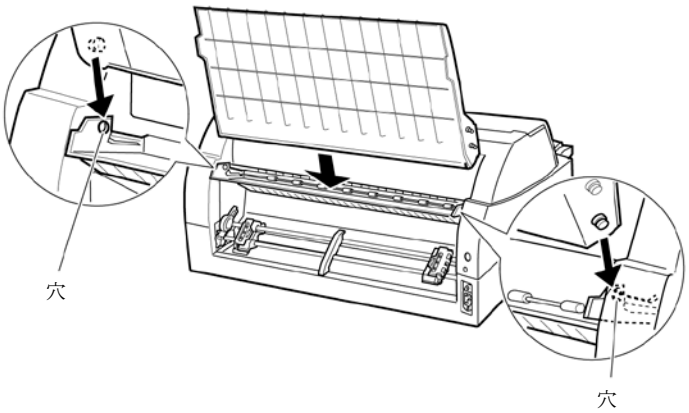
通常時

通常は下図のような状態です。



リアスタッカーの取り付け

下図のようにプリンター背面のスタッカーガイドの内側の穴にリアスタッカー両側の突起をはめます。



パソコンとの接続

このプリンターは、セントロニクス仕様のパラレルインターフェイスと、USB インターフェイスを備えています。
プリンターケーブルおよび USB ケーブルは接続するパソコンによって異なります。
プリンターケーブルおよび USB ケーブルは、純正品の使用をお奨めします。

⚠警告

プリンターケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。

注意

プリンターケーブルまたは USB ケーブルの接続は間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、プリンター本体およびパソコン本体が故障する原因となることがあります。

パソコンとの接続は、次の手順で行います。

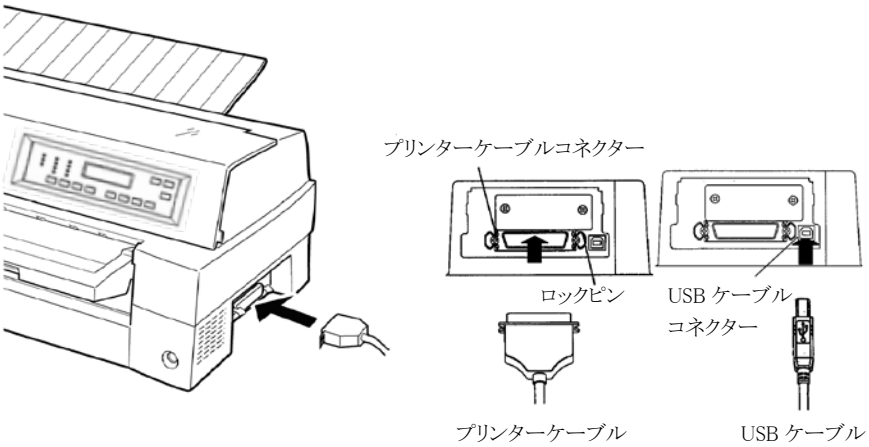
1　プリンターとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2　プリンターケーブルをプリンターに接続する

パラレルインターフェイスの場合、プリンターケーブルの一方のプラグを、プリンター右側面のパラレルインターフェイスコネクターに差し込み、左右のロックピンで固定します。
プリンターケーブルは純正品(FMV-CBL716)の使用をお奨めします。

USB インターフェイスの場合、USB ケーブルの一方のプラグを、プリンター右側面の USB インターフェイスコネクターに差し込みます。
USB ケーブルは純正品(XL-CBLU2G)の使用をお奨めします。



3　プリンターケーブルのもう一方のプラグをパソコンに接続する

接続の方法は、お使いになるパソコンのマニュアルをご覧ください。

お願い

・USB インターフェイスとパラレルインターフェイスの同時接続はできません。

‥ ガイド ‥

・本プリンターの USB インターフェイスは USB2.0 仕様です。

電源コードの接続

⚠警告

発火注意

・接地付き電源コードと接地接続のあるコンセントを使用してください。
・必ずアース接続を行ってください。
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。
アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
・表示された電源電圧以外のコンセントは使用しないでください。
また、タコ足配線をしないでください。火災・感電のおそれがあります。
・電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。
・電源コードは、必ず付属のものを使用してください。

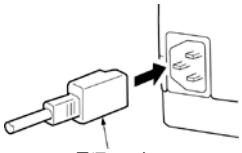
電源コードの接続は、次の手順で行います。

1　プリンターとパソコンの電源を切る

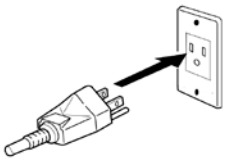
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2　プリンターに電源コードを差し込む

プリンター背面の電源コネクターに電源コードを接続します。



3　電源コードのプラグをコンセントに接続する



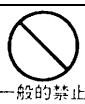
電源の投入と切断

プリンターの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

⚠注意

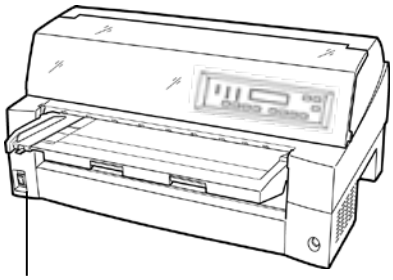
お願い

購入後初めてプリンターに電源を入れるときは、次の点を確認してください。
・輸送用固定材（印字ヘッド部保護用固定材）が取り外してあること
・電源コンセントの電源仕様が AC125V 15A、周波数が 50 または 60Hz であること


一般的禁止

・電源の切断は、緊急の場合を除いて必ず電源スイッチで行ってください。
電源プラグを電源コンセントから抜いて電源を切ると、プリンター内の回路を傷めたり、印字データを壊したりする場合があります。
・印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
・電源を切った後、再び電源を入れる場合は 1 分待ってください。
間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

プリンター前面左側の電源スイッチにより、電源のON、OFFを行います。


電源スイッチ

電源ON

「｜」側に倒れている状態

電源OFF

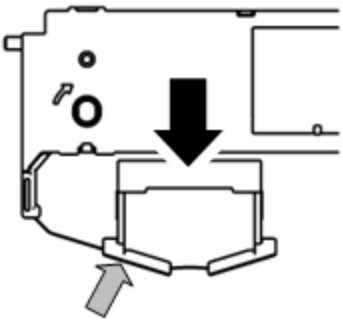
「○」側に倒れている状態

リボンカセットの取り付け

リボンカセットの取り付けは、次の手順で行います。

1　リボンカセットからリボンガイドを外す

リボンカセットからリボンガイドをゆっくりと外します。なお、リボンのよじれを避けるため、ガイドを外す前にカセットのツマミを回したり、ガイドを急激に引き抜いたりしないようご注意ください。



リボンガイド

2　プリンターをリボンが交換できる状態にする

印字ヘッドの輸送用固定材が取り外されていることを確認した後、トップカバーを閉じた状態で電源を投入します。印字ヘッドが移動し、リボン交換位置に停止することを確認します。

お願い

トップカバーが開いていると印字ヘッドは動作しません。トップカバーを閉めて電源を投入してください。

3　プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

4 トップカバーを開ける

トップカバーを開けるときは、後方に押しすぎないでください。

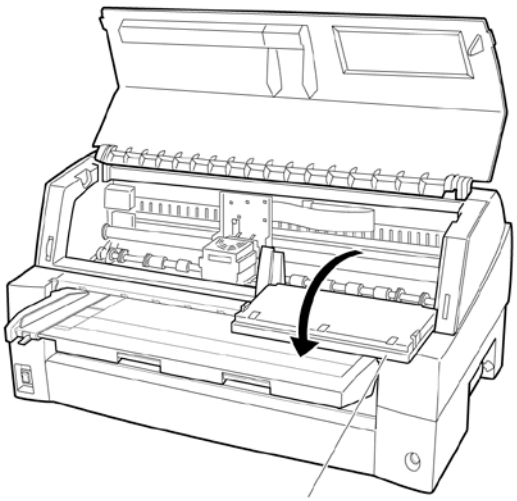
5 印字ヘッドがリボン交換位置（プリンター本体に刻印があります）にあることを確認する

印字ヘッドがリボン交換位置にない場合は、印字ヘッド部分を持ち、ゆっくり横方向へ移動させてください。

⚠注意

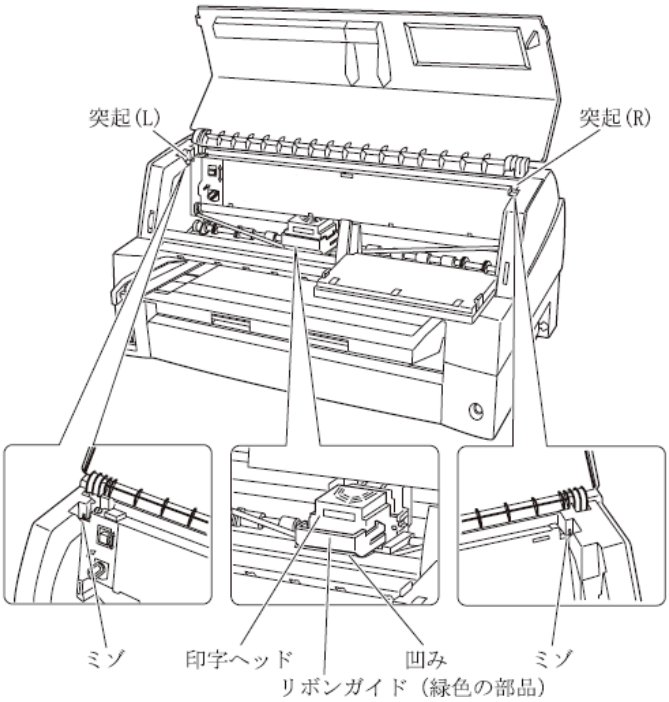
使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまでさわらないでください。
やけどのおそれがあります。

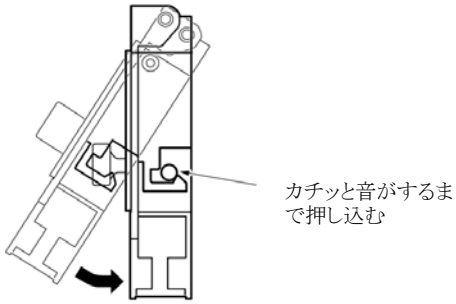
6 操作パネルを手前側に倒す



7　リボンカセットを取り付ける

リボンガイドを印字ヘッド手前の凹みに置きます。次にリボンカセット両側の突起(L),(R)をプリンター上部のミゾに入れ、リボンカセットが垂直になるように左右下部をカチッと音がするまで奥に押し込みます。

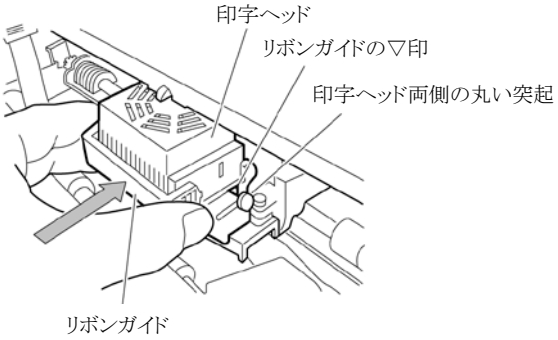




リボンカセット側面図

8 リボンガイドを取り付ける

リボンを軽くたるませた状態で、リボンガイドの▽印部を印字ヘッド左右両側の丸い突起にしっかりとはめ込みます。この際リボンがよじれないようにご注意ください。

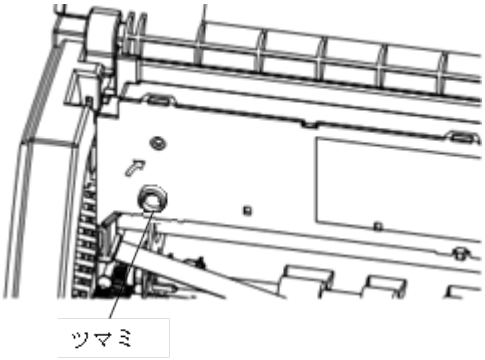


お願い

- リボンカセット装着の前にリボンカセットのツマミは回さないでください。
- リボンを張った状態でリボンガイドを装着すると、リボンが折れたりよじれたりして、正常に送られなくなることがあります。
- リボンカセットのツマミは反時計方向に回さないでください。リボンがロックして回転できなくなります。
- リボンがたるんだまま印刷すると、リボンがからまったりロックすることがあります。

9 リボンのたるみを取る

リボンカセットのツマミを矢印の方向(時計回り)に回して、リボンのたるみを取ります。



10 操作パネルを元に戻す

11 トップカバーを閉める

トップカバーを閉めるときは、両側のロックが鳴るまで確実に閉めてください。

オプションの取り付け

本プリンターには、次のオプションがあります。

オートシートフィーダー

単票用紙を一枚ずつ連続的に送る自動給紙装置です。プリンターの前部または後部に取り付けて使用します。

トラクターユニット

連続帳票用紙をセットする装置です。プリンターに標準添付されているトラクター同様にプリンターの前方、後方のどちらにでも取り付けることができます。トラクターユニットを追加することにより、同時に 2 種類の連続帳票用紙をセットすることができます。

ＬＡＮボード

本プリンターをネットワークプリンターとして使用する場合に接続します。

⚠警告

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。感電・火災または故障の原因となります。

・プリンターの前方にオートシートフィーダーを取り付けた場合、トラクターユニットをプリンター前方には取り付けられません。取り外したトラクターユニットはプリンターの後方に取り付けられます。

オートシートフィーダーの取り付け

オートシートフィーダーは、プリンターの前部または後部に取り付けて使用します。前後両方に取り付けることもできます。

⚠警告

オートシートフィーダーを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。

メモ

・プリンターの前方にオートシートフィーダーを取り付けた場合、トラクターユニットをプリンター前方には取り付けられません。取り外したトラクターユニットはプリンターの後方に取り付けられます。

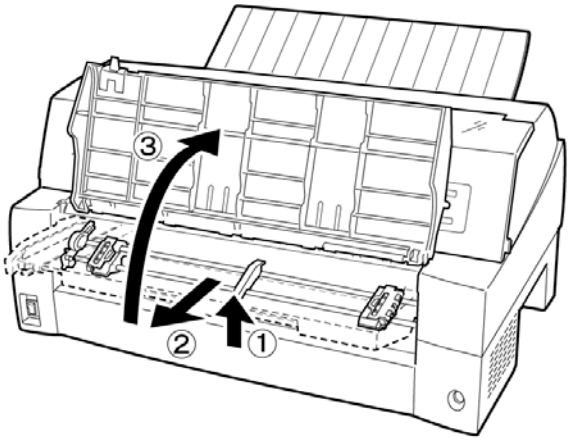
プリンター前部に取り付ける

1　プリンターの電源を切る

プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

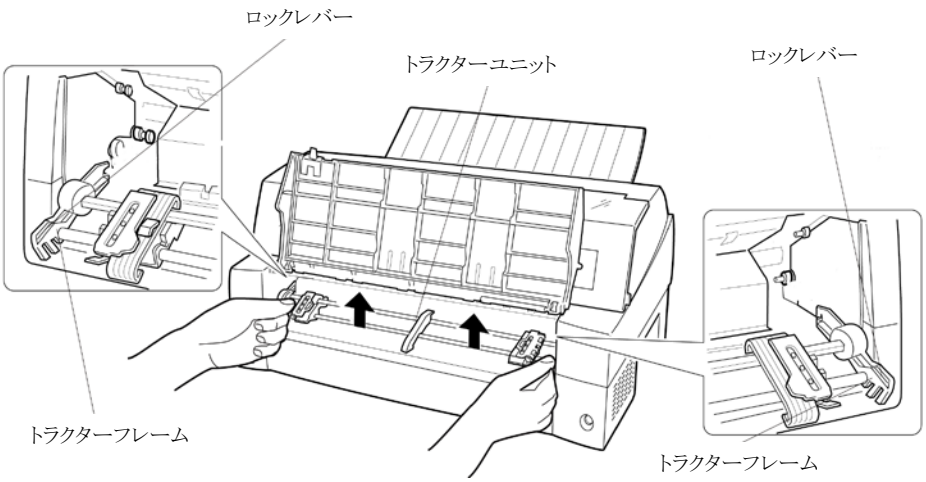
2　単票テーブルを開く

単票テーブルの先端を少し持ち上げ(①)、手前に引いた後(②)、回転させて開きます(③)。



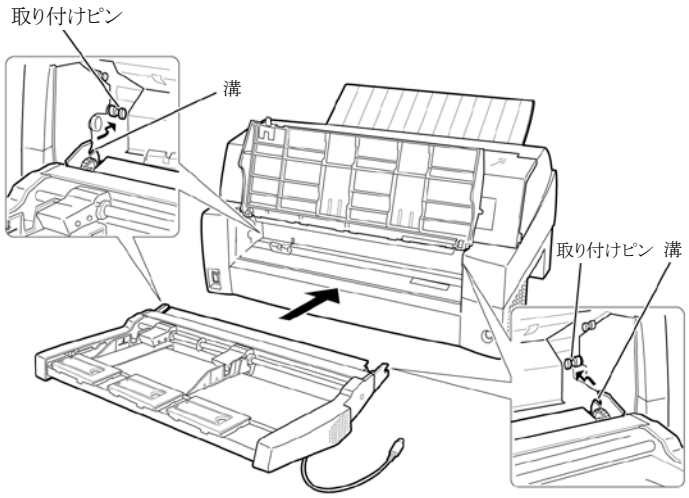
3 トラクターユニットを取り外す

トラクターユニットの左右にあるトラクターフレーム部のロックレバーを押して外した状態で、上方に持ち上げてトラクターユニットを取り外します。

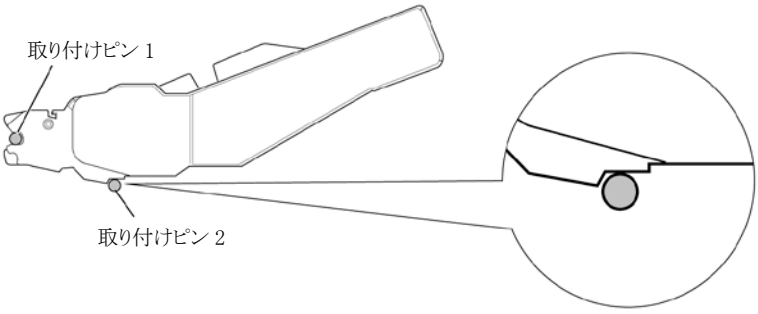


4 オートシートフィーダーを取り付ける

オートシートフィーダーの両側にある U 溝を、プリンターの奥の取り付けピンに差し込み、ゆっくりと下ろします。

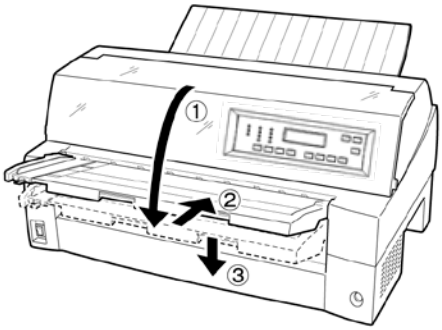


取り付けピン 2 にオートシートフィーダーのフレームが正しく乗っていることを確認してください。



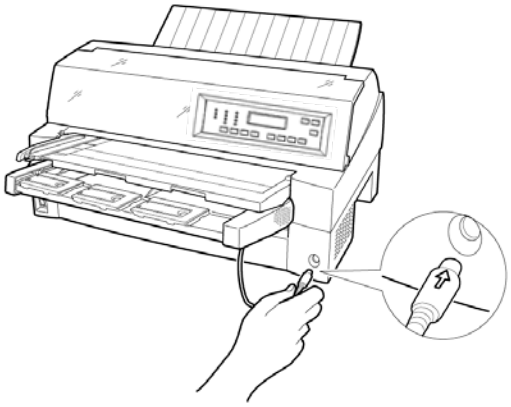
5　単票テーブルを元に戻す

単票テーブルを下図のように回転させた（①）のち、奥に押し込んで（②）閉じます（③）。
単票テーブルのセットが正しくないと、用紙づまりの原因となります。

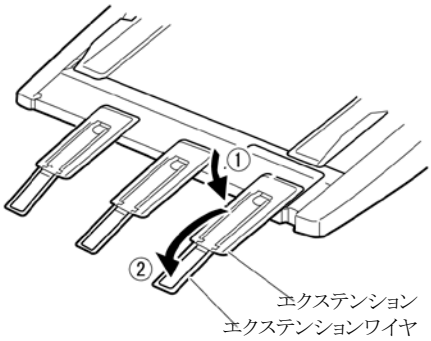


6　ケーブルを接続する

オートシートフィーダーのケーブルを、プリンター前面の右側にあるコネクターに接続します。コネクターの矢印を上にして挿入します。
挿入した後のケーブルの余長が、周囲にある物や人に引っかからないように注意してください。



7 使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に展開する



プリンター後部に取り付ける

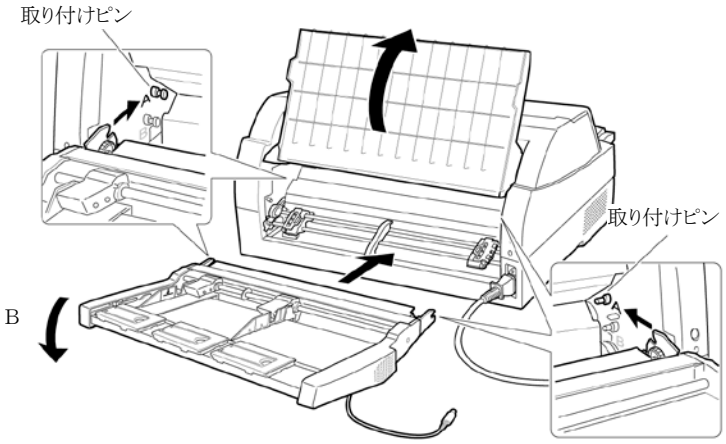
プリンター後部は、オートシートフィーダーとトラクターユニットの同時搭載が可能です。
オートシートフィーダーの取り付けは、プリンターの電源を切ってから行います。

1 プリンターの電源を切る

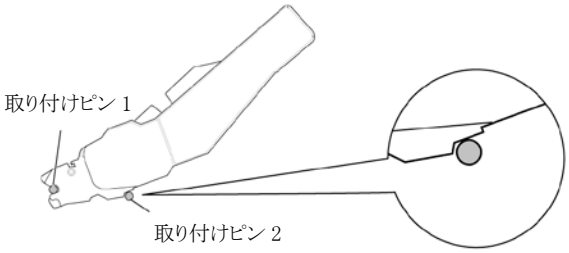
プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 オートシートフィーダーを取り付ける

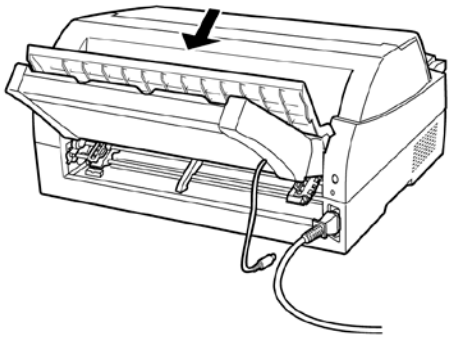
リアスタッカーを開きます。オートシートフィーダーの両側を持ち、オートシートフィーダーの両側にある U 溝を、プリンターの奥にある取り付けピンに差し込みます。（オートシートフィーダーのラベル A をプリンター側の刻印 A に合わせて差し込みます。）そのまま取り付けピンを支点にして、矢印 B の方向に回転させるように下ろします。



取り付けピン 2 にオートシートフィーダーのフレームが正しく乗っていることを確認してください。



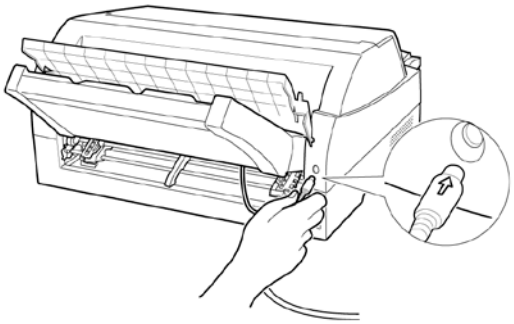
3　リアスタッカーを閉じる



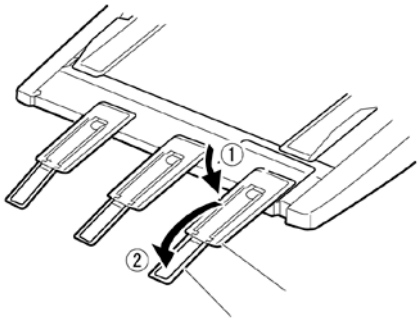
4　ケーブルを接続する

オートシートフィーダーのケーブルを、プリンター後面に向かって右側にあるコネクターに接続します。コネクターの矢印を上にして挿入します。

挿入した後のケーブルの余長が、周囲にある物や人に引っかからないように注意してください。



5　使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に矢印の方向に展開する



エクステンション
エクステンションワイヤ

オートシートフィーダーの取り外し

オートシートフィーダーの取り外しは、取り付けの逆手順で行います。

1　プリンターの電源を切る

プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

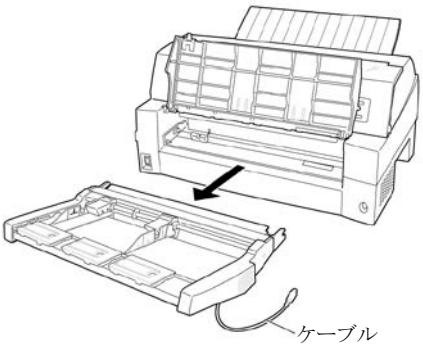
2　オートシートフィーダーのケーブルを抜く

3　オートシートフィーダーを取り外す

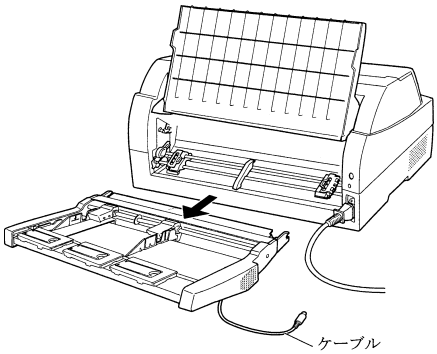
⚠警告

オートシートフィーダーを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。

プリンター前部に取り付けたオートシートフィーダーを取り外す場合



プリンター後部に取り付けたオートシートフィーダーを取り外す場合



トラクターユニットの取り付け

トラクターユニットは、プリンターの前部または後部に取り付けて使用します。

⚠警告

トラクターユニットを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。

メモ

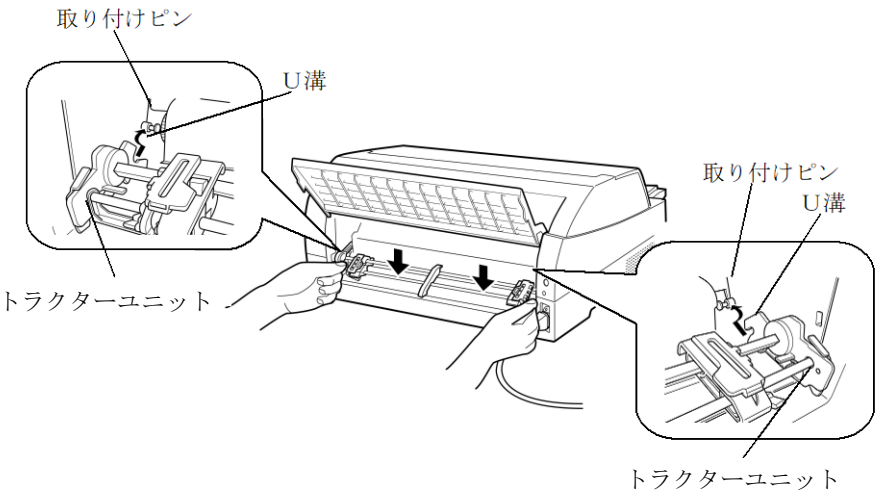
・プリンターの前方にオートシートフィーダーを取り付けた場合、トラクターユニットをプリンター前方には取り付けられません。取り外したトラクターユニットはプリンターの後方に取り付けられます。

1　プリンターの電源を切る

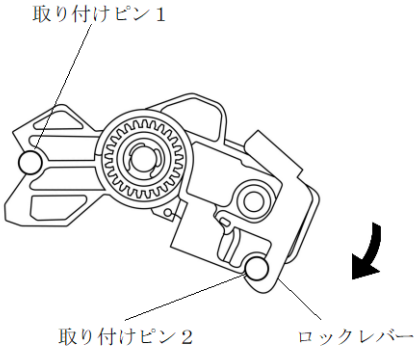
プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2　単票テーブル（前方取り付け時）または、リアスタッカー（後方取り付け時）を開く

3　トラクターユニットの左右のＵ溝をプリンターの取り付けピンにあわせ、トラクターユニットの手前側を押し下げて、ロックする



4 下図のように取り付けピン２にトラクターユニットの左右のロックレバーがロックされていることを確認する



ＬＡＮボードの取り付け

LANボードは、次に示す手順をご確認の上、取り付け作業を行ってください。
また、ネットワークの設定については、LANボードの取扱説明書を参照してください。

⚠警告

内蔵LANボードを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず本プリンターの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、ネットワークケーブルを外したあとに行ってください。感電の原因となります。

メモ

インターフェイスは排他制御となります。パラレル/USB 接続とネットワーク接続で、同時に印字することはできません。
ご使用になるインターフェイスはプリンターのメニュー設定（「第3章プリンターの機能とその使い方」参照）で選択してください。

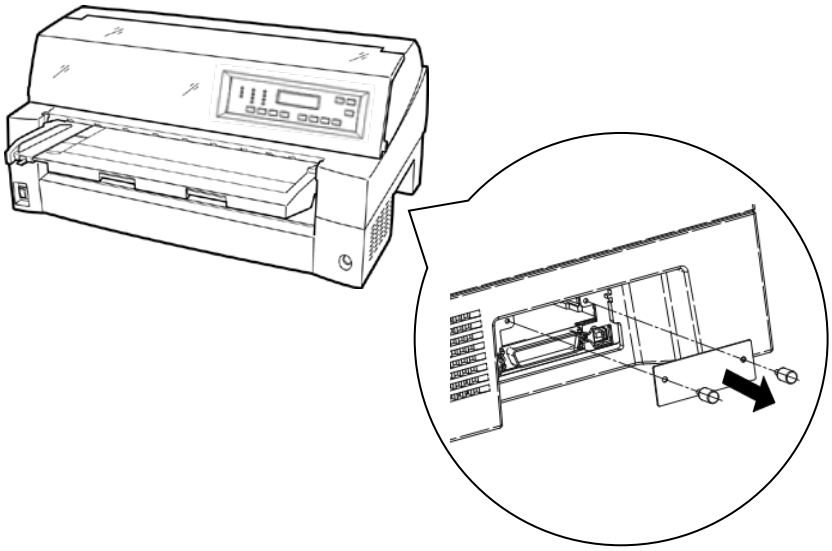
ＬＡＮボード　ＰＲ－ＬＮ１－Ｈの取り付け

1 プリンターの電源を切る

プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 金属のプレートを取り外す

ネジ（2本）を外し、パラレルポートの上側にある金属のプレートを取り外します。



⚠警告

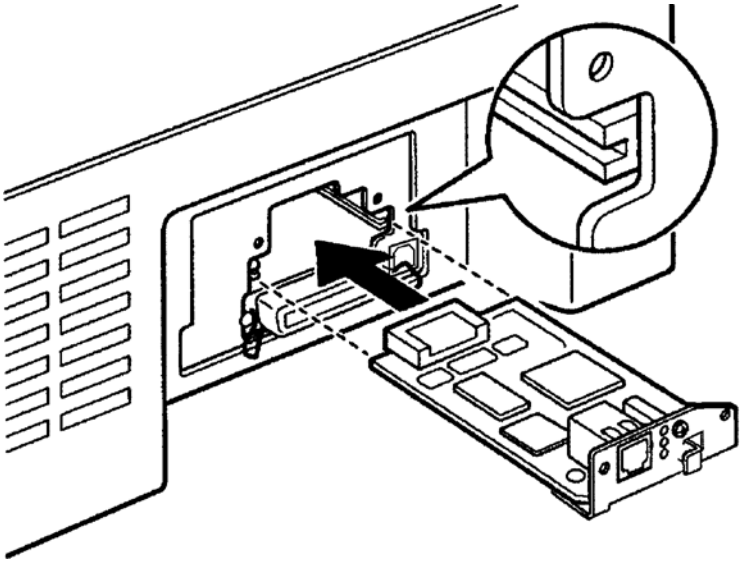
内蔵LANボードを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず本プリンターの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、ネットワークケーブルを外したあとに行ってください。感電の原因となります。

お願い

取り外したプレートは大切に保管してください。

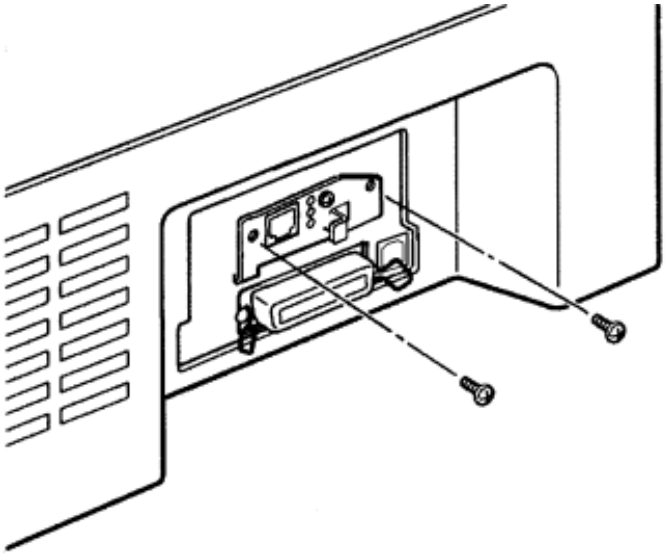
3 ＬＡＮボードを差し込む

左右のガイドレールに合わせて、LANボードを差し込みます。
LANボードは、ゆっくりと 奥まで確実に押し込んでください。



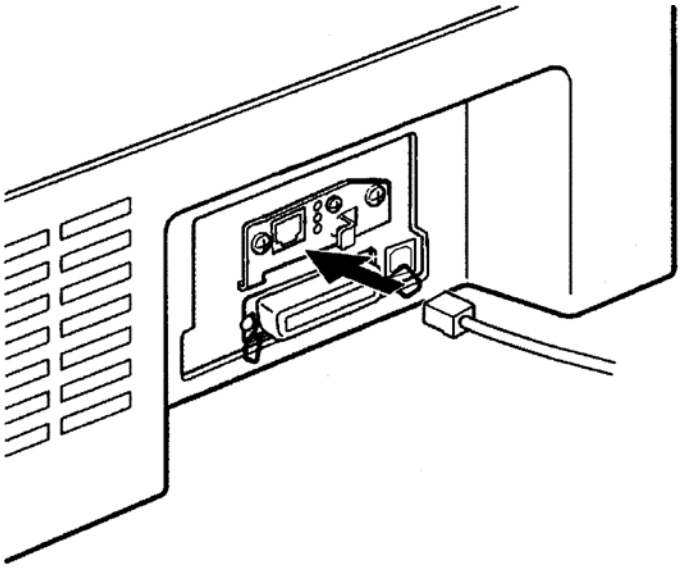
4 ＬＡＮボードを固定する

プレートを固定していたネジ（2本）を使用して、LANボードを固定します。



5 ケーブルを接続する

LANボードの取り付け後、ネットワークケーブル、プリンターの電源プラグの順に接続します。



LANボードの設定は、LANボード付属の取扱説明書を参照してください。

お願い	「第3章 プリンターの機能とその使い方」を参照し、メニュー設定で、次の通り、設定項目の変更を行ってください。 ・『ハードウエア設定』－『内蔵LAN』 － 『有効』 ・『ハードウエア設定』－『インタフェース』 － 『LAN バッファ無効』 ・『コマンド機能設定』－『TOF 改頁』 －『ムコウ』 ・『双方向I／F』－『有効』 また、プリンタードライバーのプロパティの「ポート」タグにて「双方向サポートを有効にする（E）」のチェックボックスのチェックを外して使用してください。

第 2 章

ソフトウエアの設定

この章では、プリンタードライバー、ユーティリティーの概要、インストールの方法、および設定について説明します。

ソフトウエアの概要 2-2
表記について 2-2
ソフトウエアの動作環境 2-2
ソフトウエアのインストール 2-3
プリンタードライバーの設定 2-5
拡張ドライバーの設定 2-6
通常ドライバーの設定 2-16
印刷設定可能範囲について 2-29
用紙サイズ 2-29
印刷設定可能範囲 2-31
用紙の印刷方向 2-34
ユーティリティーの設定 2-35
ユーティリティーを使用するために 2-35
ステータスモニター 2-36
リモートパネル 2-39

ソフトウエアの概要

プリンターに添付されているプリンタードライバーとユーティリティーの基本的なことがらについて説明します。

表記について

・Microsoft® Windows® 11 日本語版
・Microsoft® Windows® 10 日本語版
・Microsoft® Windows Server® 2025 日本語版
・Microsoft® Windows Server® 2022 日本語版
・Microsoft® Windows Server® 2019 日本語版
・Microsoft® Windows Server® 2016 日本語版

本書中では、上記オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 11、Windows 10、Windows Server 2025、Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016、と表記しています。

ソフトウエアの動作環境

対象機種	OS
DOS/V 互換機	Windows 11（日本語版） Windows 10（日本語版） Windows Server 2025（日本語版） Windows Server 2022（日本語版） Windows Server 2019（日本語版） Windows Server 2016（日本語版）

ソフトウエアのインストール

プリンタードライバー、ユーティリティーのインストール方法について説明します。

‥ ガイド ‥

プラグ＆プレイでプリンターが検出される場合は、プラグ＆プレイのウィザードに従ってプリンタードライバーのインストールを行ってください。

1 セットアッププログラムを起動する

CD－ROMをパソコンにセットすると、自動的に「セットアッププログラム」が起動します。
※自動的に起動しない場合は、エクスプローラーでCD－ROMドライブを開き、最上位フォルダーの〔setup.exe〕をダブルクリックしてください。

2 ソフトウエアをインストールする

「ソフトウエアセットアップ」のメニューとガイドに従って、プリンタードライバーやユーティリティーのインストールを行います。

インストール方法の詳細は、ソフトウエアセットアップの「インストールガイド」や「ユーティリティーソフトウェアガイド」を参照してください。

お願い

ユーティリティーのインストールは、プリンタードライバーをインストールした後に実施してください。

※プラグ＆プレイでプリンターが検出された場合

ソフトウエアセットアップからプリンタードライバーをインストールする場合、プラグ＆プレイのプリンター検出画面で「キャンセル」を選択してください。

プリンタードライバーの設定

ここでは、プリンタードライバーの設定画面について説明します。

本プリンターでは、次の2種類のプリンタードライバーをご利用いただけます。

・拡張ドライバー　　fit7650Pro-HN, fit7850Pro-HN

・通常ドライバー　　fit7650Pro-H(0mm), fit7650Pro-H(8.5mm)

fit7850Pro-H(0mm), fit7850Pro-H(8.5mm)

拡張ドライバーとは？

拡張ドライバーは、文字や画像を、より美しく印字することができるプリンタードライバーです。

紙送り方向で極力分割せずに印字するよう、文字や画像の印字位置にあわせて微少な改行を行い、書き出し位置を調整します。

この動作により、印字ヘッドの高さ(24ドット以内)の文字は、紙送り方向に分割されることなく印字することができ、より美しい印字結果が得られます。また、画像も少ない分割で印字することができます。

高い効果を得るために、文字フォントは印字ヘッドの高さに収まる「9ポ以下」のプレーンテキスト(修飾しない文字)を使用してください。

なお、印字位置をあわせるための微少改行を行うため、印字スループットが低下します。また、設定項目の表示位置が通常ドライバーとは異なりますので、従来機と同等の操作でご利用になりたい場合は、通常ドライバーをインストールしてください。

拡張ドライバーの設定

拡張ドライバーの設定画面

拡張ドライバーは、Windows 対応のプリンタードライバーです。
そのほかのオペレーティングシステムでは使用できません。
拡張ドライバーの設定は、「プリンターのプロパティ」で行います。プリンターのプロパティは、アプリケーションソフトから表示させる方法と、Windows のスタートメニューから表示させる方法があります。
表示方法によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。
プリンターのプロパティの表示方法は Windows によって異なりますので各 Windows の操作に従ってください。

・・ ご注意 ・・

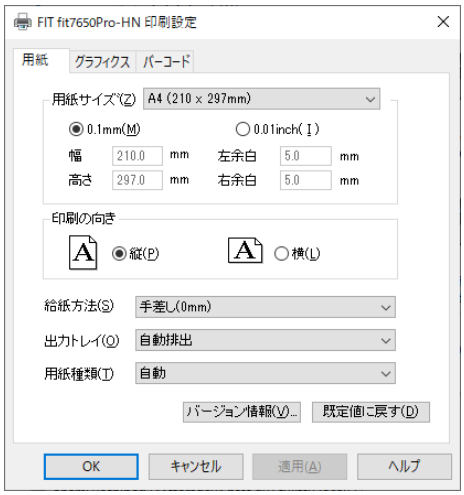
拡張ドライバーを使用する場合は、次の内容にご注意ください。

・印字する帳票によっては、標準ドライバーと比較してスループットが大きく低下する場合があります。
・文字フォントは、9ポ以下のプレーンテキスト（修飾しない文字）を使用してください。文字修飾を行った場合は、グラフィクスとして処理され、「文字優先」を選択しても効果がありません。また、9ポ以下のフォントでも24ドット以上の高さでデザインされている文字では効果がありません。
・アプリケーションによっては、効果がない場合があります。ご使用になるアプリケーションでご確認をお願いします。

・・ ガイド ・・

・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタードライバーの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。
また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
・新しい用紙を作成する場合は、「プリンターのプロパティ」の「カスタム用紙」で作成してください。用紙幅は、13．6インチ以内で設定してください。
・給紙方法の「ハード優先」は現在プリンターの給紙先に印刷します。また、印字開始位置はメニュー設定項目の TOF 位置の設定で調整可能となります。
・ここでは、Windows 11 の fit7650Pro-HN プリンタードライバーで説明します。
異なるプリンタードライバーをお使いの時は、モデル名お使いのプリンタードライバーに読み替えてください。

アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンターの設定項目から表示するプリンターのプロパティです。印刷時に用紙サイズやグラフィクス設定などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンター設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。
ここでは、ワードパットを例に説明します。

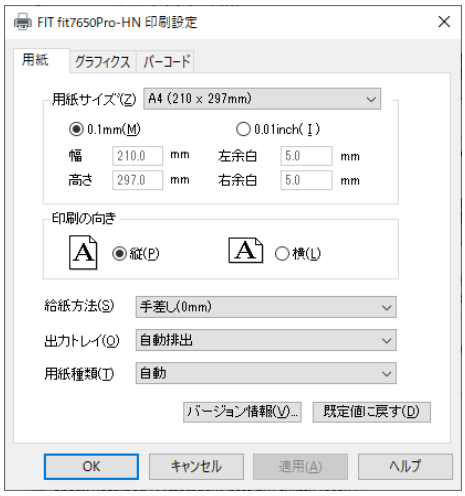
1 ワードパットの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔キャンセル〕をクリックすると
変更した設定を適応しないで「印刷」ダイアログボックスを終了します。
〔OK〕をクリックすると
変更した設定を保存し、ダイアログボックスを閉じます。

変更した値を初期値に戻す場合は、〔既定値に戻す〕をクリックしてください。

〔スタート〕からの設定画面（プリンターのプロパティ）



用紙サイズやグラフィクス設定などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンターの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 〔スタート〕→〔Bluetooth とデバイス〕→〔プリンターとスキャナー〕をクリックする

2 該当するプリンターのアイコンをクリックし、〔印刷設定〕を選択する
※ Windows 10 /Server 2016～2022 の場合は、アイコンをクリック後、
〔管理〕→〔印刷設定〕を選択する

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると
変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると
変更した設定を保存しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔適用〕をクリックすると
変更した設定を保存します。このときダイアログボックスを開いたままです。
変更した値を初期値に戻す場合は〔既定値に戻す〕をクリックしてください。

プリンターのプロパティ

プリンタードライバーやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 〔スタート〕→〔Bluetooth とデバイス〕→〔プリンターとスキャナー〕をクリックする

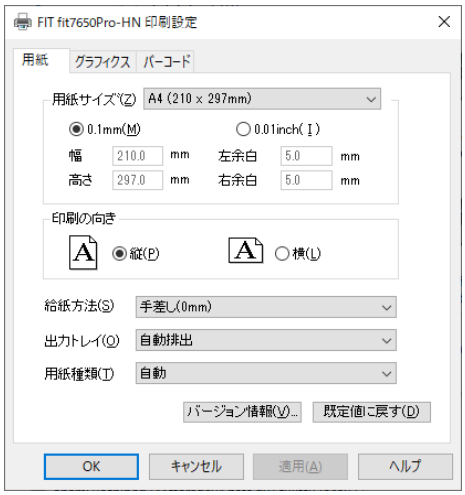
2 該当するプリンターのアイコンをクリックし、〔プリンターのプロパティ〕を選択する
※ Windows 10 /Server 2016～2022 の場合は、アイコンをクリック後、
〔管理〕→〔プリンターのプロパティ〕を選択する

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると
変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると
変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔適用〕をクリックすると
変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

ダイアログ一覧

〔 用紙 〕



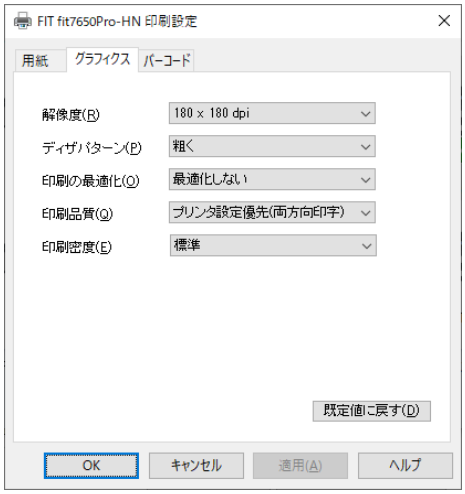
用紙サイズ、印刷の向きなどを選択します。

設定項目	内　容
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。 チェックボックス（[0.1mm(M)] [0.01inch(I)]）により、表示単位を切り替えることができます。
印刷の向き	印刷用紙の向きを選択します。
給紙方法	給紙方法を選択します。
出力トレイ	排出方向を選択します。
用紙種類	用紙の厚さに応じて、紙厚調整を行います。 本プリンターはオートギャップ機能(自動紙厚調整機能)を搭載していますので、通常は、「自動」のまま ご使用ください。

お願い

用紙サイズの単位を[mm]→[inch]→[mm]と変更した場合、0.1mm の変換誤差が発生し、定義サイズとは異なった表示となる場合があります。
実際の用紙サイズは、定義されているサイズとなり、0.1mm 変更されることはありません。

〔 グラフィクス 〕

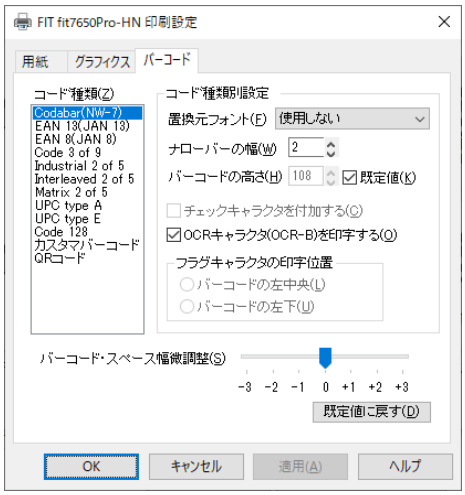


ディザパターン、印刷の最適化などを選択します。

設定項目	内　容
解像度	180×180dpi 固定です。
ディザパターン	ディザパターンを選択します。
印刷の最適化	印刷の最適化について選択します。 ・最適化しない： 　通常ドライバーと同じ印字制御となります。 ・文字優先： 　キャラクターデータに対し、印字パス分割数が最小となるような制御を行います。 ・グラフィクス優先： 　グラフィクスデータに対し、印字パス分割数が最小となるような制御を行います。
印刷品質	印刷の品位を選択します。
印字密度	複写モードを選択します。

〔 バーコード 〕

本プリンタードライバーを使用すると、アプリケーションでデバイスフォントとしてバーコードが選択できるようになります。バーコード印字を行う場合、バーコードとして印字したい文字の書体をアプリケーション上でバーコードに設定する方法と、プリンタードライバーで置換元フォントを指定する方法があります。
置換元フォントで指定したフォント書体は、すべてバーコードとして認識されます。
また、プレビュー画面ではバーコードは表示されませんので、ご注意ください。



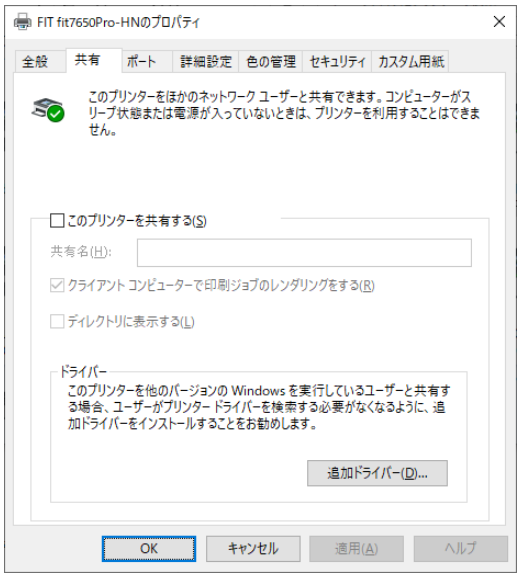
バーコード印刷に関する設定を行います。

設定項目	内　容
コード種類	バーコードの種類を選択します。
コード種類別設定	バーコードの種別ごとに表示される設定可能項目を選択します。 設定項目の詳細は、[ヘルプ]を参照ください。
バーコードスペース幅微調整	バーコードのスペース幅の調整値を指定(1/360 インチ単位)します。この設定値は、各バーコード共通の設定となります。

〔 全般 〕

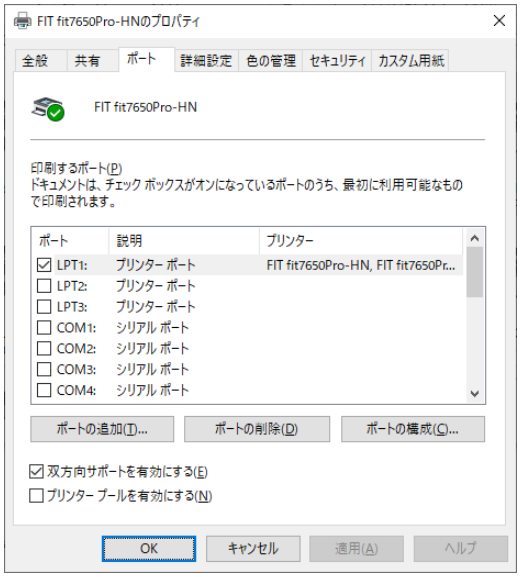
プリンターの場所の入力、コメントの入力、機能一覧の表示、印刷設定、テストページの印刷を行います。

〔 共有 〕



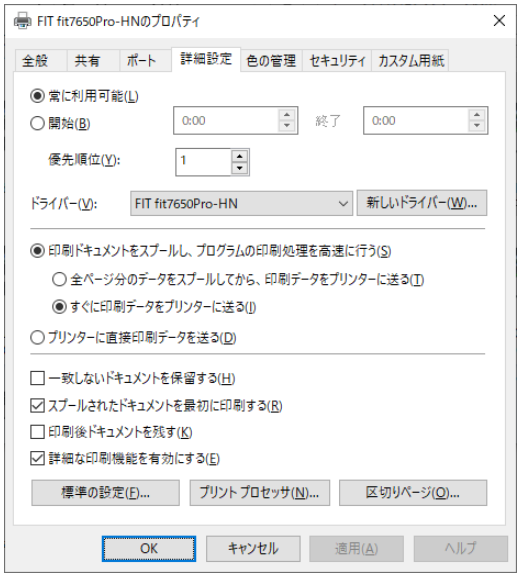
プリンターの共有に関する設定や代替ドライバーのインストールを行います。
ただし、代替ドライバーはサポートしません。

〔ポート〕



印刷先のポートに関する設定を行います。

〔詳細設定〕



プリンターの利用可能時間、優先順位、プリントプロセッサー、区切りページを設定します。

〔カスタム用紙〕

ユーザー定義用紙を作成します。

このダイアログで作成したユーザー定義用紙は、[サーバーのプロパティ]には反映されません。

設定項目	内　容
用紙	作成した用紙の一覧が表示されます。
新しい用紙を作成する	チェックボックスをチェックすると「用紙名(N)」に名称が入力できる」ようになります。
単位	用紙サイズの単位を切り替えます。
用紙サイズ	作成する用紙サイズを選択します。 プリンターの有効印字幅は、13.6 インチ(345.4mm)です。

お願い

用紙サイズの単位を[mm]→[inch]→[mm]と変更した場合、0.1mm の変換誤差が発生する場合があります。
実際の用紙サイズは、0.1mm の変換誤差を含む値となりますので、ご注意ください。定型用紙のサイズを基準にする場合は、本章の「印刷設定可能範囲について」を参照してください。

通常ドライバーの設定

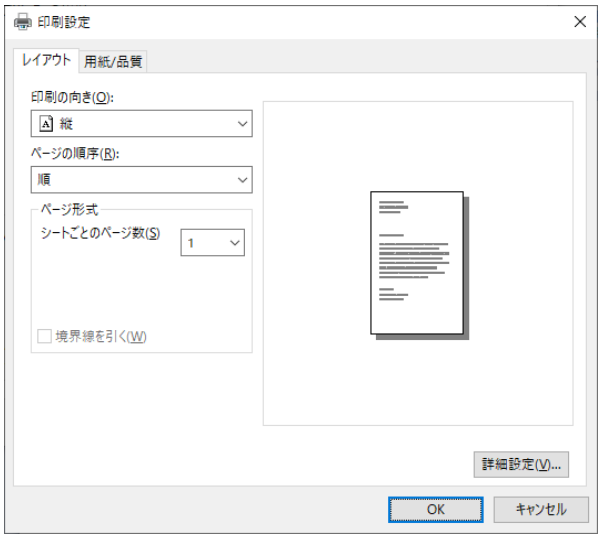
通常ドライバーの設定画面

通常ドライバーは、Windows 対応のプリンタードライバーです。
そのほかのオペレーティングシステムでは使用できません。
通常プリンタードライバーの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンターのプロパティ」ダイアログボックスで行います。
プリンターのプロパティの表示方法は Windows によって異なりますので各 Windows の操作に従ってください。

・・ ガイド ・・

- アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタードライバーの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
- 新しい用紙を作成する場合は、「プリンター」フォルダーのプリンターアイコンをクリックしツールバーの「プリントサーバーのプロパティ」の「用紙」タブで作成してください。
用紙幅は、13．6インチ以内で設定してください。
- 給紙方法の「ハード優先」は現在プリンターの給紙先に印刷します。
また、印字開始位置はメニュー設定項目の TOF 位置の設定で調整可能となります。
- ここでは、Windows 11 の fit7650Pro-H(0mm)プリンタードライバーで説明します。
異なるプリンタードライバーをお使いの時は、モデル名お使いのプリンタードライバーに読み替えてください。

アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンターの設定項目から表示するプリンターのプロパティです。印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

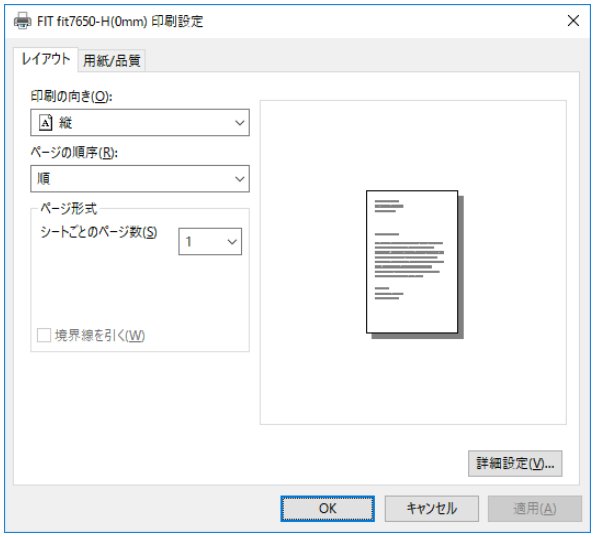
プリンター設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。ここでは、ワードパットを例に説明します。

1 ワードパットの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると
変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると
変更した設定を適応しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。

〔スタート〕からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。

アプリケーションソフトで用紙やプリンターの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1　〔スタート〕→〔Bluetooth とデバイス〕→〔プリンターとスキャナー〕をクリックする

2　該当するプリンターのアイコンをクリックし、〔印刷設定〕を選択する
※ Windows 10 /Server 2016～2022 の場合は、アイコンをクリック後、
〔管理〕→〔印刷設定〕を選択する

3　目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると
変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると
変更した設定を保存しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔適用〕をクリックすると
変更した設定を保存します。このときダイアログボックスを開いたままです。

‥ ガイド ‥

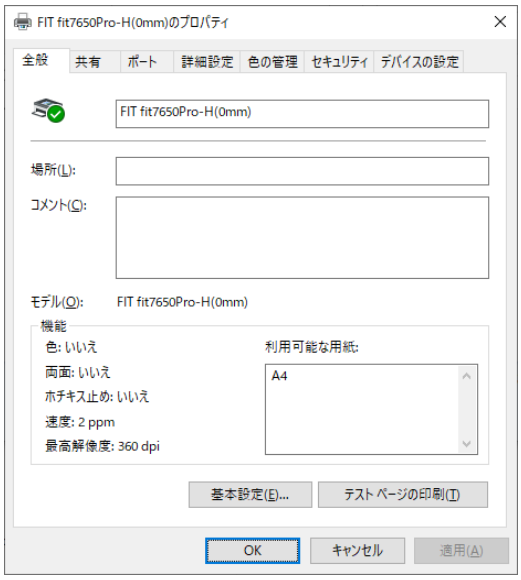
変更した設定を以前の設定に戻すには以下の2通りの方法があります。

（1）設定を変更した後、変更した項目で右クリックして[変更したオプションを元に戻す]ボタンを表示し、クリックする。

（2）[詳細設定]ダイアログの「FIT fit7650Pro-H(0mm) 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして、[変更したオプションを元に戻す]ボタンを表示し、クリックする。

ただし、「レイアウト」「用紙／品質」「詳細設定」は個別に設定変更が必要です。

プリンターのプロパティ



プリンタードライバーやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 〔スタート〕→〔Bluetooth とデバイス〕→〔プリンターとスキャナー〕をクリックする

2 該当するプリンターのアイコンをクリックし、〔印刷設定〕を選択する
※ Windows 10 /Server 2016～2022 の場合は、アイコンをクリック後、
〔管理〕→〔印刷設定〕を選択する

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると
変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると
変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔適用〕をクリックすると
変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

‥ ガイド ‥

変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。(〔デバイスの設定〕タブのみ有効)

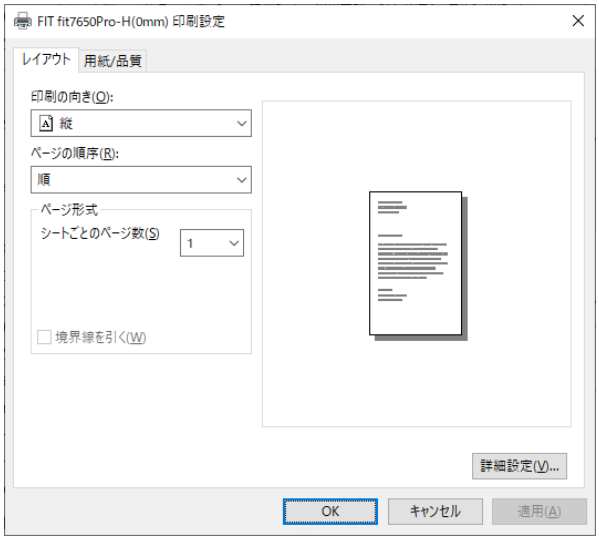
設定を変更した後、〔デバイスの設定〕タブの〔FIT fit7650Pro-H(0mm) デバイスの設定〕を右クリックします。〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンが表示されますので、クリックします。

ダイアログ一覧

(注 1)とあるダイアログは「印刷」、「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。

(注 2)とあるダイアログは「プリンターのプロパティ」ダイアログボックスでのみ表示されます。

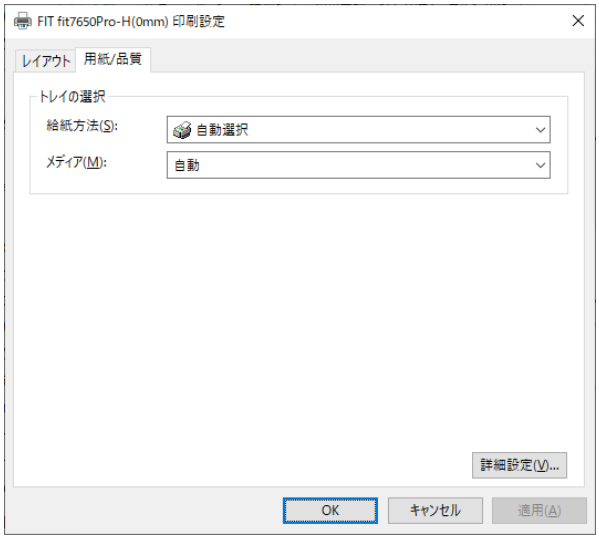
〔レイアウト〕　(注 1)



印刷の向き、ページ順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内　容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ	1 枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

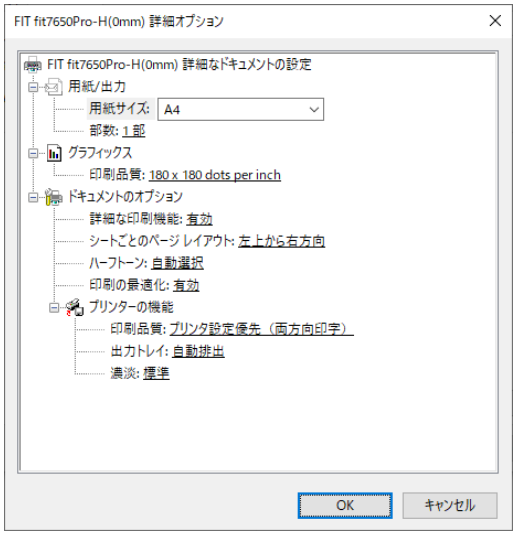
〔用紙/品質〕　（注 1）



給紙方法・メディアなどの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じ用紙のサイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。
メディア	用紙の厚さを設定します。

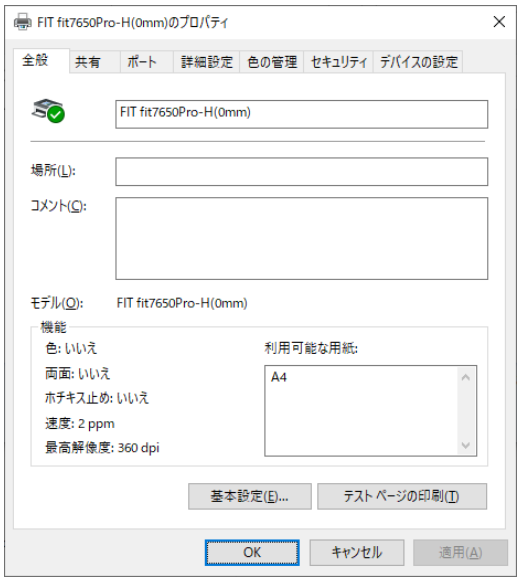
〔詳細〕　（注 1）



次の項目の設定が行えます。

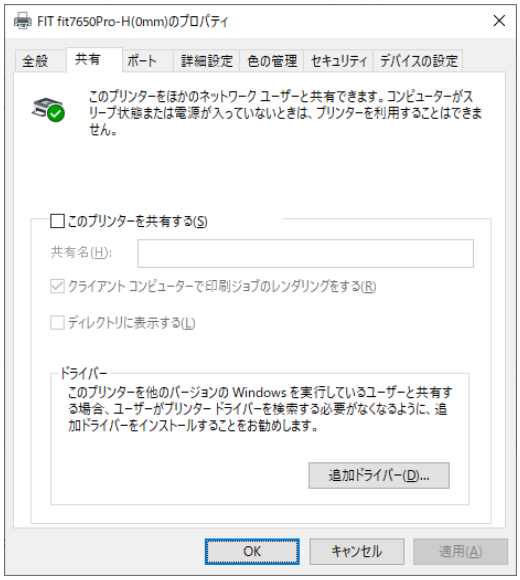
設定項目	設定内容		備　考
用紙/出力	用紙サイズ		用紙サイズを選択します。
	部数		印刷部数を設定します。
グラフィックス	印刷品質		解像度を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能		印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効 ：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が有効になります。 無効 ：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が無効（初期値）になります。
	ハーフトーン		ハーフトーンの種類を設定します。
	印刷の最適化		印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。
	プリンターの機能	印刷品質	印刷の品位を設定します。
		出力トレイ	用紙の排出方法を設定します。 ・自動排出：プリンターの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出：単票テーブル側に排出します。 ・後方排出：リアスタッカーに排出します。
		濃淡	印刷の圧力を設定します。

〔全般〕　（注 2）



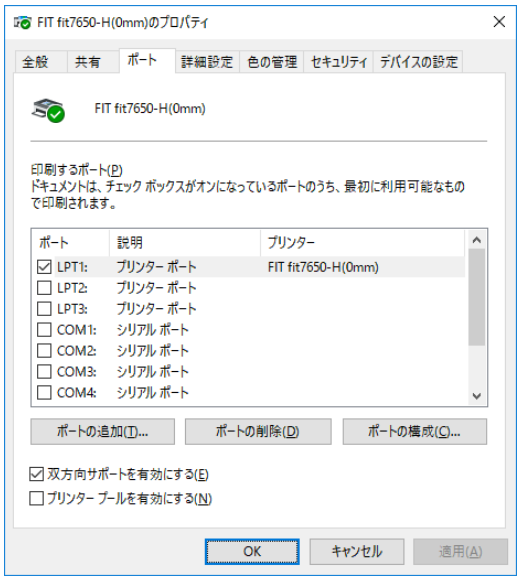
プリンターの場所の入力、コメントの入力、機能一覧の表示、印刷設定、テストページの印刷を行います。

〔共有〕　（注 2）



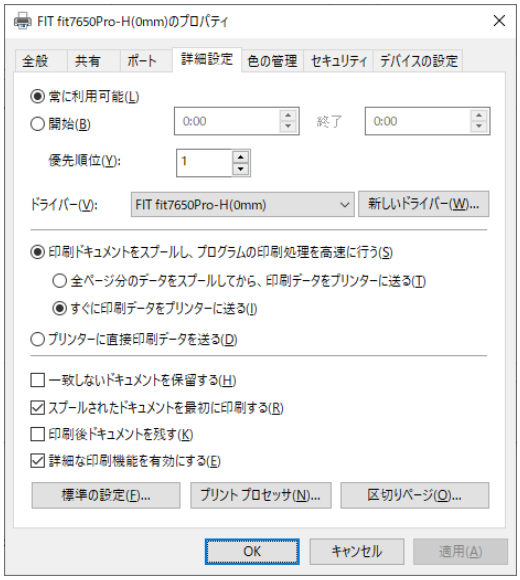
プリンターの共有に関する設定や代替ドライバーのインストールを行います。
ただし、代替ドライバーはサポートしません。

〔ポート〕　（注 2）



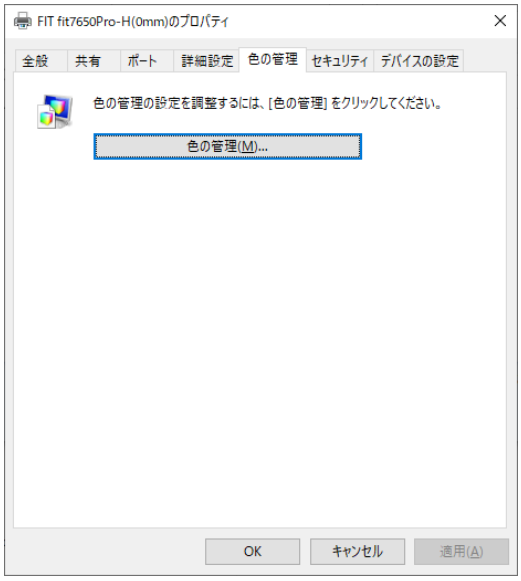
印刷先のポートに関する設定を行います。

〔詳細設定〕　（注 2）



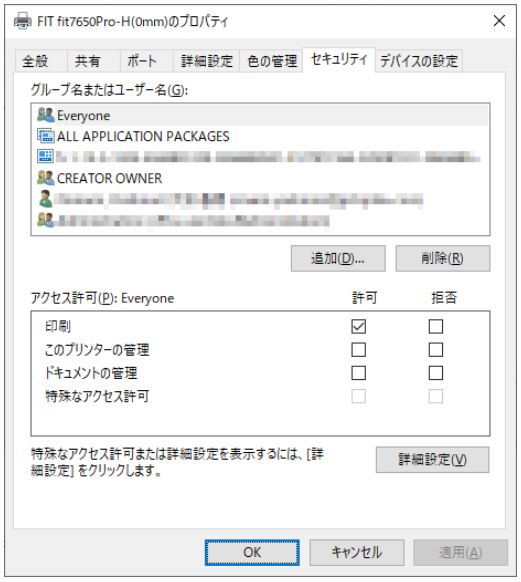
プリンターの利用可能時間、優先順位、プリントプロセッサー、区切りページを設定します。

〔色の管理〕　（注 2）



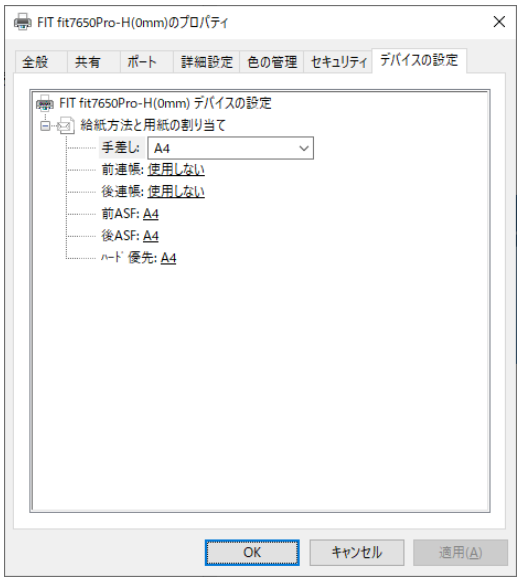
プリンターの色の管理に関する設定を行います。

〔セキュリティ〕　（注 2）



プリンターのセキュリティの管理に関する設定を行います。

〔デバイスの設定〕　（注 2）



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法と 用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

印刷設定可能範囲について

このプリンタードライバーで使用できる用紙サイズおよび印刷設定可能範囲は、次のようになっています。

用紙サイズ

・・ ガイド ・・

下表の用紙サイズが表示されない場合、通常ドライバーは、プリンターフォルダーを開き、「プリントサーバーのプロパティ」、または「サーバーのプロパティ」で作成してください。

拡張ドライバーは、プリンタープロパティの「カスタム用紙」タブで作成してください。

単位：mm

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
B4	257.00	364.00	364.00	257.00
B5	182.00	257.00	257.00	182.00
Letter	215.90	279.40	279.40	215.90
Legal	215.90	355.60	355.60	215.90
官製はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
往復はがき	200.00	148.00	148.00	200.00
封筒（長形 4 号）横	90.00	205.00	——	——
封筒（長形 3 号）横	120.00	235.00	——	——
封筒（角形 3 号）横	216.00	277.00	——	——
封筒（角形 2 号）横	240.00	332.00	——	——
名刺	55.00	90.00	——	——
10×11inch 連続紙	254.00	279.40	——	——
12×11inch 連続紙	304.80	279.40	——	——
15×11inch 連続紙	381.00	279.40	——	——
縦 2.5inch 連続紙	381.00	63.50	——	——

単位：mm

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
縦 3inch 連続紙	381.00	76.20	——	——
縦 3.5inch 連続紙	381.00	88.90	——	——
縦 4inch 連続紙	381.00	101.60	——	——
縦 4.5inch 連続紙	381.00	114.30	——	——
縦 5inch 連続紙	381.00	127.00	——	——
縦 5.5inch 連続紙	381.00	139.70	——	——
縦 6inch 連続紙	381.00	152.40	——	——
縦 6.5inch 連続紙	381.00	165.10	——	——
縦 7inch 連続紙	381.00	177.80	——	——
縦 7.5inch 連続紙	381.00	190.50	——	——
縦 8inch 連続紙	381.00	203.20	——	——
縦 8.5inch 連続紙	381.00	215.90	——	——
縦 9inch 連続紙	381.00	228.60	——	——
縦 9.5inch 連続紙	381.00	241.30	——	——
縦 10inch 連続紙	381.00	254.00	——	——
縦 10.5inch 連続紙	381.00	266.70	——	——
縦 11inch 連続紙	381.00	279.40	——	——
縦 11.5inch 連続紙	381.00	292.10	——	——
縦 12inch 連続紙	381.00	304.80	——	——
縦 12.5inch 連続紙	381.00	317.50	——	——
縦 13inch 連続紙	381.00	330.20	——	——
縦 13.5inch 連続紙	381.00	342.90	——	——
縦 14inch 連続紙	381.00	355.60	——	——
ユーザー定義サイズ（注）	55.00	70.00	——	——

注）この値はデフォルト値です。設定可能範囲（mm）は、用紙幅が 55.00～420.00 で、用紙長が 70.00～420.00 です。

・・ ガイド ・・

ユーザー定義サイズは、プリンターにセット可能な最大用紙幅まで指定できますが、本取扱説明書の用紙規格を参照して、印刷可能範囲内で使用してください。

印刷設定可能範囲

単位：mm

<table>
<tr><th rowspan="2">用紙</th><th colspan="4">余白</th></tr>
<tr><th>上端</th><th>下端</th><th>左端</th><th>右端</th></tr>
<tr><td>A4,A4 横</td><td colspan="2" rowspan="29">給紙方法別　上・下端値　参照</td><td rowspan="2">5.08</td><td rowspan="2">5.08</td></tr>
<tr><td>A3</td></tr>
<tr><td>A3 横</td><td>37.32</td><td>37.32</td></tr>
<tr><td>A5,A5 横</td><td rowspan="14">5.08</td><td rowspan="14">5.08</td></tr>
<tr><td>A6,A6 横</td></tr>
<tr><td>B4</td></tr>
<tr><td>B4 横</td></tr>
<tr><td>B5,B5 横</td></tr>
<tr><td>Letter</td></tr>
<tr><td>Legal</td></tr>
<tr><td>はがき,はがき横</td></tr>
<tr><td>往復はがき,往復はがき横</td></tr>
<tr><td>封筒(長形 4 号)横</td></tr>
<tr><td>封筒(長形 3 号)横</td></tr>
<tr><td>封筒(角形 3 号)横</td></tr>
<tr><td>封筒(角形 2 号)横</td></tr>
<tr><td>名刺</td></tr>
<tr><td>10×11inch 連続紙</td><td rowspan="14">0</td><td rowspan="14">35.56</td></tr>
<tr><td>12×11inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>15×11inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 2.5inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 3inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 3.5inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 4inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 4.5inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 5inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 5.5inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 6inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 6.5inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 7inch 連続紙</td></tr>
</table>

単位：mm

<table>
<tr><th rowspan="2">用紙</th><th colspan="4">余白</th></tr>
<tr><th>上端</th><th>下端</th><th>左端</th><th>右端</th></tr>
<tr><td>縦 7.5inch 連続紙</td><td colspan="2" rowspan="14">給紙方法別 上・下端値 参照</td><td rowspan="13">0</td><td rowspan="13">35.56</td></tr>
<tr><td>縦 8inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 8.5inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 9inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 9.5inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 10inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 10.5inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 11inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 11.5inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 12inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 12.5inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 13inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 13.5inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>縦 14inch 連続紙</td></tr>
<tr><td>ユーザー定義サイズ</td><td>5.08</td><td>5.08</td></tr>
</table>

給紙方法別 上・下端値

単位：mm

給紙方法		マージン（既定値）	
		上端	下端
手差し	8.5mm	8.47	4.2
	0mm	0	4.2
前ASF	8.5mm	8.47	4.2
	0mm	0	4.2
後ASF	8.5mm	8.47	4.2
	0mm	0	4.2
前連帳	8.5mm	8.47	0
	0mm	0	0
後連帳	8.5mm	8.47	0
	0mm	0	0

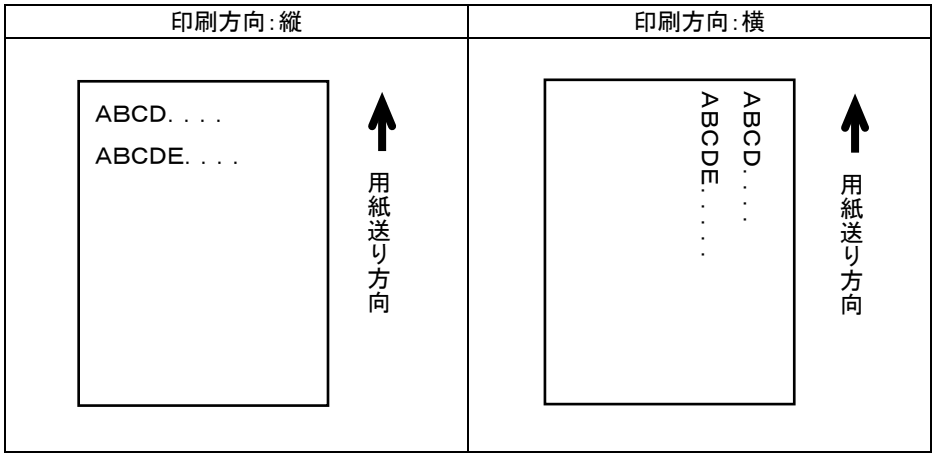
・・ ガイド ・・

・封筒を使用する場合のマージン値については、「第 5 章　使用できる用紙について」の用紙規格に合わせて調整してください。

・「連続紙　縦 3inch」～「連続紙　縦 14inch」の連続紙については、用紙幅を全て 15inch に規定してありますので、使用する場合には「第 5 章　使用できる用紙について」の用紙規格を参照し、規格範囲内で右端マージンを適宜設定してください。
また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションによりヘッダー、フッターの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションでヘッダー、フッダーの位置を調節して印刷してください。

用紙の印刷方向

印刷方向は、プリンタードライバーの設定画面の「印刷の向き」の設定により、次のようになります。



・・ ガイド ・・

アプリケーションにより、Windows 画面への表示方法や印刷方法が異なる場合があります。

ユーティリティーの設定

プリンターに付属しているユーティリティー（ステータスモニター、リモートパネル）は、fit7650Pro-H、および fit7850Pro-H プリンタードライバー専用のユーティリティーです。他製品のプリンタードライバーと組み合わせて使用することはできません。

■ ステータスモニターは、ローカル(パラレル、USB)接続専用です。

■ リモートパネルは、ローカル、ネットワーク接続で使用できます。

ネットワーク接続で使用する場合は、LAN ボード PR-LN1-H と LAN ボード添付の PR-Port Monitor で作成したポートを使用してください。

ユーティリティーを使用するために

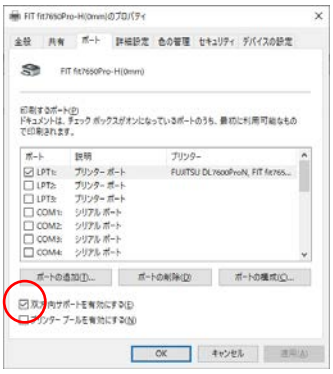
ステータスモニター、リモートパネルは、プリンターと双方向の通信を行います。
次の各設定が、双方向を行う設定になっていることを確認してください。

- **パソコンのBIOS設定**

  パソコンのBIOS設定でパラレルポートが「Bidirectional」になっていることを確認してください。BIOSの設定については、パソコンのマニュアルを参照してください。

- **プリンタードライバーの双方サポート**

  ローカル接続で使用する場合、プリンタードライバーのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックボックス選択した状態で使用してください。
  ネットワーク環境で使用する場合は、選択しない状態で使用してください。インストール時の初期値では、有効に設定されています。



- **プリンターの調整値変更メニュー項目[双方向通信]**

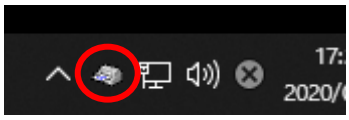
  初期値では、有効に設定されています。ユーティリティーを使用する場合は変更せずにご使用ください。詳細は、本書「第3章 プリンターの機能とその使い方」－「動作環境の設定」－「メニュー設定項目」を参照してください。

ステータスモニター

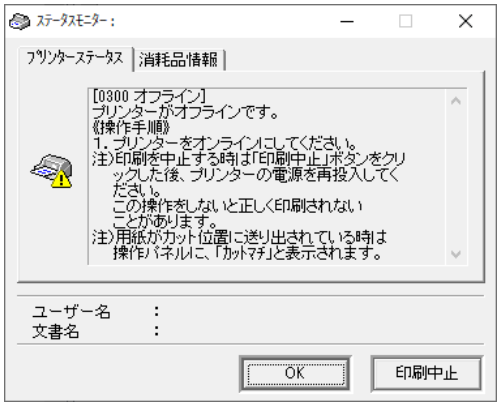
ステータスモニターは、印刷実行時にエラーが発生した場合、プリンターの状態と対処方法をポップアップウィンドウで表示する常駐型のソフトウエアです。

お願い	ステータスモニターは、ローカル（パラレル、USB）接続専用のユーティリティーです。使用する場合は、FIT fit7650Pro-H または、FIT fit7850Pro-H を「通常使うプリンター」に設定し、ローカルポート（パラレルまたは USB）を選択してください。

ステータスモニターは、インストール後にスタートアップフォルダーに登録され、タスクバーに表示されます。

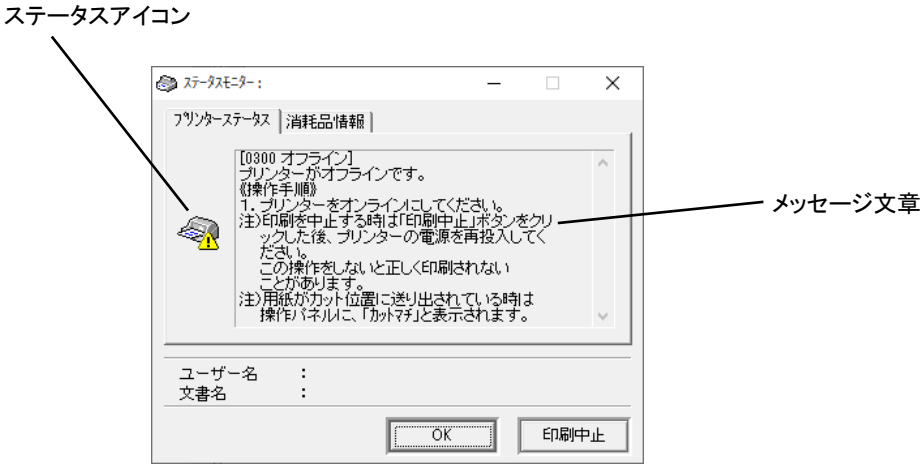


ステータスモニターは、印刷実行時にエラーが発生すると、ポップアップウィンドウを表示し、状態と対応方法を通知します。



印刷実行時以外で、プリンターの状態を確認したい場合は、タスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックすることで、プリンターの状態が表示されます。

ステータス表示ウィンドウ



ステータスアイコンについて

ステータスアイコン	状　　態
	印刷中、または印刷可能状態を示します。 （エラー無し状態）
	印刷中、または印刷可能状態を示します。 （ワーニングメッセージ有り）
	エラー発生状態を示します。 （復旧可能なエラー）
	エラー発生状態を示します。 （復旧不可能なエラー）
	エラー発生状態を示します。 （ハードエラー）

メッセージ文章について

メッセージ文章には、ステータス番号、プリンター状態、プリンター状態の説明、対処方法が表示されます。

プリンターにエラーが発生した場合は、対処方法に従って、処置を行ってください。

［ステータス番号　プリンター状態］ プリンター状態の説明 対処方法

ユーザー名について

印刷要求を行ったユーザー名を示します。

ユーザー名　：（ユーザー名）

文書名について

印刷を行う文書名（印刷ジョブ名）を示します。

文書名　：（文書名）

［OK］　本ボタンをクリックすることにより、ポップアップウィンドウを最小化しタスクトレイ内にアイコンとして格納します。

［印刷中止］　ステータス表示中の印刷ジョブの処理を中止する場合にクリックします。本ボタンをクリックすることにより、該当印刷ジョブの処理を中止し、ポップアップウィンドウを最小化しタスクトレイ内にアイコンとして格納します。

消耗品情報について

リボンや印字ヘッドなど、交換時期が近付いた消耗品情報を表示します。

リモートパネル

リモートパネルは、プリンターのパネルで設定する項目を、パソコンから設定することができるユーティリティーです。

設定項目の詳細はユーティリティーのヘルプまたは、本書の第3章を参照してください。

メモ

リモートパネルでは、メニュー設定項目、調整値変更メニューの全ての設定を変更することはできません。表示されない項目を変更する場合はプリンター本体で変更を行ってください。

お願い

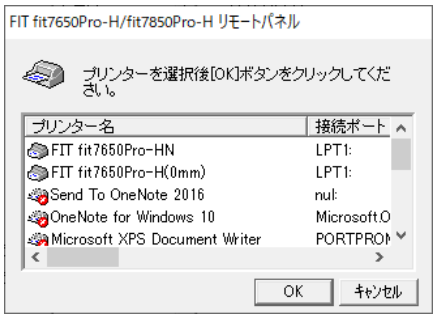
リモートパネルをネットワーク経由で使用する場合は、内蔵 LAN ボード PR-LN1-H が必要です。
また、ネットワークポートは、LAN ボード付属のユーティリティー PR-Port Monitor で作成したポートを使用してください。
（Standard TCP/IP Port、LPR Port 等のポートでは、リモートパネルを使用することはできません。）

・・ ガイド ・・

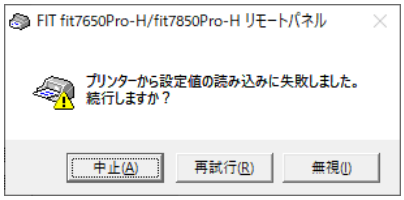
連帳設定のPE検出位置で「4.2mm」以外を選択した場合、[帳票 PE 検出位置微調整]の設定は有効になりません。

リモートパネルの起動について

リモートパネルを起動すると、次のようにプリンターを選択する画面が表示されます。
設定を変更する FIT fit7650Pro-H、または FIT fit7850Pro-H を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

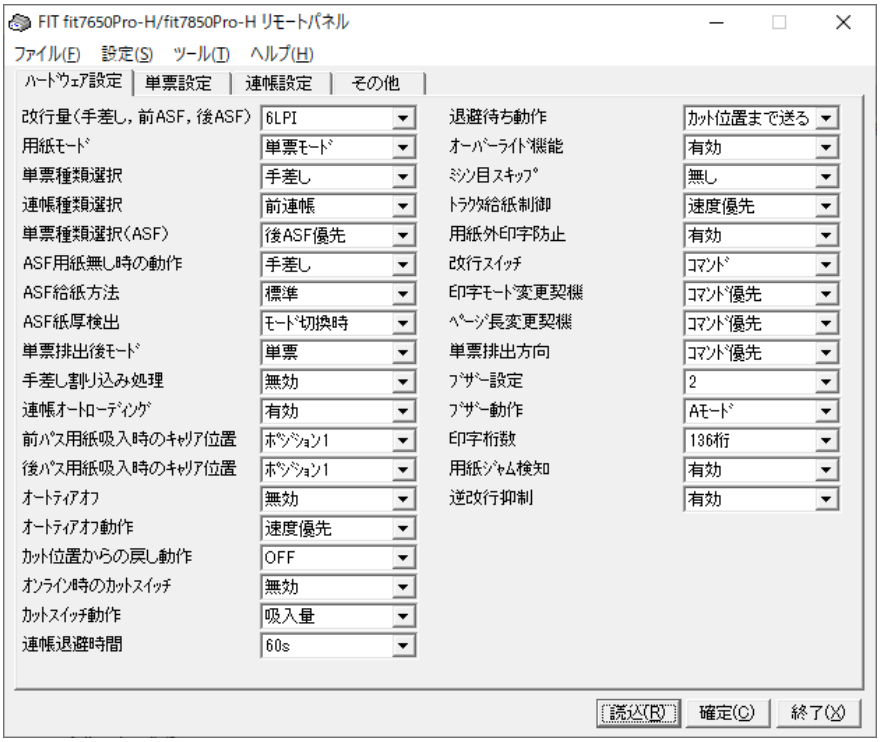


プリンターがオンライン状態になっていない場合は、次のようなエラーメッセージが表示されます。
プリンターがオンライン状態になったことを確認し、[再試行]を行ってください。



設定値の変更について

リモートパネルを起動すると次のように、設定可能な項目の一覧が表示されます。



応答ボタン

［読込］　　プリンターと通信を行い、現在の設定値を読み込み、表示します。

［確定］　　変更した設定値をプリンターに書き込みます。

［終了］　　リモートパネルを終了します。

設定値の初期化

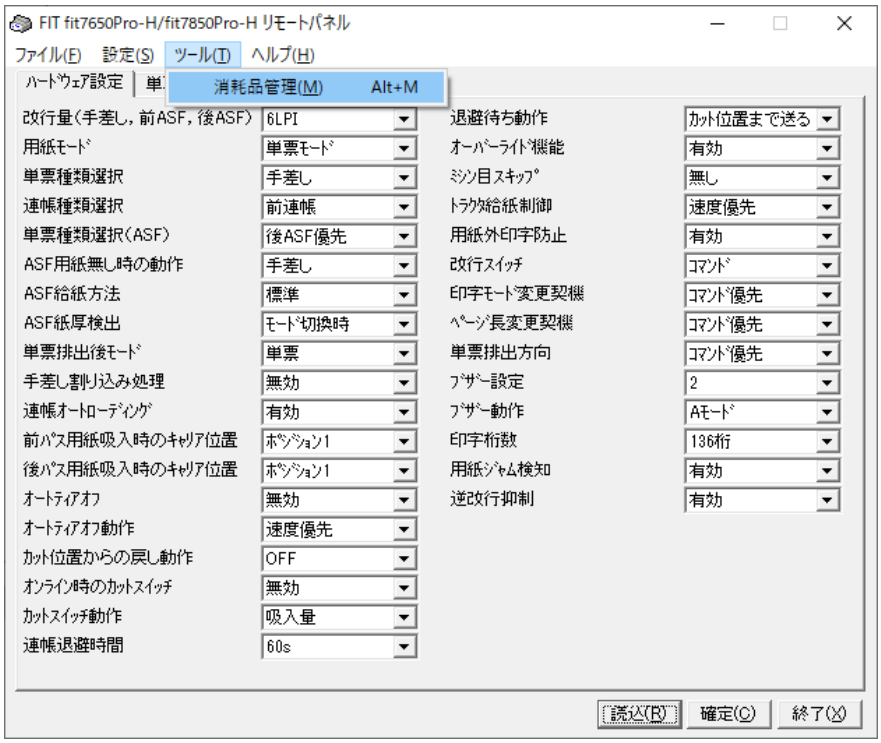
設定値を工場出荷時の初期値に戻す場合は、［ファイル］-［初期値読込み］を選択します。各項目に初期値が読み込まれますので、［確定］ボタンを押すと、プリンターに初期値が書き込まれます。

設定値の保存

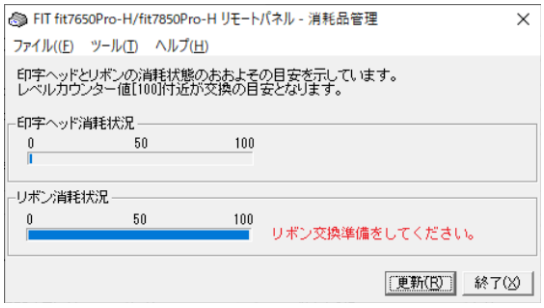
変更した設定値の組み合わせを保存しておきたい場合は、［ファイル］-［設定ファイルの保存］を選択します。保存した設定値の組み合わせは、［ファイル］-［設定ファイルの読み込み］で表示することができます。

メンテナンスウィンドウについて

メニューバーの[ツール]-[消耗品管理]をクリックすると印字ヘッドの消耗状態を確認することができます。



印字ヘッドおよびリボンのおおよその消耗状態がカウンターとして表示されます。
寿命値に近づくと(寿命の 90%以上)、交換準備のメッセージを表示します。
寿命値を超えると、交換のメッセージを表示します。



お願い

印字ヘッドは、有償寿命部品です。
印字ヘッドの交換メッセージが表示されている場合は、保守員に連絡してください。

メモ

印字ヘッド交換目安は、約4年、または約6億ドット/ピンのいずれか早いほうとなります。

第 3 章

プリンターの機能とその使い方

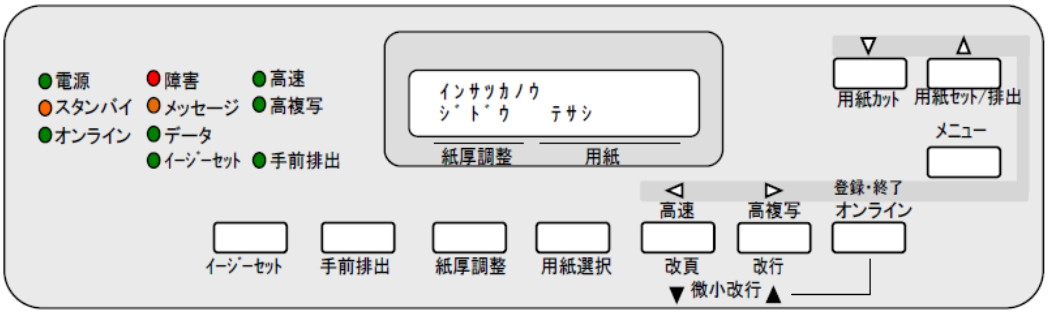
この章では、操作パネルの機能やその使い方について説明します。

操作パネルの機能 3-2
操作パネルランプ 3-3
操作パネルスイッチ 3-4
表示パネル 3-7
動作環境の設定 3-8
メニュー設定の変更方法 3-8
メニュー設定項目 3-11
[大項目]:オフィスモード 3-11
[大項目]:テサシ　セッテイ 3-12
[大項目]:マエASF　セッテイ 3-14
[大項目]:ウシロASF　セッテイ 3-15
[大項目]:マエレンチョウ　セッテイ 3-16
[大項目]:ウシロレンチョウ　セッテイ 3-18
[大項目]:ハードウエア　セッテイ 3-20
[大項目]:コマンドキノウ　セッテイ 3-23
[大項目]:ソノタ　セッテイ 3-24
メニュー設定初期化方法 3-26

操作パネルの機能

操作パネルには、プリンターの状態を示すパネルランプとプリンターの機能や状態を切り替えるスイッチがあります。
また、表示パネルによりプリンターの状態を表示します。

【表示パネル部】



操作パネルランプ

操作パネルランプは、点灯、消灯、点滅でプリンターの状態を表しています。
ランプが示す状態表示は、下表の通りです。

名　　称	点　　灯	消　　灯	点　　滅
電　源 （緑）	電源ＯＮ状態	電源ＯＦＦまたは スタンバイ状態	－
スタンバイ （橙）	スタンバイ状態	通常状態	
オンライン （緑）	オンライン状態	オフライン状態	－
データ （緑）	未印字データあり	未印字データなし	データ受信中
イージーセット （緑）	イージーセット機能 有効(*1)	イージーセット機能 無効	－
手前排出 （緑）	単票排出方向が手前 (*1)	単票排出方向が後方	－
障　害 （赤）	ハードウエア障害 あり	ハードウエア障害 なし	－
メッセージ （橙）	メッセージあり オペレーター介入要求	メッセージなし	メッセージあり 回復可能エラー
高　速 （緑）	高速モード	高速モード解除	－
高複写 （緑）	高複写モード１	高複写モード解除	高複写モード２

(*1) 単票モード選択時（スイッチ，コマンド）のみ点灯します。（前/後連帳選択時は消灯）

操作パネルスイッチ

本プリンターには10個のスイッチがあります。
スイッチを押すことで、プリンターの状態や機能が選択できます。
表示パネルや操作パネルのランプに状態や機能が表示されます。
（スイッチでの切替は、次の電源OFFまで有効です。）
継続して設定を変更したい場合は、メニュー設定で変更を行ってください。

【スイッチ機能一覧】

番号	プリンター状態 スイッチ名称	状態	機　能	
			単票用紙	連続用紙
1	登録･終了 オンライン	オフライン	オンライン状態（プリンター準備完）になります。	
		オンライン	オフライン状態（プリンタービジー）になります。	
2	▷ 高複写 改　行 微小改行▲	オフライン	正方向の改行を行います。 スイッチを押し続けることで、連続した改行が可能です。	
		オンライン	通常→高複写 1→高複写 2 の切り替えを行います。 [高複写 1] 印字速度を抑え、インパクト力をアップします。 [高複写 2] 印字速度を半分に抑え、二重印字を行います。	
			[登録・終了／オンライン]スイッチと同時に押下することで、正方向の微少改行を行います。（スイッチを押し続けることで、連続した微少改行が可能です。）	

番号	プリンター状態 スイッチ名称	状態	機　能 単票用紙	連続用紙
3	◁ 高 速 改 頁 微小改行▼	オフライン	用紙を排出します。	改頁を行います。
		オンライン	標準印字→高速印字の切替を行います。 初期値は、標準印字です。	
			[登録・終了／オンライン]スイッチと同時に押下することで、逆方向の微少改行を行います。（スイッチを押し続けることで、連続した微少改行が可能です。）	
4	用紙選択	オフライン	用紙モードを切り替えます。 初期値は手差しモードです。 「手差し」ー「前 ASF」ー「後 ASF」ー「前連帳」ー「後連帳」の順に切り替わります。 「ASF」は接続時のみ表示されます。 また、前 ASF 搭載時に前連帳には切り替わりません。	
		オンライン	無効	無効
5	紙厚調整	オフライン	紙厚レンジを切り替えます。 初期値は、紙厚調整「ｼﾞﾄﾞｳ」になっています。 選択状態はＢ部に表示されます。 レンジ選択後、紙厚調整スイッチを押下すると、選択値が記憶され、継続して設定値が有効になります。	
		オンライン	無効	無効
6	手前排出	オフライン	単票の排出方向を切り替えます。	無効
		オンライン	単票の排出方向を切り替えます。	無効

<table>
<tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">プリンター状態
スイッチ名称</th><th rowspan="2">状態</th><th colspan="2">機　能</th></tr>
<tr><th>単票用紙</th><th>連続用紙</th></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td rowspan="2">イージーセット</td><td>オフライン</td><td rowspan="2">イージーセット機能の有効/無効を切り替えます。</td><td>無効</td></tr>
<tr><td>オンライン</td><td>無効</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2">メニュー</td><td>オフライン</td><td colspan="2">メニュー設定に移行します。</td></tr>
<tr><td>オンライン</td><td>無効</td><td>無効</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td rowspan="2">△
用紙ｾｯﾄ/排出</td><td>オフライン</td><td>用紙の給紙または排出をします。</td><td>オートロードまたは用紙を退避します。</td></tr>
<tr><td>オンライン</td><td>単票セット待ち状態のとき用紙を給紙します。</td><td>連帳退避待ち状態のとき用紙を退避します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td rowspan="2">▽
用紙ｶｯﾄ</td><td>オフライン</td><td>無効</td><td>カット位置まで用紙を送ります。再押下またはデータ受信で送られた用紙を元の位置に戻ります。</td></tr>
<tr><td>オンライン</td><td>無効</td><td>初期値は無効です。
メニュー設定の「ｵﾝﾗｲﾝｼﾞﾉｶｯﾄ SW」を「ﾕｳｺｳ」にすると、オンライン時でもカット機能が使用できます。</td></tr>
</table>

表示パネル

表示パネルには、プリンターの設定や選択されている状態、エラーメッセージなどが表示されます。

【表示パネル部】

【表示内容】

位置	表　示　内　容	表　示　例	備　　考
A	プリンター状態	ｲﾝｻﾂｶﾉｳ	オンライン状態
		ﾀｲｷﾁｭｳ	オフライン状態
B	紙厚レンジ表示	ｼﾞﾄﾞｳ	オートギャップ
		ﾚﾝｼﾞ 1	マニュアルギャップ レンジは 1～9 及び A～D
		ﾚﾝｼﾞ x	
		ﾚﾝｼﾞ D	
C	用紙	ﾃｻｼ	単票手差しモード
		ﾏｴ ASF	単票自動給紙(前)
		ｳｼﾛ ASF	単票自動給紙(後)
		ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ	連帳モード(前)
		ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ	連帳モード(後)

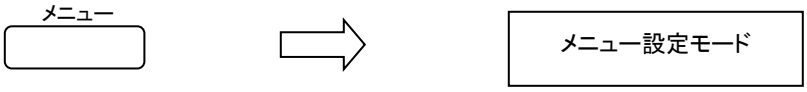
動作環境の設定

ここでは、プリンターの動作環境の設定について、説明します。
プリンターの動作環境は、操作パネルからメニュー設定を変更することで設定することができます。

メニュー設定の変更方法

1　メニュー設定モードに移行する

プリンターのオフライン時に「メニュー」スイッチを押下することで、メニュー設定モードに移行します。



表示パネルに「オフィスモード」と表示されていることを確認してください。
（表示されていない場合、もう一度スイッチ操作をやり直してください。）

2　設定内容を変更する

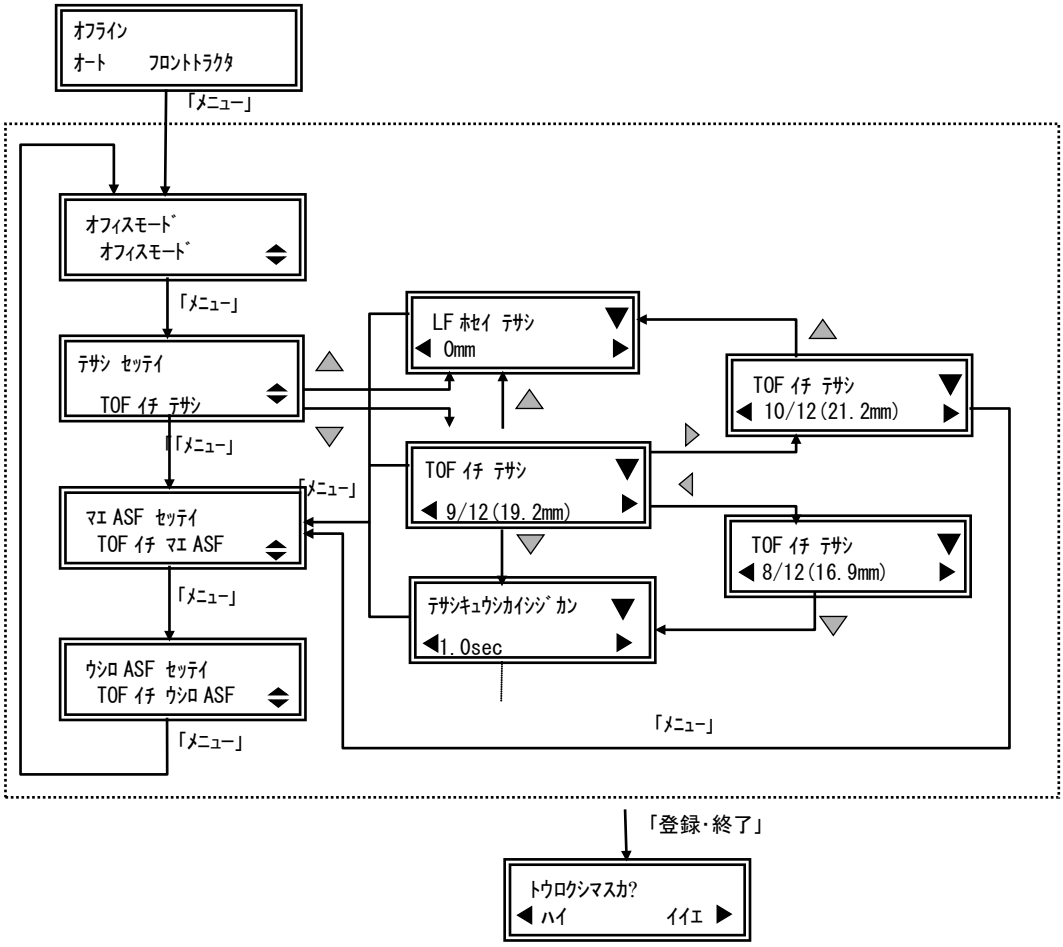
設定の変更は、5つのスイッチで行います。
「大項目」－「中項目」の順で変更する項目を選択し、設定値の変更を行います。
メニュー設定の状態遷移は、次ページをご覧ください。

メニュー	①大項目を選択します
▽ 用紙ｶｯﾄ　△ 用紙ｾｯﾄ/排出	②中項目を選択します
◁ 高　速 改　頁　▷ 高複写 改　行	③設定値を切り替えます

メニュー設定モードでは、以下の機能を実行することができます。

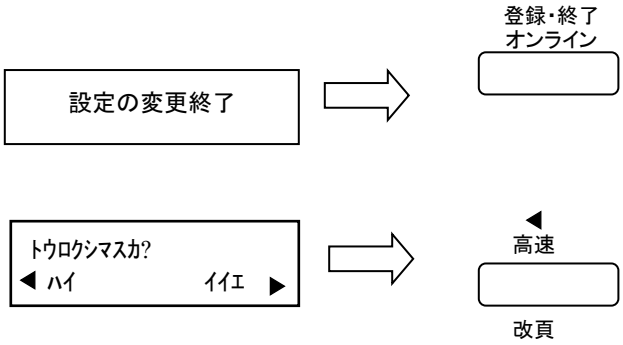
メニューモード機能		トップメニュー名称
1	オフィスモード	ｵﾌｨｽﾓｰﾄﾞ
2	手差しモード設定	ﾃｻｼ ｾｯﾃｲ
3	前ASFモード設定	ﾏｴ ASF ｾｯﾃｲ
4	後ASFモード設定	ｳｼﾛ ASF ｾｯﾃｲ
5	前連帳モード設定	ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ ｾｯﾃｲ
6	後連帳モード設定	ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ ｾｯﾃｲ
7	ハードウエア設定	ﾊｰﾄﾞｳｴｱ ｾｯﾃｲ
8	コマンド機能設定	ｺﾏﾝﾄﾞ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ
9	その他の設定	ｿﾉﾀ ｾｯﾃｲ

【メニュー設定状態遷移】



3　設定内容を保存する

設定変更した内容は、「登録・終了／オンライン」スイッチを押下した後、「トウロクシマスカ？＝ハイ」（高速／改頁スイッチ押下）を選択することで、イニシャル動作を行いメモリーに記憶されます。



メニュー設定項目

メニュー設定項目は次の通りです。

アンダーラインのある設定値が初期値(工場出荷時の値)です。

[大項目] ：オフィスモード

中項目 [LCD 表示]	設定値	機　能	
オフィスモード [ｵﾌｨｽﾓｰﾄﾞ]	ﾑｺｳ ﾃｲｿｳｵﾝ ｿｸﾄﾞ ﾕｳｾﾝ 1 ｿｸﾄﾞ ﾕｳｾﾝ 2	印字時の動作音を抑える低騒音モードの有効/無効および動作方法を設定します。	
		低騒音：	全てのデータをオフィスモード(片方向)で印字
		速度優先 1	OCR 文字を含む行以外をオフィスモード(両方向)で印字
		速度優先 2	OCR 文字を含む行もオフィスモード(両方向)で印字

メモ

オフィスモード使用時は、スループットが低下する場合があります。
印字速度を重視される場合は、オフィスモードを無効に設定してください。
また、オフィスモード有効時は、高速スイッチおよび高速印字指定コマンドは無効になります。

[大項目]：テサシ　セッテイ

中項目 [LCD 表示]	設定値	機　能
単票吸入位置(手差し) [TOF ｲﾁ ﾃｻｼ]	0/12(0mm) ：(1/12 ｲﾝﾁ単位) 9/12(19.1mm) ：(1/12 ｲﾝﾁ単位) 13/12(27.5mm)	単票用紙(手差し)の吸入(頭出し)位置を設定します。頭出し指定コマンド受信時はコマンドに従います。
手差し給紙開始時間 [ﾃｻｼｷｭｳｼｶｲｼｼﾞｶﾝ]	0.5s ：(0.5s 単位) 1.0s ：(0.5s 単位) 3.0s	単票用紙(手差し)が挿入されたことを検出してから給紙動作(ローラー回転)するまでの時間を設定します。
単票排出方向 [ﾊｲｼｭﾂﾎｳｺｳ ﾃｻｼ]	ｾﾞﾝﾎﾟｳ ｺｳﾎｳ	単票用紙(手差し)の排出方向を指定します。
PE 検出位置 [PE ｷｮﾘ ﾃｻｼ]	4.2mm ﾑｺｳ	単票用紙(手差し)の PE 検出位置を設定します。
紙厚調整 [ｶﾐｱﾂ ﾃｻｼ]	ｼﾞﾄﾞｳ ﾚﾝｼﾞ 1 ： ﾚﾝｼﾞ D	単票用紙(手差し)の用紙厚さを調整します。
ｲｰｼﾞｰｾｯﾄ機能 [ｲｰｼﾞｰｾｯﾄ]	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	イージーセット機能を使用するか否かを設定します。
ｲｰｼﾞｰｾｯﾄの左端余白 [ｲｰｼﾞｰｾｯﾄｻﾀﾝﾖﾊｸ]	0mm ：(1/90 ｲﾝﾁ単位) 5.1mm ：(1/90 ｲﾝﾁ単位) 45.2mm	イージーセット機能使用時の左端印字開始位置を設定します。
手差し斜行検出 [ﾃｻｼ ｼｬｺｳｹﾝｼｭﾂ]	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	イージーセット機能を無効にした場合の用紙吸入時の斜行検出精度を設定します。
斜行検出値 [ｼｬｺｳｹﾝｼｭﾂﾁ]	1.5mm 2.0mm 2.5mm ｿｸﾄﾞﾕｳｾﾝ	斜行検出の検出レベル(値)を設定します。
PE 処理(手差し) [ﾀﾝﾋﾟｮｳﾃｻｼ PE ｼｮﾘ]	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ 30s ：(30s 単位) 60s ：(30s 単位) 990s	手差し単票の PE を検出してからオフラインとなるまでの時間を設定します。 [ﾕｳｺｳ]に設定したときは、PE 検出と同時にオフラインとなります。[ﾑｺｳ]に設定したときは PE を検出してもオフラインとはなりません。
吸入位置微調整(手差し) [TOF ﾃｻｼﾎｾｲ]	-2.1mm ：(1/120 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/120 ｲﾝﾁ単位) +2.1mm	手差し単票吸入位置の微調整を行います。

中項目 [LCD 表示]	設定値	機　能
PE 検出位置微調整 （手差し） [PE ﾎｾｲ ﾃｻｼ]	-4.2mm ：(1/60 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/60 ｲﾝﾁ単位) +4.2mm	手差し単票の PE 検出位置の微調整を行います。
第一文字打出位置補正 （手差し） [1 ﾓｼﾞ ﾎｾｲ ﾃｻｼ]	-2.8mm ：(1/90 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/90 ｲﾝﾁ単位) +2.8mm	手差し単票の第一文字の打出し位置の微調整を行います。
改行補正（手差し） [LF ﾎｾｲ ﾃｻｼ]	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	手差し単票に対する累積改行補正量（10 インチ（254mm）あたりの補正量）を設定します。

[大項目]：マエＡＳＦ　セッテイ

設定項目名 [LCD 表示]	設定値名	機　能
単票吸入位置(前 ASF) [TOF ｲﾁ ﾏｴ ASF]	0/12(0mm) ：(1/12 ｲﾝﾁ単位) 9/12(19.1mm) ：(1/12 ｲﾝﾁ単位) 13/12(27.5mm)	単票用紙(前 ASF)の吸入(頭出し)位置を設定します。頭出し指定コマンド受信時はコマンドに従います。
単票排出方向 [ﾊｲｼｭﾂﾎｳｺｳﾏｴ ASF]	ｾﾞﾝﾎﾟｳ ｺｳﾎｳ	単票用紙(前 ASF)の排出方向を指定します。
PE 検出位置 [PE ｷｮﾘ ﾏｴ ASF]	4.2mm ﾑｺｳ	単票用紙(前ASF)のPE 検出位置を設定します。
紙厚調整 [ｶﾐｱﾂ ﾏｴ ASF]	ｼﾞﾄﾞｳ ﾚﾝｼﾞ 1 ： ﾚﾝｼﾞ D	単票用紙(前 ASF)の用紙厚さを調整します。
吸入位置微調整 (前 ASF) [TOF ﾏｴ ASF ﾎｾｲ]	-2.1mm ：(1/120 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/120 ｲﾝﾁ単位) +2.1mm	前 ASF 単票吸入位置の微調整を行います。
PE 検出位置微調整 (前 ASF) [PE ﾎｾｲ ﾏｴ ASF]	-4.2mm ：(1/60 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/60 ｲﾝﾁ単位) +4.2mm	前ASF 単票のPE 検出位置の微調整を行います。
第一文字打出位置補正 (前 ASF) [1 ﾓｼﾞ ﾎｾｲ ﾏｴ ASF]	-2.8mm ：(1/90 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/90 ｲﾝﾁ単位) +2.8mm	前 ASF 単票の第一文字の打出し位置の微調整を行います。
改行補正(前 ASF) [LF ﾎｾｲ ﾏｴ ASF]	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	前ASF 単票に対する累積改行補正量(10 インチ(254mm)あたりの補正量)を設定します。

[大項目]：ウシロＡＳＦ　セッテイ

設定項目名 [LCD 表示]	設定値名	機　能
単票吸入位置(後 ASF) [TOF ｲﾁ ｳｼﾛ ASF]	0/12(0mm) ：(1/12 ｲﾝﾁ単位) 9/12(19.1mm) ：(1/12 ｲﾝﾁ単位) 13/12(27.5mm)	単票用紙(後 ASF)の吸入(頭出し)位置を設定します。頭出し指定コマンド受信時はコマンドに従います。
単票排出方向 [ﾊｲｼｭﾂﾎｳｺｳｳｼﾛ ASF]	ｾﾞﾝﾎﾟｳ ｺｳﾎｳ	単票用紙(後 ASF)の排出方向を指定します。
PE 検出位置 [PE ｷｮﾘ ｳｼﾛ ASF]	4.2mm ﾑｺｳ	単票用紙(後ASF)のPE 検出位置を設定します。
紙厚調整 [ｶﾐｱﾂ ｳｼﾛ ASF]	ｼﾞﾄﾞｳ ﾚﾝｼﾞ 1 ： ﾚﾝｼﾞ D	単票用紙(後 ASF)の用紙厚さを調整します。
吸入位置微調整(後 ASF) [TOF ｳｼﾛ ASF ﾎｾｲ]	-2.1mm ：(1/120 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/120 ｲﾝﾁ単位) +2.1mm	後 ASF 単票吸入位置の微調整を行います。
PE 検出位置微調整 (後 ASF) [PE ﾎｾｲ ｳｼﾛ ASF]	-4.2mm ：(1/60 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/60 ｲﾝﾁ単位) +4.2mm	後ASF 単票のPE 検出位置の微調整を行います。
第一文字打出位置補正 (後 ASF) [1 ﾓｼﾞ ﾎｾｲｳｼﾛ ASF]	-2.8mm ：(1/90 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/90 ｲﾝﾁ単位) +2.8mm	後 ASF 単票の第一文字の打出し位置の微調整を行います。
改行補正(後 ASF) [LF ﾎｾｲ ｳｼﾛ ASF]	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	後ASF 単票に対する累積改行補正量(10 インチ(254mm)あたりの補正量)を設定します。

[大項目]：マエレンチョウ　セッテイ

設定項目名 [LCD 表示]	設定値名	機　能
連帳吸入位置(前連帳) [TOF ｲﾁ ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ]	0/12(0mm) ：(1/12 ｲﾝﾁ単位) 13/12(27.5mm) ：(1/12 ｲﾝﾁ単位) 15/12(31.8mm)	連帳用紙(前連帳)の吸入(頭出し)位置を設定します。頭出し指定コマンド受信時はコマンドに従います。
改行量 [ｶｲｷﾞｮｳﾏｴﾚﾝﾁｮｳ]	3LPI 4LPI 6LPI 8LPI	前連帳の改行量を指定します。
頁長(前連帳) [ﾍﾟｰｼﾞﾁｮｳ ﾏｴ]	1 ｷﾞｮｳ ：(1 ｷﾞｮｳ単位) 66 ｷﾞｮｳ ：(1 ｷﾞｮｳ単位) 99 ｷﾞｮｳ	連帳用紙(前連帳)の頁長を設定します。
PE 検出位置(前連帳) [PE ｷｮﾘ ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ]	4.2mm 101mm	連帳用紙(前連帳)の PE 検出位置を設定します。
紙厚調整(前連帳) [ｶﾐｱﾂ ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ]	ｼﾞﾄﾞｳ ﾚﾝｼﾞ 1 ： ﾚﾝｼﾞ D	連帳用紙(前連帳)の用紙厚さを調整します。
紙ﾎﾁｷｽﾓｰﾄﾞ(前連帳) [ｶﾐﾎﾁｷｽﾓｰﾄﾞ ﾏｴ]	ﾑｺｳ ﾕｳｺｳ	紙ホチキスモードを使用するかしないかを指定します。
電源投入時の用紙位置 [POW ON ﾖｳｼ ﾏｴ]	ｹﾞﾝｻﾞｲｲﾁ ｶｯﾄｲﾁ	電源投入時の用紙位置を指定します。
吸入位置微調整 (前連帳) [TOF ﾏｴﾚﾝﾁｮｳﾎｾｲ]	-2.1mm ：(1/120 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/120 ｲﾝﾁ単位) +2.1mm	前連帳連帳吸入位置の微調整を行います。
PE 検出位置微調整 (前連帳) [PE ﾎｾｲ ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ]	-4.2mm ：(1/60 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/60 ｲﾝﾁ単位) +4.2mm	前連帳連帳の PE 検出位置の微調整を行います。

設定項目名 [LCD 表示]	設定値名	機　能
第一文字打出位置補正 (前連帳) [1 ﾓｼﾞ ﾎｾｲﾏｴﾚﾝﾁｮｳ]	-2.8mm ：(1/90 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/90 ｲﾝﾁ単位) +2.8mm	前連帳連帳の第一文字の打出し位置の微調整を行います。
改行補正(前連帳) [LF ﾎｾｲ ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ]	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	前連帳連帳に対する累積改行補正量(11 インチ(279mm)あたりの補正量)を設定します。
最終頁補正(前連帳) [END ﾍﾟｰｼﾞ ﾎｾｲ ﾏｴ]	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	前連帳連帳の用紙下端がトラクターから外れてからの改行補正量を設定します。

[大項目]：ウシロレンチョウ　セッテイ

設定項目名 [LCD 表示]	設定値名	機　能
連帳吸入位置(後連帳) [TOF ｲﾁ ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ]	0/12(0mm) ：(1/12 ｲﾝﾁ単位) 13/12(27.5mm) ：(1/12 ｲﾝﾁ単位) 15/12(31.8mm)	連帳用紙(後連帳)の吸入(頭出し)位置を設定します。頭出し指定コマンド受信時はコマンドに従います。
改行量 [ｶｲｷﾞｮｳｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ]	3LPI 4LPI 6LPI 8LPI	後連帳の改行量を指定します。
頁長(後連帳) [ﾍﾟｰｼﾞﾁｮｳ ｳｼﾛ]	1 ｷﾞｮｳ ：(1 ｷﾞｮｳ単位) 66 ｷﾞｮｳ ：(1 ｷﾞｮｳ単位) 99 ｷﾞｮｳ	連帳用紙(後連帳)の頁長を設定します。
PE 検出位置(後連帳) [PE ｷｮﾘ ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ]	4.2mm 157mm	連帳用紙(後連帳)の PE 検出位置を設定します。
紙厚調整(後連帳) [ｶﾐｱﾂ ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ]	ｼﾞﾄﾞｳ ﾚﾝｼﾞ 1 ： ﾚﾝｼﾞ D	連帳用紙(後連帳)の用紙厚さを調整します。
紙ﾎﾁｷｽﾓｰﾄﾞ(後連帳) [ｶﾐﾎﾁｷｽﾓｰﾄﾞ ｳｼﾛ]	ﾑｺｳ ﾕｳｺｳ	紙ホチキスモードを使用するかしないかを指定します。
電源投入時の用紙位置 [POW ON ﾖｳｼ ｳｼﾛ]	ｹﾞﾝｻﾞｲｲﾁ ｶｯﾄｲﾁ	電源投入時の用紙位置を指定します。
吸入位置微調整 (後連帳) [TOF ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳﾎｾｲ]	-2.1mm ：(1/120 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/120 ｲﾝﾁ単位) +2.1mm	後連帳連帳吸入位置の微調整を行います。
PE 検出位置微調整 (後連帳) [PE ﾎｾｲ ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ]	-4.2mm ：(1/60 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/60 ｲﾝﾁ単位) +4.2mm	後連帳連帳の PE 検出位置の微調整を行います。

設定項目名 [LCD 表示]	設定値名	機　能
第一文字打出位置補正 (後連帳) [1 ﾓｼﾞ ﾎｾｲｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ]	-2.8mm ：(1/90 ｲﾝﾁ単位) 0mm ：(1/90 ｲﾝﾁ単位) +2.8mm	後連帳連帳の第一文字の打出し位置の微調整を行います。
改行補正(後連帳) [LF ﾎｾｲ ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ]	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	後連帳連帳に対する累積改行補正量(11 インチ(279mm)あたりの補正量)を設定します。
最終頁補正(後連帳) [END ﾍﾟｰｼﾞ ﾎｾｲｳｼﾛ]	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	後連帳連帳の用紙下端がトラクターから外れてからの改行補正量を設定します。

[大項目]：ハードウエア　セッテイ

設定項目名 [LCD 表示]	設定値名	機　能
内蔵 LAN ﾎﾞｰﾄﾞ [ﾅｲｿﾞｳ LAN ﾎﾞｰﾄﾞ]	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	内蔵 LAN ボードが搭載時のみ表示されます。
[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ]	ｵｰﾄ/ﾊﾞｯﾌｧﾕｳｺｳ ｾﾝﾄﾛ/ﾊﾞｯﾌｧﾕｳｺｳ ｾﾝﾄﾛ/ﾊﾞｯﾌｧﾑｺｳ USB/ﾊﾞｯﾌｧﾕｳｺｳ	インターフェイス設定とバッファ―設定の組み合わせを変更します。
	LAN/ﾊﾞｯﾌｧﾑｺｳ LAN/ﾊﾞｯﾌｧﾕｳｺｳ	内蔵 LAN ボード有効時の設定です。
改行量 [ｶｲｷﾞｮｳ ﾀﾝﾋﾟｮｳ]	3LPI 4LPI 6LPI 8LPI	単票用紙(手差し、前後 ASF)の改行量を指定します。
用紙ﾓｰﾄﾞ [ﾖｳｼﾓｰﾄﾞ]	ﾚﾝﾁｮｳﾓｰﾄﾞ ﾀﾝﾋﾟｮｳﾓｰﾄﾞ	電源 ON 時の用紙モード(用紙ルート)を選択します。
単票種類選択 [ﾖｳｼｼｭﾙｲ ﾀﾝﾋﾟｮｳ]	ﾃｻｼ ASF	電源 ON 時の用紙モード(用紙ルート)が、[ﾀﾝﾋﾟｮｳﾓｰﾄﾞ]となっている場合の単票種類を選択します。
連帳種類選択 [ﾖｳｼｼｭﾙｲ ﾚﾝﾁｮｳ]	ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ	電源 ON 時の用紙モード(用紙ルート)が、[ﾚﾝﾁｮｳﾓｰﾄﾞ]となっている場合の連帳種類を選択します。
ASF 選択 [ASF ｾﾝﾀｸ]	ﾏｴ ASF ﾕｳｾﾝ ｳｼﾛ ASF ﾕｳｾﾝ	ASF 使用時に前後どちらの ASF を優先するか設定します。
ASF 用紙なし時の動作 [ASF ｶﾐﾅｼ]	ﾃｻｼ PE	ASF の用紙がセットされていない場合の動作を設定します。
ASF 給紙方法 [ASF ｷｭｳｼﾎｳﾎｳ]	ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ｽｲｯﾁﾊﾞｯｸ	ASF の吸入方法を選択します。
ASF 紙厚検出 [ASF ｶﾐｱﾂｹﾝｼｭﾂ]	ﾓｰﾄﾞｷﾘｶｴｼﾞ ﾖｳｼｺﾞﾄ	ASF 使用時の紙厚検出タイミングを設定します。
単票排出後ﾓｰﾄﾞ [ﾀﾝﾋﾟｮｳﾊｲｼｭﾂｺﾞ]	ﾀﾝﾋﾟｮｳ ﾚﾝﾁｮｳ	単票排出後の用紙モードを設定します。
手差し割込み処理 [ﾃｻｼ ﾜﾘｺﾐｼｮﾘ]	ﾑｺｳ ﾕｳｺｳ	手差しモード以外でかつ用紙未給紙状態の際、手差し単票が挿入された場合に印刷するかしないかを設定します。
連帳ｵｰﾄﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ [ﾚﾝﾁｮｳｵｰﾄﾛｰﾄﾞ]	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	給紙ルート切り替え時、電源投入時等に連帳を自動的に吸入するかを指定します。
前ﾊﾟｽｷｬﾘｱ位置 [F ﾊﾟｽｷｬﾘｱｲﾁ]	ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ 1 ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ 2	プレプリント禁止領域にプレプリント部が重なる場合、前パス用紙(手差し,前 ASF,前連帳)吸入時のキャリア位置(用紙検出位置)を設定します。 [ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ 1,2]については、第 5 章の「プレプリント用紙を使用するとき」を参照してください。

設定項目名 [LCD 表示]	設定値名	機　能
後ﾊﾟｽｷｬﾘｱ位置 [R ﾊﾟｽｷｬﾘｱｲﾁ]	ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ 1 ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ 2	後パス用紙(後 ASF,後連帳)吸入時のキャリア位置を設定します。
ｵｰﾄﾃｨｱｵﾌ [ｵｰﾄﾃｨｱｵﾌ]	1sec 3sec ﾑｺｳ	用紙が TOF 位置にあるとき、設定された時間印字データが送信されなかった場合、自動的にｶｯﾄ位置まで用紙を送ります。 用紙が TOF 位置にない場合は、紙送りを行いません。
ｵｰﾄﾃｨｱｵﾌ動作 [ｵｰﾄﾃｨｱｵﾌﾄﾞｳｻ]	ｿｸﾄﾞｭｳｾﾝ ｾｲﾄﾞｭｳｾﾝ	オートティアオフ動作後の用紙引き戻し動作を設定します。[ｿｸﾄﾞｭｳｾﾝ]の場合,一定量戻し、[ｾｲﾄﾞｭｳｾﾝ]の場合,センサー部迄引き戻してから再給紙します。
ｶｯﾄｲﾁ戻し動作 [ｶｯﾄｲﾁﾓﾄﾞｼﾄﾞｳｻ]	1sec 2sec OFF	カット位置からの戻し動作を設定します。
ｵﾝﾗｲﾝ時のｶｯﾄｽｲｯﾁ [ｵﾝﾗｲﾝｼﾞﾉｶｯﾄ SW]	ﾑｺｳ ﾕｳｺｳ	オンライン時にカットスイッチを有効とするかしないかを設定します。
ｶｯﾄｽｲｯﾁ動作 [ｶｯﾄ SW ﾄﾞｳｻ]	ｷｭｳﾆｭｳﾘｮｳ ﾐｼﾝﾒ	カットスイッチ押下時の用紙送り量を設定します。
連帳退避時間 [ﾚﾝﾁｮｳﾀｲﾋｼﾞｶﾝ]	ﾅｼ 30s ：(30s 単位) 60s ：(30s 単位) 990s	連帳用紙を退避しきれなかった場合に退避エラーでオフラインとするまでの時間を設定します。
退避待ち動作 [ﾀｲﾋﾏﾁﾄﾞｳｻ]	ｶｯﾄｲﾁﾏﾃﾞｵｸﾙ ﾚﾝﾁｮｳﾀｲﾋ ﾄﾞｳｻｼﾅｲ	連続用紙への切替指定があった場合の動作を設定します。
ｵｰﾊﾞｰﾗｲﾄﾞ機能 [ｵｰﾊﾞｰﾗｲﾄﾞ]	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	オーバーライド機能の有効・無効を設定します。
ﾐｼﾝ目ｽｷｯﾌﾟ [ﾐｼﾝﾒｽｷｯﾌﾟ]	ﾅｼ 1 ｲﾝﾁ(25.4mm)	ミシン目スキップ機能の有効(1 インチ)とするか無効とするかを設定します。
ﾄﾗｸﾀ給紙制御 [ﾄﾗｸﾀｷｭｳｼｾｲｷﾞｮ]	ｾｲﾄﾞｭｳｾﾝ ｿｸﾄﾞｭｳｾﾝ	連続用紙給紙時に用紙厚検出を行い改行補正を行うか否かを設定します。
用紙ｸﾞﾘ印字防止 [ﾖｳｼｶﾞｲｲﾝｼﾞﾎﾞｳｼ]	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	用紙なし部分への印字防止機能の有効・無効を設定します。
改行ｽｲｯﾁ [ｶｲｷﾞｮｳ SW]	ｺﾏﾝﾄﾞ ｾｯﾃｲﾁ	改行スイッチ押下時の紙送り量をコマンドに従うかプリンターの設定値に従うかを設定します。
印字ﾓｰﾄﾞ変更契機 [ｲﾝｼﾞﾓｰﾄﾞﾍﾝｺｳｹｲｷ]	ｺﾏﾝﾄﾞﾕｳｾﾝ ﾒﾆｭｰﾕｳｾﾝ	印字モードの変更をコマンドに従うかプリンターの設定値に従うかを設定します。 [ﾒﾆｭｰﾕｳｾﾝ]の場合、以下の印字ﾓｰﾄﾞ変更コマンドは無効(受け捨て)となります。 a. 漢字高速指定ｺﾏﾝﾄﾞ(FS+x) b. 印字圧ﾓｰﾄﾞ設定ｺﾏﾝﾄﾞ(ESC+|+0Eh) c. 高速印字ﾓｰﾄﾞ設定ｺﾏﾝﾄﾞ(ESC+|+16h)

設定項目名 [LCD 表示]	設定値名	機　能
ﾍﾟｰｼﾞ長変更契機 [ﾍﾟｰｼﾞﾁｮｳﾍﾝｺｳｹｲｷ]	ｺﾏﾝﾄﾞﾕｳｾﾝ ﾒﾆｭｰﾕｳｾﾝ	ページ長の変更をコマンドに従うかプリンターの設定値に従うかを設定します。 [ﾒﾆｭｰﾕｳｾﾝ]の場合、ページ長設定コマンドは無効(受け捨て)となります。
単票排出方向 [ﾀﾝﾋﾟｮｳﾊｲｼｭﾂﾎｳｺｳ]	ｺﾏﾝﾄﾞﾕｳｾﾝ ﾒﾆｭｰﾕｳｾﾝ	単票用紙の排出方向をコマンドに従うかリンターの設定値に従うかを設定します。 [ﾒﾆｭｰﾕｳｾﾝ]の場合、単票排出方向設定]は無効（受け捨て）となります。
ﾌﾞｻﾞｰ設定 [ﾌﾞｻﾞｰｾｯﾃｲ]	1 2 OFF	ブザー音質(1,2)および OFF を設定します。
ﾌﾞｻﾞｰ動作 [ﾌﾞｻﾞｰﾄﾞｳｻ]	A ﾓｰﾄﾞ B ﾓｰﾄﾞ OFF	コマンド受信時，エラー発生時のブザー動作モードを設定します。

動　作　条　件	ブザー設定: （1または2の場合）			ブザー設定:OFF時		
	A ﾓｰﾄﾞ	B ﾓｰﾄﾞ	OFF	A ﾓｰﾄﾞ	B ﾓｰﾄﾞ	OFF
BELL コマンド受信時	○	○	○	○	○	×
カバーオープン	○	○	○	○	○	×
ホッパーエンプティ	○	◎	×	×	×	×
ペーパーエンド	○	◎	×	×	×	×
単票抜き取り待ち	◎	◎	×	×	×	×
単票吸入エラー	○	◎	×	×	×	×
用紙カット待ち	○	◎	×	×	×	×
連帳退避待ち	◎	◎	×	◎	◎	×
単票セット待ち（単票指定コマンド実行中）	◎	◎	×	×	×	×
手差し挿入待ちタイムアウト	○	◎	×	×	×	×
連帳退避待ちタイムアウト	○	◎	×	×	×	×
吸入ジャム	○	◎	×	×	×	×
単票ｾｯﾄ待ち（単票／手差し選択時）	◎	◎	×	◎	◎	×
用紙排出エラー	○	◎	×	×	×	×
HEX ダンプ印字	○	○	○	○	○	×
メニュー設定初期化	○	○	○	○	○	×
復旧不可能エラー（アラーム）検出時	○	◎	×	○	◎	×

◎：連続鳴動　　○：単発鳴動　　×：鳴動しない

設定項目名 [LCD 表示]	設定値名	機　能
印字桁数 [ｲﾝｼﾞｹﾀｽｳ]	136 ｹﾀ 132 ｹﾀ	1 行に印字できる印字桁数(ANK:10CPI 換算)を設定します。
用紙ｼﾞｬﾑ検知 [ﾖｳｼｼﾞｬﾑｹﾝﾁ]	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	用紙ジャム検出をするかしないかを設定します。
逆改行抑制 [ｷﾞｬｸｶｲｷﾞｮｳﾖｸｾｲ]	ﾑｺｳ ﾕｳｺｳ	縦倍角文字やマルチパス文字を印字する際に逆改行を極力行わないよう設定します。

[大項目]：コマンドキノウ　セッテイ

設定項目名 [LCD 表示]	設定値名	機　能
TOF 改頁 [TOF ｶｲﾍﾟｰｼﾞ]	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	連帳モード時にて TOF 位置で FF コード受信時の動作を指定します。
CR 動作 [CR ﾄﾞｳｻ]	CR CR+LF	CR コード受信時の動作を指定します。
ANK 文字ｺｰﾄﾞ表 [ANK ﾓｼﾞｺｰﾄﾞ]	ｶﾀｶﾅ ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ	ANK 文字のコード表を選択します。
ANK 文字品位 [ANK ﾓｼﾞﾋﾝｲ]	ｺｳﾋﾝｲ ﾄﾞﾗﾌﾄ	ANK 文字の文字品位を選択します。
ANK ﾌｫﾝﾄ [ANK ﾌｫﾝﾄ]	ﾛｰﾏﾝ ｹｰﾘｴ ｻﾝｾﾘﾌ ﾌﾟﾚｽﾃｰｼﾞ OCR-A OCR-B	ANK 文字の文字フォントを選択します。
国際文字選択 [ｺｸｻｲﾓｼﾞ]	ﾆｯﾎﾟﾝ ｱﾒﾘｶ	国際文字コード表の日本･アメリカを選択します。
ANK 文字間隔 [ANK ﾓｼﾞｶﾝｶｸ]	10CPI 12CPI 15CPI	ANK 文字の文字間隔を指定します。
漢字ﾌｫﾝﾄ [ｶﾝｼﾞﾌｫﾝﾄ]	ﾐﾝﾁｮｳﾀｲ ｺﾞｼｯｸﾀｲ	漢字の文字フォントを選択します。
印字方向指定 1 [ｲﾝｼﾞﾎｳｺｳ 1]	ｶﾀﾎｳｺｳ ﾘｮｳﾎｳｺｳ	縦拡大文字印字時の印字方向を指定します。
印字方向指定 2 [ｲﾝｼﾞﾎｳｺｳ 2]	ﾘｮｳﾎｳｺｳ ｶﾀﾎｳｺｳ	イメージ印字および 2 パス印字(重ね印字)時の印字方向を指定します。
DC1／DC3 [DC1/DC3]	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	DC1/DC3 コードの有効・無効を設定します。

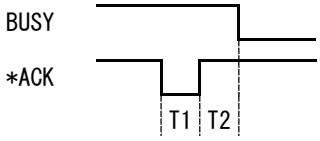
[大項目]：ソノタ　セッテイ

設定項目名 [LCD 表示]	設定値名	機　能
印字圧 [ｲﾝｼﾞｱﾂ]	ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ｺｳﾌｸｼｬ 1 ｺｳﾌｸｼｬ 2	印字圧を指定します。
印字ﾓｰﾄﾞ [ｲﾝｼﾞﾓｰﾄﾞ]	ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ｺｳｿｸ ﾃｲｿｳｵﾝ	印字モードを設定します。
ｾﾞﾛﾌｫﾝﾄ [ｾﾞﾛﾌｫﾝﾄ]	ｽﾗｯｼｭﾅｼ ｽﾗｯｼｭｱﾘ	ANK 文字「０」の書体を選択します。
*AUTOFEED XT 信号 [*AUTOFEED XT]	ﾑｺｳ ﾕｳｺｳ	*AUTOFEED XT 信号受信時の有効・無効を設定します。

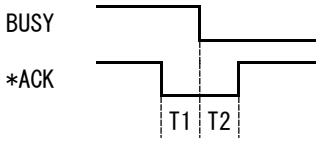
メニューの設定		電源投入時 AUTOFEEDXT の信号状態	CR コードの動作
AUTOFEEDXT 信号	CR コード		
無効	CR	―	自動改行しない
	CR+LF	―	自動改行する
有効	CR	LOW	自動改行する
		HIGH	自動改行しない
	CR+LF	―	自動改行する

設定項目名 [LCD 表示]	設定値名	機　能
*ACK ﾀｲﾐﾝｸﾞ [*ACK ﾀｲﾐﾝｸﾞ]	ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ｺｳｿｸ	インターフェイス上の*ACK 信号のパルス幅を指定します。
*ACK-BUSY ﾀｲﾐﾝｸﾞ [*ACK-BUSY]	A-B-A A-B	インターフェイスの*ACK 信号と BUSY 信号のタイミングを設定します。
SLCT IN [SLCT IN]	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	SLCT IN 信号受信時の有効・無効を設定します。
POWER ON READY [POWER ON READY]	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	電源 ON 時にオンラインとするかオフラインとするかを選択します。
双方向 I/F [ｿｳﾎｳｺｳ I/F]	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	インターフェイスを双方向とするか片方向とするかを選択します。
ｽﾀﾝﾊﾞｲﾓｰﾄﾞ [ｽﾀﾝﾊﾞｲﾓｰﾄﾞ]	1min ：(1min 単位) 60min	スタンバイモードへの移行時間を設定します。

ａ.「＊ＡＣＫ－ＢＵＳＹタイミング＝Ａ－Ｂ」



ｂ.「＊ＡＣＫ－ＢＵＳＹタイミング＝Ａ－Ｂ－Ａ」



お願い

添付のプリンタードライバー使用時は、プリンタードライバーの余白が優先されます(吸入位置の設定は反映されません)ので、アプリケーション側の余白設定にて調整願います。

メニュー設定初期化方法

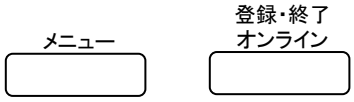
メニュー設定の初期化を行うことで、変更した設定値の内容を初期値（工場出荷時）に戻すことができます。

1　プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

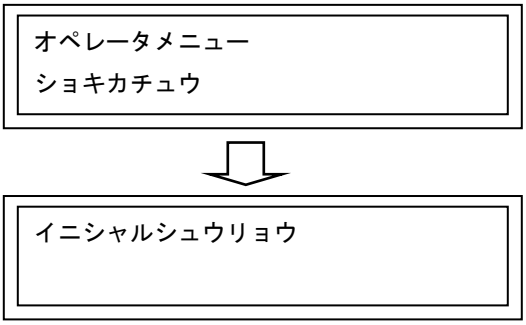
2　初期化を行う

次の2つのスイッチを押しながら、プリンターの電源を入れます。



3　表示パネルの表示内容を確認する

表示パネルに次の内容が表示されたことを確認します。



プリンターが起動したら、初期化の完了です。

第 4 章

用紙のセット

この章では、用紙のセット方法について説明します。

用紙をセットする 4-2
単票テーブルに用紙をセットする 4-3
連続用紙をセットする 4-7
連続用紙をカット位置に送る 4-15
オートシートフィーダーに用紙をセットする 4-16
用紙厚を調整する 4-21
印字位置を微調整する 4-23
印字開始位置を微調整する 4-23
行間ズレを微調整する（水平印字補正） 4-24

用紙をセットする

このプリンターでは、単票用紙および連続帳票用紙が使用できます。

‥ ガイド ‥

トラクターユニットは、着脱式でプリンターの前後に取付け可能です。
オプションのトラクターユニットをプリンター後面にセットすることにより、前後同時接続が可能となります。
オートシートフィーダーとトラクターユニットをプリンター前方に同時接続することはできません。

単票テーブルに用紙をセットする

イージーセット機能を使用すると、単票テーブルの中央に用紙を差し込むと自動的に吸入されます。単票用紙は一枚ずつ差し込んでください。使用できる用紙サイズは、はがき～A3です。詳細は「第5章　用紙について」を参照してください。
イージーセット機能オンで使用できない用紙はイージーセット機能オフにして使用してください。

1 プリンターの電源を入れる

スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

2 イージーセット機能の有効／無効を設定する

操作パネルの「イージーセット」ランプにより、イージーセット機能の有効／無効を確認します。 イージーセットスイッチを押すことで、イージーセット機能の有効／無効を切り替えることができます。

3 用紙モードが単票手差しモードになっていることを確認する

表示パネルに「テサシ」 と表示されていることを確認します。
表示パネルに「テサシ」 と表示されていない場合は、オンラインスイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にし、用紙選択スイッチを押して、用紙モードを「テサシ」に切り替えます。
このとき連続用紙が吸入されたままの場合は、メニュー設定に従って、連続用紙の「退避」 または「カット位置までの紙送り」を行います。

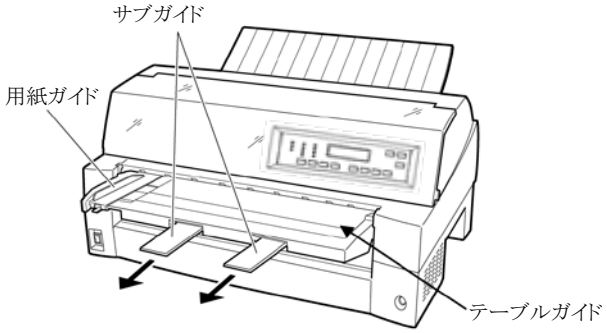
お願い	連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。 連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

4 上位装置から印刷を実行する

パソコンなどから印刷を実行します。

5 用紙をセットする

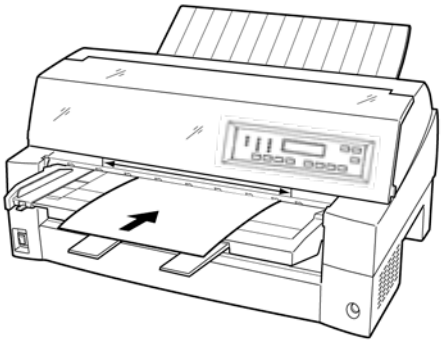
プリンターのブザーが鳴動し、表示パネルに「ﾀﾝﾋﾟｮｳ ｾｯﾄﾏﾁ ﾖｳｼｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と単票用紙のセット要求が表示されたら、用紙ガイドを左端に寄せ、単票テーブルに用紙をセットします。



A3サイズなど大きな用紙を使用する場合は、サブガイドを引き出してください。

・イージーセット機能を有効に設定した場合

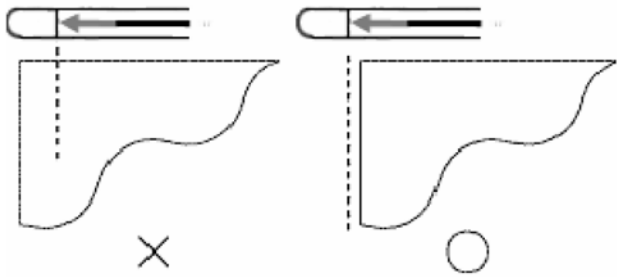
イージーセット機能の有効範囲に用紙をセットします。



印字開始位置は、メニュー設定のイージーセットの左端余白に従います。
工場出荷時は、用紙左端より 5.1mm の位置になります。

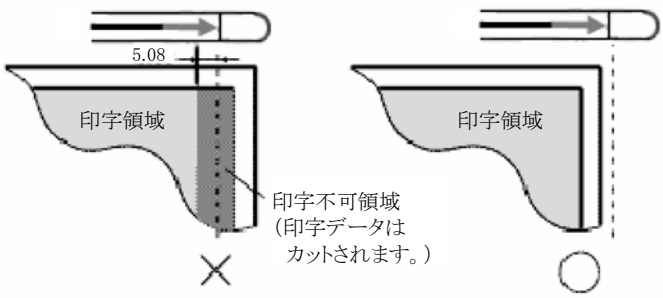
用紙左端位置に関する注意

プリンターのラベル←━━ 部（「イージーセット機能」の用紙セット範囲）に対して、用紙の左端を下記の×で示す位置にセットした場合、用紙吸入後に排出され、表示パネルに「ｾｯﾄｲﾁ　ｲｼﾞｮｳ　ｾｯﾄｲﾁ　ｶｸﾆﾝ」と表示されることがあります。○で示す位置にセットし直すか、「手差し設定」の「イージーセット左端余白」の設定値を適切な値に変更してください。



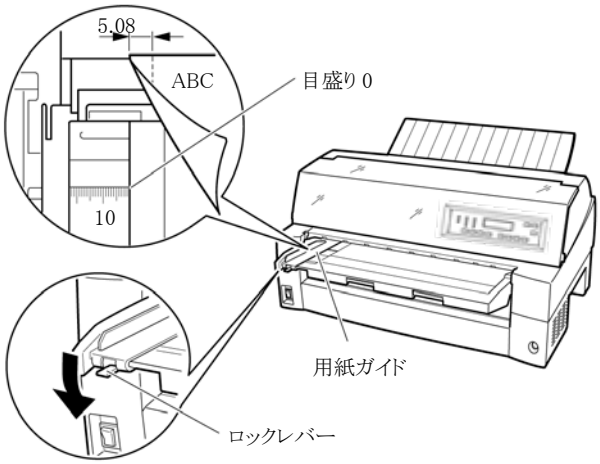
用紙右端位置に関する注意

プリンターのラベル━━→| 部（「イージーセット機能」の用紙セット範囲）に対して、用紙の右端を下記の×で示す位置にセットすると、印字データがカットされることがありますので、○の位置にセットしてください。



・イージーセット機能を無効に設定した場合

用紙ガイドに沿って、用紙をセットします。



印字開始位置を帳票に合わせて細かく設定したい場合は、イージーセット機能をオフにして用紙ガイドで調整してください。

連続用紙をセットする

次の1～2の基本操作を行い、連続用紙をセットする場所（前連帳、後連帳）にあわせて、それぞれの操作を行ってください。

お願い

単票テーブルに用紙が残ったまま連帳用紙を吸入させると、単票テーブル上の用紙も同時に吸入してしまう場合があります。連帳使用時には、単票テーブルの上に用紙をセットしないでください。

1　プリンターの電源を入れる

スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

2　用紙モードを確認する

用紙モードを「前連帳」または「後連帳」に設定します。

オンラインスイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にし、用紙選択スイッチを押して、用紙モードを「マエレンチョウ」または「ウシロレンチョウ」に切り替えます。

メモ

電源投入時の用紙モードは、メニュー設定で選択できます。
メニュー設定の「ﾊｰﾄﾞｳｴｱ　ｾｯﾃｲ」で「用紙モード」と「単票種類選択」、「連帳種類選択」を設定し、通常ご使用されるモードに設定しておくと便利です。

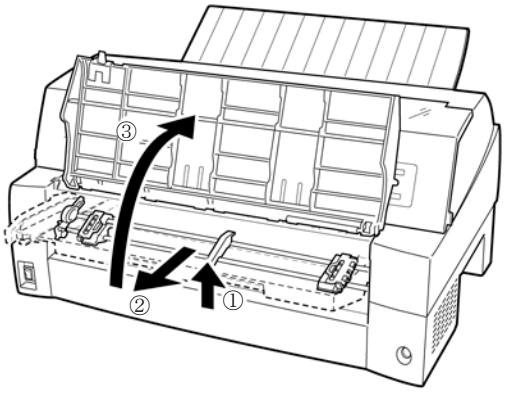
前トラクターから給紙する場合

1 用紙モードが「マエレンチョウ」になっていることを確認する

2 テーブルを開く

給紙部が「テサシ」のまま、単票テーブルを開くと、単票検知センサーに外乱光が入り誤動作することがあります。電源が入った状態で単票テーブルを開くときには給紙部を「マエレンチョウ」に変更してから以下の操作を行ってください。

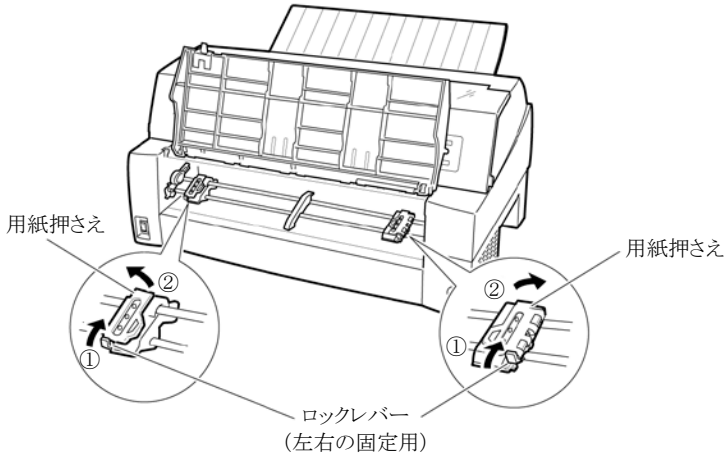
単票テーブルの先端を少し持ち上げ(①)、手前に引いた後(②)、回転させて開きます(③)。



3 用紙送りトラクターのロックを外し、用紙押さえを開く

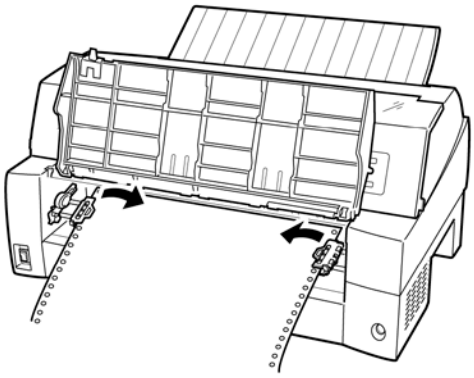
左右の用紙トラクターにあるロックレバーを、矢印方向に動かして（①）、トラクターが左右に移動できるようにします。

次に用紙押さえを開き（②）、用紙をセットできる状態にします。



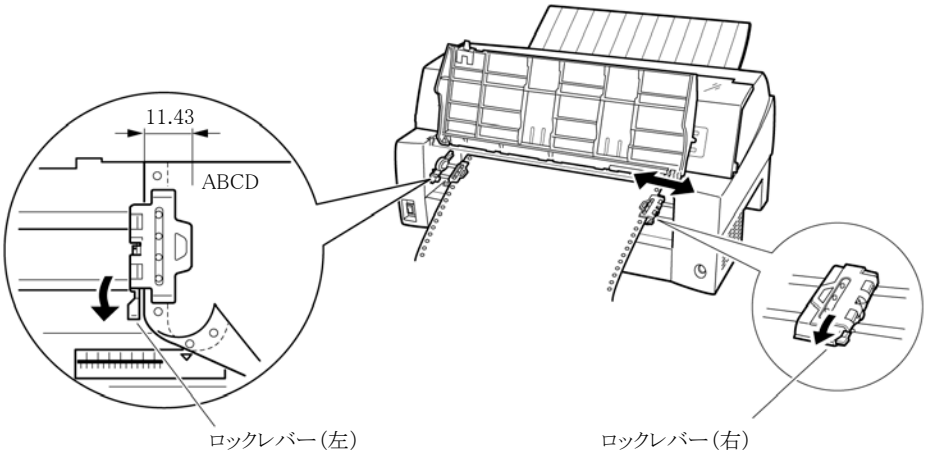
4 用紙をセットする

用紙送りトラクターのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。



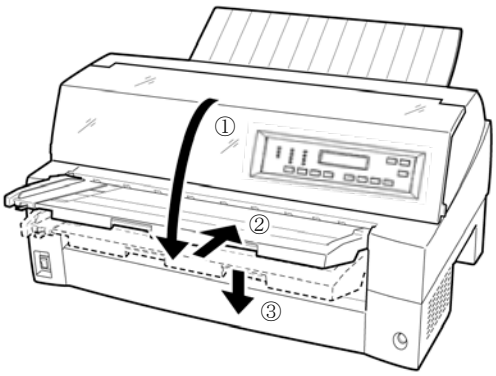
5　用紙を固定する

左側の用紙送りトラクターを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクターを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印方向に倒して固定します。用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43mm（用紙左端からの余白)となり、第 1 ドットが「▼」の位置となります。



6　単票テーブルを倒す

単票テーブルは、手前に倒した（①）後、奥に押し込んで（②）閉じます（③）。



7　用紙をロードする

用紙セットスイッチを押して、連続用紙をロードします。

連続用紙の置き方

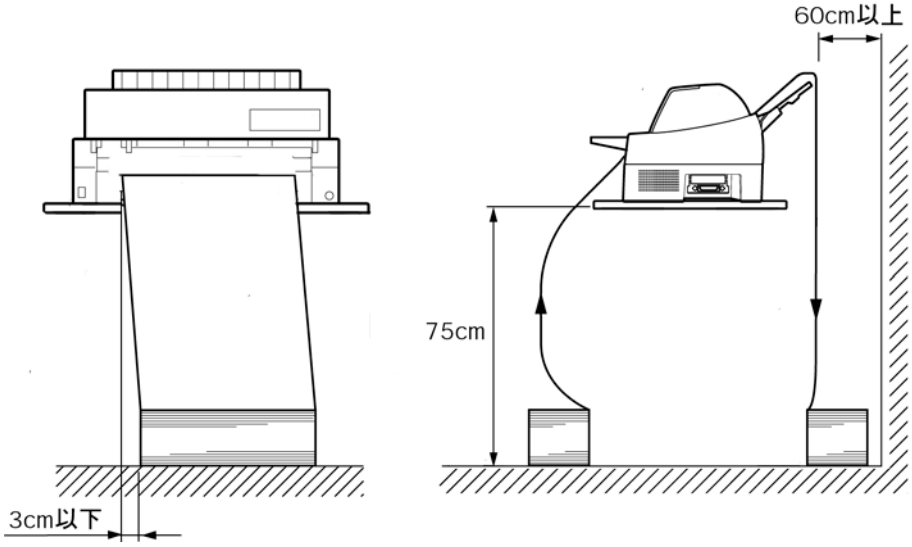
・プリンターを置く机の高さは、75cmを目安にしてください。

・連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンターと平行に置いてください。
左右方向のズレは3cm以下にしてください。

・プリンターの前部と机の縁をあわせてください。

・プリンターの後部は印字後の用紙スペース確保のため、壁から60cm以上離してください。

・インターフェイスケーブルや電源コードが用紙と干渉しないように注意してください。

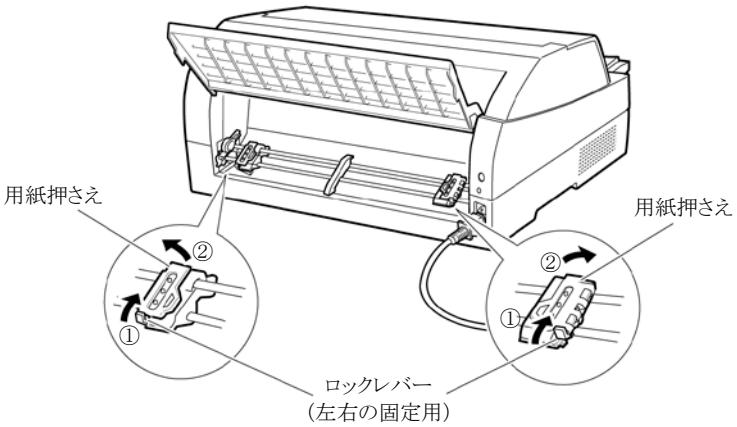


後トラクターからの給紙

1 用紙モードが「ウシロレンチョウ」になっていることを確認する

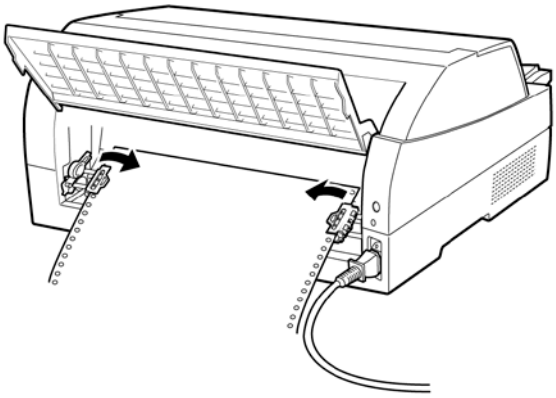
2 用紙送りトラクターのロックを外し、用紙押さえを開く

左右の用紙トラクターにあるロックレバーを、矢印方向に動かして(①)トラクター左右のロックを外し、用紙押さえを開きます(②)。



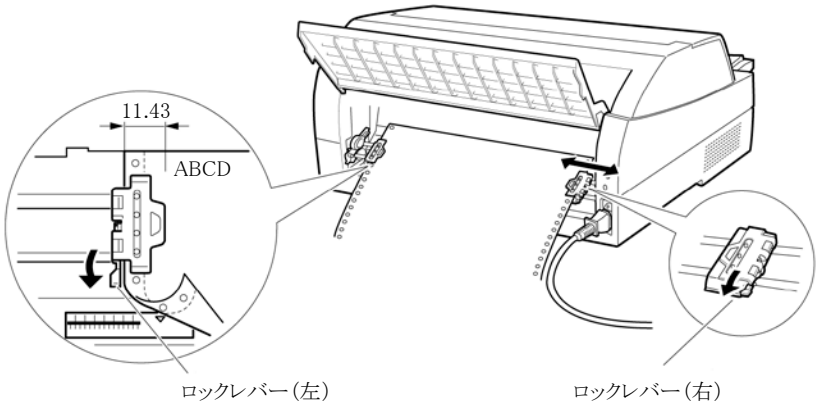
3 用紙をセットする

左右の用紙送りトラクターの用紙押さえを開きます。用紙送りトラクターのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。



4 用紙を固定する

左側の用紙送りトラクターを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクターを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印の方向に倒して固定します。用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43mm（用紙左端からの余白）となり、第 1 ドットが「▼」の位置となります。



5 用紙をロードする

用紙セットスイッチを押して、連続用紙をロードします。

連続用紙の置き方

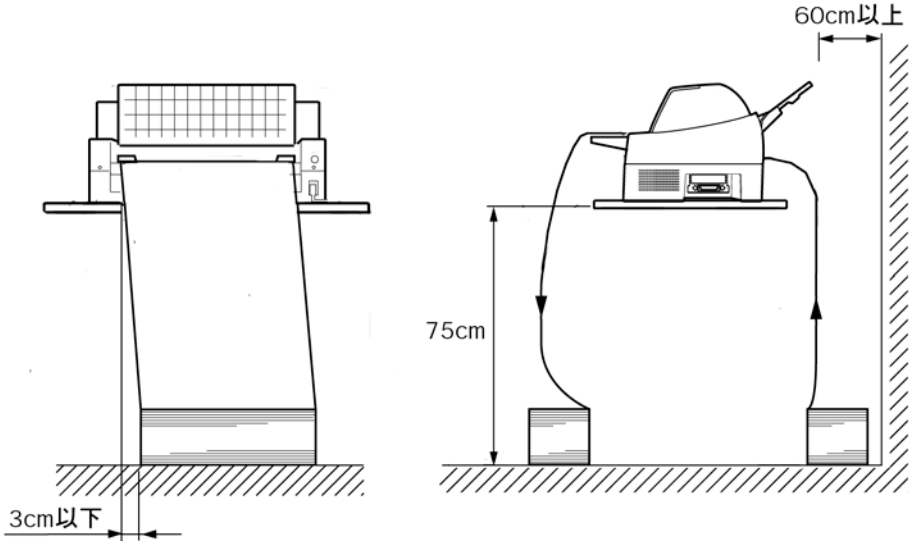
・プリンターを置く机の高さは、75cmを目安にしてください。

・連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンターと平行に置いてください。
左右方向のズレは3cm以下にしてください。

・プリンターの前部と机の縁をあわせてください。

・プリンターの後部は印字後の用紙スペース確保のため、壁から60cm以上離してください。

・インターフェイスケーブルや電源コードが用紙と干渉しないように注意してください。



連続用紙をカット位置に送る

連続用紙のミシン目が、カットしやすい位置（カット位置）にくるように用紙を送ります。

1　オフライン状態で、用紙カットスイッチを押す

メニュー設定の「カットスイッチ動作」の設定に従い、用紙カット位置まで送られます。
メニュー設定のハードウェア設定で、「オートティアオフ」を「1秒」 または 「3秒」 に設定している場合は、印字が終わる（または印字データを印字し終わる）ごとに自動的に用紙カット位置まで、用紙が送られます。

2　印字済みの用紙をカットする

連続用紙のミシン目部分を押さえながら、ゆっくりカットしてください。

3　用紙を印字開始位置に戻す

再度、用紙カットスイッチを押すと、用紙が印字開始位置まで戻ります。

・メモ

オンライン状態で、用紙カットスイッチを有効にしたい場合は、メニュー設定の「ﾊｰﾄﾞｳｴｱ ｾｯﾃｲ」で 「ｵﾝﾗｲﾝ時のｶｯﾄｽｲｯﾁ」 の設定を「ﾕｳｺｳ」に設定してください。（初期値は、「ﾑｺｳ」に設定されています。）

・・ ガイド ・・

プリンターの用紙カッター位置と用紙のミシン目がずれている場合、次の方法で調整してください。
用紙カットスイッチを押し、用紙カット位置まで用紙を送り出し、用紙カットスイッチを押しつづけた状態で、高複写／改行スイッチ（用紙送り量を大きくします）または高速／改頁スイッチ（用紙送り量を小さくします）を押してください。（1 回スイッチを押すごと1／180インチ補正します）

変更した調整の結果は、用紙カットスイッチから手を離すことで、プリンターに記憶されます。

オートシートフィーダーに用紙をセットする

オートシートフィーダーは、プリンターの前後に取り付けることができます。
基本的な用紙のセット方法は、どちらに取り付けた場合でも同じです。
説明では、オートシートフィーダーを前方に取り付けています。

お願い

紙質は同一種類のものをセットしてください。
銘柄や連量(紙厚)などが異なるものを一緒にしてセットしないでください。

1　プリンターの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

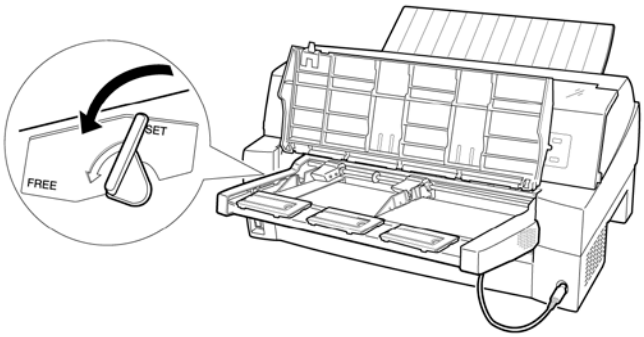
2　用紙モードを確認する

用紙モードを「マエASF」 または「ウシロASF」 に設定します。
オンラインスイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にし、用紙選択スイッチを押して、用紙モードを「マエASF」または「ウシロASF」に切り替えます。

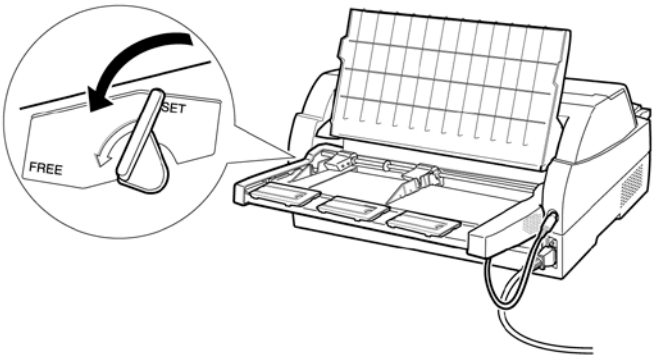
3　オートシートフィーダーがプリンター前部に取り付けられている場合は単票テーブルを、プリンター後部に取り付けられている場合はリアスタッカーを開く

4　オートシートフィーダーのセットレバーを「FREE」の位置にする

【プリンター前部に取り付けられている場合】



【プリンター後部に取り付けられている場合】



5　用紙ガイドに沿って用紙を載せる

用紙を揃え、左側の用紙ガイドに沿って用紙を載せます。右側の用紙ガイドの赤線が、一度にセットできる用紙の高さを示します。

お願い

左側の用紙ガイドは通常の場合、「▽」の位置(最も内側)に寄せてご使用ください。

A3 用紙を横にセットするときは、用紙サイズにあわせ用紙ガイドを移動してください。

・・ ガイド ・・

・用紙はよくさばき、上下左右をそろえてください。
　特に複写紙の場合、のり付けの部分が次の用紙と貼り付いていることがあります。

・用紙ガイドの上段の線を越えないように用紙をセットしてください。
　普通紙の場合、連量55kg 用紙で180枚が目安です。

・大きなサイズの用紙や複写紙の場合は、総紙厚を10mm 以下にしてください。

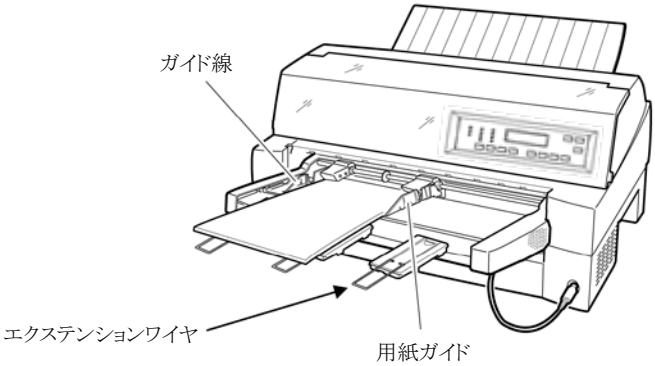
・折り目、しわ、傷、反りがあるもの、用紙の角が特殊な形状をしたものは使用しないでください。

・紙質、厚さ、大きさの異なる用紙を混ぜて使用しないでください。

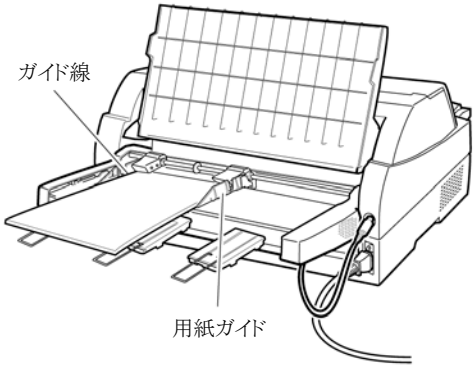
6　長い用紙をセットする場合は、エクステンション、エクステンションワイヤを展開する

7　右側用紙ガイドの位置を、セットする用紙に合わせる

【プリンター前部に取り付けられている場合】



【プリンター後部に取り付けられている場合】



・・ ガイド ・・

用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は、右側用紙ガイドを左へ動かして隙間をなくしてください。ガイドを用紙に押しつけ過ぎますと、吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。

8 オートシートフィーダーのセットレバーを「SET」の位置に戻し、単票テーブル、リアスタッカーを元に戻す

お願い

リアスタッカーへ印字後の用紙をスタックしすぎると用紙づまりなどが発生します。スタック可能枚数は 180 枚（上紙 55kg 用紙でオートシートフィーダーにセット可能な枚数）を目安に適度に取り除いてください。

‥ ガイド ‥

・使用中、用紙の端が不揃いになりましたら、印刷を中止し、用紙をそろえて、もう一度セットし直してください

・オートシートフィーダーからの給紙の場合、用紙の逆改行量は、1回の吸入に対して累計 8.47mm（1/3 インチ）以内です。

・オートシートフィーダーを前後に取り付けた場合、メニュー設定で、どちらのオートシートフィーダーから給紙するかを設定します。

・用紙の種類によっては、セットした最後の用紙が正常に印刷されない場合があります。

・用紙を前方に排出する場合は、用紙ガイドを左端に寄せてください。
使用される用紙によっては、紙詰まりが起こることがあります。

用紙厚を調整する

用紙厚の調整とは、印字ヘッドとプラテンの間隔を使用する用紙の厚みに合わせることです。本プリンターは、使用する用紙の厚さ、枚数に応じて自動的に印字ヘッドの位置を上下に調整する自動紙厚調整機能を装備しており、通常は紙厚調整の必要はありません。宅配便伝票などの段差のある用紙に印字するときに、自動紙厚調整ではうまく印字できない場合、操作パネルで手動紙厚調整を設定してください。

設定の変更には、当該印刷のみ設定を有効にするパネル操作と、継続的に設定を有効とするメニュー設定の変更があります。
メニュー設定では、手差し、前ASF、後ASF、前連帳、後連帳の各用紙モードで用紙厚を設定することができます。操作パネルで紙厚調整を「ジドウ」に設定した場合、プリンタードライバーでの設定は、無視し、操作パネルの設定値に従います。

設定は、次ページの値を参考に行ってください。
パネル操作、メニュー設定の変更については、「第3章　プリンターの機能とその使い方」を参照して、[カミアツチョウセイ　XXXX]を設定してください。
（XXXXは、各用紙モード）

設定の目安を次に示します。

用紙の種類と厚さ		紙厚調整値												
1 枚紙	複写紙	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D
連量 40～70kg	一般的な 1 枚 （連量 34kg）	○												
連量 70～110kg	2 枚		○											
連量 110～135kg	3 枚			○										
ハガキ	4 枚				○									
各種封筒 特殊紙など	5 枚					○								
	6 枚						○							
	7 枚							○						
	8 枚								○					
	9 枚									○				
	各種宅配伝票 （ゆうパック等）										○			
												○		
													○	
リボン交換時														○

お願い

手動でお使いになる場合は、用紙の厚さに対して下記の目安に従って用紙厚調整をセットしてください。

用紙厚調整値は、数字 1～9、英字 A～D の 13 段階あり、1 目盛増す毎に約 0.05 ㎜単位で用紙と印字ヘッドの間隔が広くなります。おおよその目安として 1～2 番の設定で 1 枚、1 目増す毎に用紙 1 枚分間隔が広くなります。

使用する用紙の複写枚数、厚さに応じて適切な印字品質となるように設定してください。

使用する用紙に対して、用紙厚調整が適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

用紙厚に対して用紙厚調整が広すぎるとき

印字抜けが生じることがあります。

用紙厚に対して用紙厚調整が狭すぎるとき

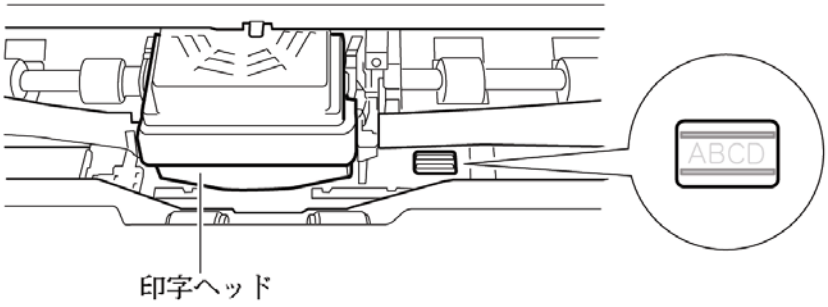
- 印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
- 用紙の端面が切れたり、しわになったりすることがあります。
- リボンによって用紙が汚れることがあります。
- 用紙の送りが悪くなることがあります。
- キャリアが正常に動かなくなることがあります。

印字位置を微調整する

印字開始位置を微調整する

1文字目の印字位置を任意の位置に設定することができます。
1文字目印字位置とは、用紙の先頭行のことで、用紙が自動給紙されて停止する位置です。用紙の種類によっては、1文字目印字位置が異なる場合がありますので、この機能を設定してください。

設定の変更には、当該印刷のみ設定を有効にするパネル操作と、継続的に設定を有効とするメニュー設定の変更があります。
メニュー設定では、手差し、前ASF、後ASF、前連帳、後連帳の各用紙モードで印字開始位置を設定することができます。



パネル操作、メニュー設定の変更については、「第3章　プリンターの機能とその使い方」を参照して、[TOFイチ　XXXX]を設定してください。
(XXXXは、各用紙モード)

行間ズレを微調整する（水平印字補正）

縦罫線などを正逆両方向で印字したときに生じる行間の横方向の印字位置の不揃いを直します。オフィスモード、標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードの行間ズレを直すことができます。ドラフト印字モードとは 60dpi の解像度の内蔵フォントを使用して標準の 3 倍の速度で印字するモードです。

設定の変更については、「第6章　保守と点検」の「水平印字補正」を参照してください。

第 5 章

用紙について

この章では、本プリンターで印刷できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

使用できる用紙について 5-2
手差しで使用する単票用紙 5-3
オートシートフィーダーで使用する単票用紙 5-8
連続帳票用紙 5-12
とじ穴の開けかた 5-24
プレプリント用紙を使用するとき 5-25
用紙の形状について 5-28
取り扱い上のご注意 5-29
再生紙の利用について 5-32
使用できない用紙 5-34
帳票設計時のご注意 5-37

使用できる用紙について

本プリンターで印字できる用紙は下記の通りです。ご確認のうえご使用ください。
なお、用紙の詳細については、「用紙の種類」をご確認ください。

使用可能用紙一覧

用紙種類 ＼ 形名・品名			普通紙		複写紙			はがき用紙	ラベル紙	封筒用紙	宅配伝票	OA和紙
			上質紙	再生紙	裏カーボン紙	ケミカルカーボン紙	ワンタイムカーボン紙					
連続用紙	プリンター	前連続紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
		後連続紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
単票用紙	手差し単票		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	イージーセット		○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
	オートシートフィーダー	前 ASF	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○
		後 ASF	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○

(※1) ○が使用可能用紙です。

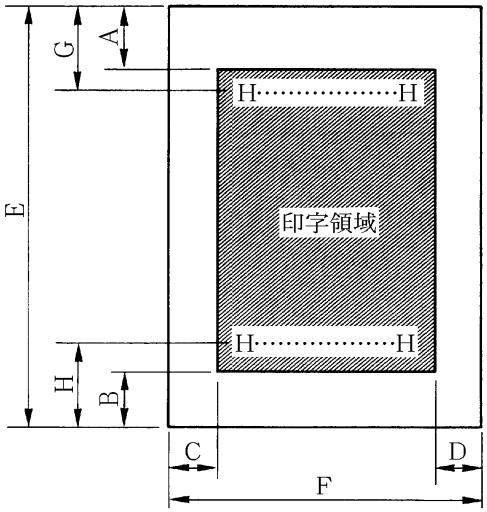
用紙の種類

用紙の種類・名称	特　　徴	
普通紙	上質紙	複写可能処理を施していない原紙。
	再生紙	古紙を利用したもの。
複写紙	裏カーボン紙	原紙の裏にカーボンを塗布して重ね合わせたもの。
	ケミカルカーボン紙（化学感圧紙）	原紙に特殊な化学薬品処理をして重ね合わせたもの。
	ワンタイムカーボン紙	複写可能処理を施してない用紙の間にカーボン紙を挟み込んであるもの。
はがき用紙	はがき用として作成された厚手の用紙。	
ラベル用紙	原紙の裏側にのりが塗布されており、はく離可能なシール状の用紙。	
封筒用紙	重ね合わせた用紙の一部が封筒状にのり付けされたもの。	
宅配伝票	おおむね6～8枚の複写紙を重ね合わせたもので、一部にはがき、ラベル紙等を重ね合わせたものがあります。	
OA和紙	OA用の和紙。	

手差しで使用する単票用紙

一般用紙，ＯＡ和紙

用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法(mm)
A	印字禁止領域	4.2
B	印字禁止領域	4.2
C	左端印字禁止範囲	5.08　*1
D	右端印字禁止範囲	5.08　*2
E	用紙長さ	70～420
F	用紙幅	55～420 (イージーセット使用時 100～420)　*3
G	頭出し位置	以下の値をメニュー設定で設定可能です。 0mm、2.1mm、4.2mm、6.4mm、8.5mm、10.6mm、12.7mm、14.8mm、16.9mm、19.1mm、21.2mm、23.3mm、25.4mm、27.5mm、 ただし、0～6.4mm は上端印字禁止
H	下端印字禁止範囲	6.35

注 1) 印字領域以外への印字は禁止します。

注 2) A, B 値は, ドットピッチが 0.14mm の値です。

*1 A3横の場合:イージーセット有効時 約 18～43mm ／ イージーセット無効時 約 31～43mm

*2 A3横の場合:イージーセット有効時 約 29～50mm ／ イージーセット無効時 約 32～45mm

*3 印字可能領域は最大 345mm(13.6 インチ)です。

用紙枚数と連量

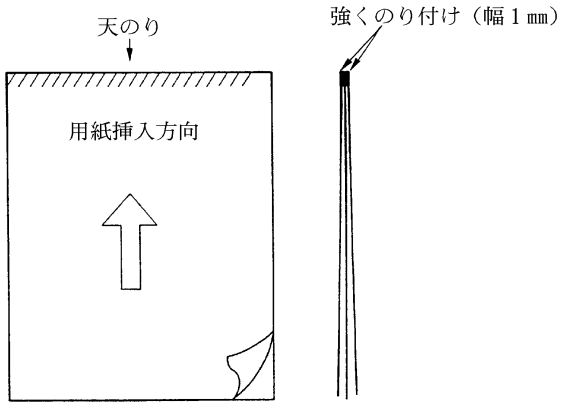
連量の単位：Kg

装置	用紙種類	複写枚数	枚数								
			１枚目	２枚目	３枚目	４枚目	５枚目	６枚目	７枚目	８枚目	９枚目
プリンター	普通紙	１枚	45～135								
	裏カーボン紙	２枚	34～55	34～70							
		３枚	34～45	34～45	34～70						
		４枚	34	34	34	34～70					
		５枚	34	34	34	34	34～55				
		６枚	34	34	34	34	34	34～55			
		７枚	34	34	34	34	34	34	34～55		
		８枚	34	34	34	34	34	34	34	34～55	
		９枚	34	34	34	34	34	34	34	34	34～55
	ケミカルカーボン紙	２枚	34～55	34～70							
		３枚	34～45	34～45	34～70						
		４枚	34	34	34	34～70					
		５枚	34	34	34	34	34～55				
		６枚	34	34	34	34	34	34～55			
		７枚	34	34	34	34	34	34	34～55		
		８枚	34	34	34	34	34	34	34	34～55	
		９枚	34	34	34	34	34	34	34	34	34～55

注 1）連量とは，四六版（788×1091 ㎜）の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値。
注 2）ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は，用紙メーカーによって多少異なる場合があるため表の数値に近いものを選んでください。
　　なお，裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。
注 3）中カーボン紙は，単票用紙の場合使用しないでください。

用紙のとじ方法

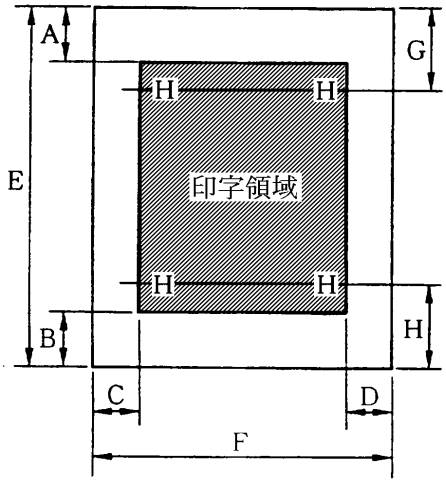
とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



注 1）のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類に注意してください。
注 2）複写紙をする場合で，各用紙間の用紙が異なる場合，一番うすい紙を中層，次に厚い紙を上層，一番厚い紙を最下層紙としてください。

はがき

用紙サイズおよび印字領域

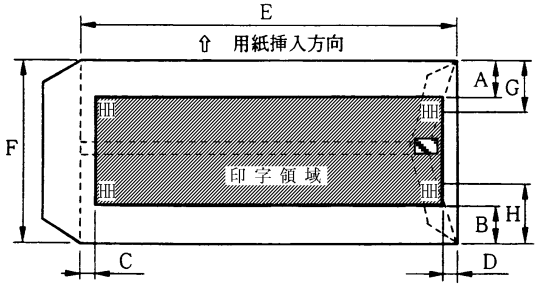


記号	項　目	寸法(mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100, 148, 200
F	用紙幅	100, 148, 200
G	上端打出し	5.9 以上
H	下端打出し	5.9 以上

注 ）往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

封筒

用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法（mm）
A	上端余白	7.38 以上
B	下端余白	7.38 以上
C	左端余白	12 以上
D	右端余白	12 以上
G	上端打出し	9 以上
H	下端打出し	9 以上

封筒サイズと坪量

封筒の種類	寸法		坪量（g/m²）		最大用紙厚（mm）
	E（mm）	F（mm）	クラフト紙	その他の紙	
長形 2 号	277	119	70,85	70 以上 85 以下	0.48
長形 3 号	235	120	50,60,70,85	55 以上 85 以下	0.48
長形 4 号	205	90			
長形 5 号	185	90			
角形 2 号	332	240	70,85	70 以上 85 以下	0.48
角形 3 号	277	216			
角形 4 号	267	197			
角形 5 号	240	190			
角形 6 号	229	162			
角形 7 号	205	142			
角形 8 号	197	119	50,60,70,85	55 以上 85 以下	0.48
洋形 1 号	176	120	50,60,70,85	70 以上 85 以下	0.46
洋形 2 号	162	114			
洋形 3 号	148	98			
洋形 4 号	235	105			
洋形 5 号	217	95			
洋形 6 号	190	98			
洋形 7 号	165	92			
US10	239	105	81 以下	81 以下	0.46
ジャーマンタイプ	220	111			

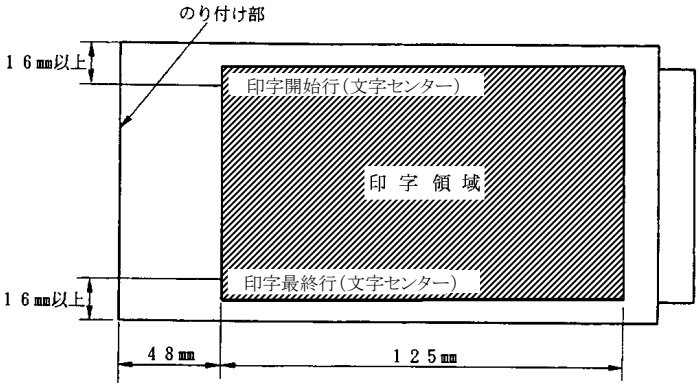
注 1）印字領域以外への印字を禁止します。
注 2）封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなりますので、十分確認の上使用してください。また、自動紙厚調整機構の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。
注 3）印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15㎜ 以下としてください。
注 4）のり付け部の上およびその周辺 5㎜ 以内への印字を禁止します。

注 5) フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12㎜ 以上の場合は、破線部の右側で印字してください。
注 6) フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。
注 7) 切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。
注 8) ▧ 斜線部への印字は、リボン汚れが発生し易いのでさけてください。
注 9) 封筒はイージーセット機能オフにして印字してください。イージーセット機能オンで印字すると、封筒のフラップ部(斜めの部分)を用紙端面と判断し、印字開始位置がズレることがあります。
注10) 封筒のフラップ部（斜めの部分）は第１ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。

宅配伝票

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル(ゆうパック)について規定します。他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。郵便小包ラベル(普通用 A、C)

印字領域

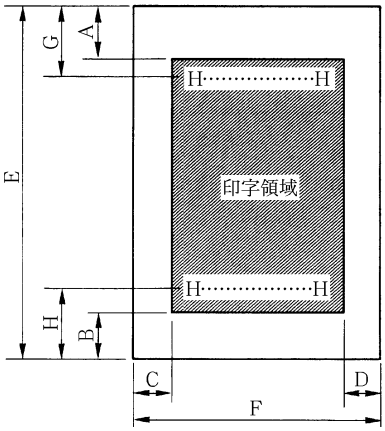


注 1) 印字領域以外の印字は禁止します。
注 2) 用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動紙厚調整機構の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。
注 3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15㎜ 以下としてください。
注 4) 用紙の最大厚さは、ゆうパック伝票（Max 0.6㎜）以下としてください。
注 5) 折れ曲がりのある用紙は、斜行、角折れ、および用紙づまりの原因になります。

オートシートフィーダーで使用する単票用紙

一般用紙，ＯＡ和紙

用紙サイズおよび印字領域



用紙幅	名称	寸法(mm)
A	印字禁止領域	4.2
B	印字禁止領域	4.2
C	左端印字禁止範囲	5.08　*1
D	右端印字禁止範囲	5.08　*2
E	用紙長さ	90～420
F	用紙幅	100～420　*3
G	頭出し位置	以下の値をメニュー設定で設定可能です。 0mm、2.1mm、4.2mm、6.4mm、8.5mm、10.6mm、12.7mm、 14.8mm、16.9mm、19.1mm、21.2mm、23.3mm、 25.4mm、27.5mm、 ただし、0～6.4mm は上端印字禁止
H	下端印字禁止範囲	6.35

注）印字領域以外の印字は禁止します。

*1　A3横の場合：　約 35～37mm

*2　A3横の場合：　約 37～39mm

*3　印字可能領域は最大 345mm（13.6 インチ）です。

用紙枚数と連量

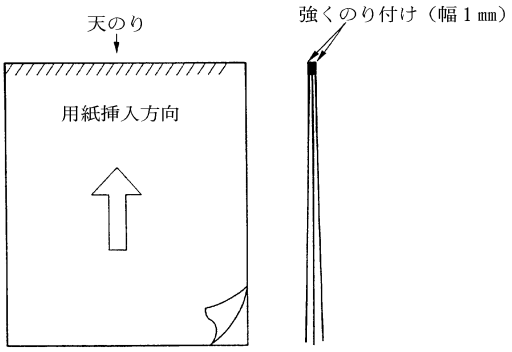
連量の単位:kg

装置	用紙種類	複写枚数	枚数				
			１枚目	２枚目	３枚目	４枚目	５枚目
オートシートフィーダー	普通紙	１枚	55～135				
	裏カーボン紙	２枚	34～55	34～70	―	―	―
		３枚	34～45	34～45	34～70	―	―
		４枚	34	34	34	34～70	
		５枚	34	34	34	34	34～55
	ケミカルカーボン紙	２枚	34～55	34～70	―	―	―
		３枚	34～45	34～45	34～70	―	―
		４枚	34	34	34	34～70	
		５枚	34	34	34	34	34～55

注 1）連量とは，四六版（788 ㎜×1091 ㎜）の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。
注 2）ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は,用紙メーカーによって多少異なる場合もありますが，その場合は表の数値に近いものを選んでください。
注 3）中カーボン紙は，単票用紙の場合使用しないでください。

用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



注 1）のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類を注意してください。

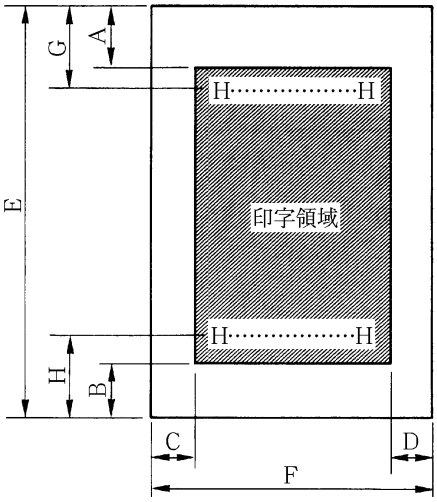
注 2）束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

ホッパー容量

（１）一般用紙(55kg、1 枚)　　約 120 枚
（２）5 枚(34kg)用紙　　約　25 枚
（３）通常はがき　　約　40 枚

はがき

用紙サイズおよび印字領域

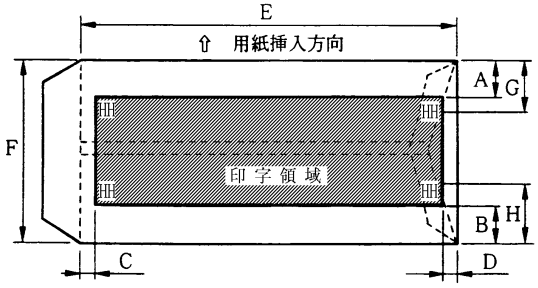


記号	項目	寸法(mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100,148,200
F	用紙幅	100,148,200
G	上端打出し	5.9 以上
H	下端打出し	5.9 以上

注 ）往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

封筒

用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法(mm)
A	上端余白	7.38 以上
B	下端余白	7.38 以上
C	左端余白	12 以上
D	右端余白	12 以上
G	上端打出し	9 以上
H	下端打出し	9 以上

封筒サイズと坪量

封筒の種類	寸法		坪量(g/m²)		最大用紙厚(mm)
	E(mm)	F(mm)	クラフト紙	その他の紙	
長形 3 号	235	120	50,60,70	55 以上 70 以下	0.40
長形 4 号	205	90			
長形 5 号	185	90			
角形 6 号	229	162	70	70 以下	0.40
角形 7 号	205	142			
角形 8 号	197	119	50,60,70	70 以下	0.40
洋形 3 号	148	98	50,60,70	70 以上 85 以下	0.46
洋形 4 号	235	105			
US10	239	105	81 以下	81 以下	0.46
ジャーマンタイプ	220	111			

注 1) 印字領域以外への印字を禁止します。

注 2) 封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなりますので、十分確認の上使用してください。また、自動紙厚調整機構の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。

注 3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

注 4) のり付け部の上およびその周辺 5mm 以内への印字を禁止します。

注 5) フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12mm 以上の場合は、破線部の右側で印字してください。

注 6) フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。

注 7) 切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。

注 8) 封筒はイージーセット機能オフにして印字してください。イージーセット機能オンで印字すると、封筒のフラップ部(斜めの部分)を用紙端面と判断し、印字開始位置がズレることがあります。

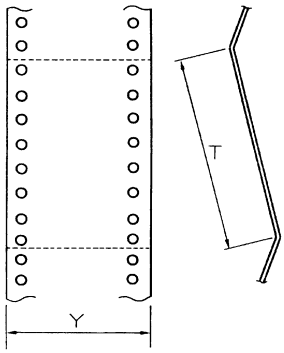
注 9) 封筒のフラップ部(斜めの部分)は第1ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。

連続帳票用紙

このプリンターで使用できる連続帳票用紙は、次のとおりです。

用紙の寸法

連続帳票用紙の寸法を下図に示します。



記号	寸法
Y （用紙幅）	101～406 （4～16 インチ）
T （折畳み長さ）	101～356 （4～14 インチ）

用紙枚数と連量

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ(連量)の組合わせは、下表のとおりです。下表以外の用紙の組み合わせでは、用紙送り精度の乱れなどがより発生しやすくなります。

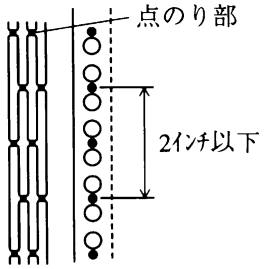
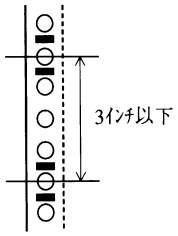
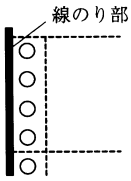
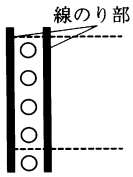
連量の単位:kg

用紙種類	複写枚数	枚数								
		１枚目	２枚目	３枚目	４枚目	５枚目	６枚目	７枚目	８枚目	９枚目
普通紙	１枚	45～135								
裏カーボン紙	２枚	34～55	34～70							
	３枚	34～45	34～45	34～70						
	４枚	34	34	34	34～70					
	５枚	34	34	34	34	34～55				
	６枚	34	34	34	34	34	34～55			
	７枚	34	34	34	34	34	34	34～55		
	８枚	34	34	34	34	34	34	34	34～55	
	９枚	34	34	34	34	34	34	34	34	34～55
ケミカルカーボン紙	２枚	34～55	34～70							
	３枚	34～45	34～45	34～70						
	４枚	34	34	34	34～70					
	５枚	34	34	34	34	34～55				
	６枚	34	34	34	34	34	34～55			
	７枚	34	34	34	34	34	34	34～55		
	８枚	34	34	34	34	34	34	34	34～55	
	９枚	34	34	34	34	34	34	34	34	34～55
ワンタイムカーボン紙	２枚	30～45	30～70							
	３枚	30～40	30～40	30～55						
	４枚	30～40	30～40	30～40	30～70					
	５枚	30～40	30～40	30～40	30～40	34～55				

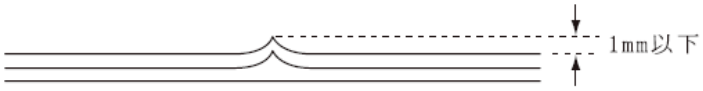
注 1）連量とは，四六版（788×1091 ㎜）の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値です。
注 2）ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は，用紙メーカーによって多少異なる場合があるため表の数値に近いものを選んでください。
なお，裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。
注 3）中カーボン紙は，間に挿入されるカーボン紙を用紙 1 枚に相当するものとして数え，複写枚数は 4 枚までとしてください。（後連帳は 3 枚まで）
注 4）用紙の種類および保管状況により，印字品質に差が出る場合があります。不具合が発生する用紙については，その度合いが容認できるものであるかどうかを判断の上使用してください。
注 5）全体の用紙厚さは，0.65 ㎜以下としてください。
注 6）とじられた用紙の大きさは，各層ともお互いに同一になるようにしてください。

用紙のとじかた

連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「点のりとじ」にしてください。のり付け方法にはいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりで、各層間で交互の位置にのり付けする方法をおすすめします。また、両端とも同じ方法でとじてください。

綴じ方法			適用する用紙枚数	備　考
点のりとじ			９枚まで	・本プリンターに最も適したとじ方です。 ・左の図は，帳票の片側のみ示していますが，実際には両側をのり付けしてください。
紙ホチキス			９枚まで	・用紙枚数が多くなるほど，用紙層ズレが出やすくなります。 ・左の図は，帳票の片側のみ示していますが，実際には両側を紙ホチキスでとじてください。
線のりとじ	一列	二列	９枚まで	・用紙のしなやかさが失われて固くなってしまうので，用紙づまりなどが出やすくなります。 ・左の図は，帳票の片側のみ示していますが，実際には両側をのり付けしてください。
				

注 1）完成した用紙の折り畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは，下図に示すように１㎜以下になるようにしてください。



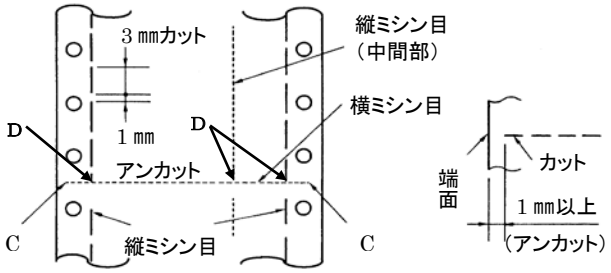
注 2）用紙づまりや印字ズレの原因になるので，金属ホチキスとじは使用しないでください。
注 3）帳票のスプロケット穴の層間でのズレは，0.4㎜以下のものを使用してください。

ミシン目の入れ方

ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。特に 1 枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると使用中にミシン目から破けることがあります。

ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

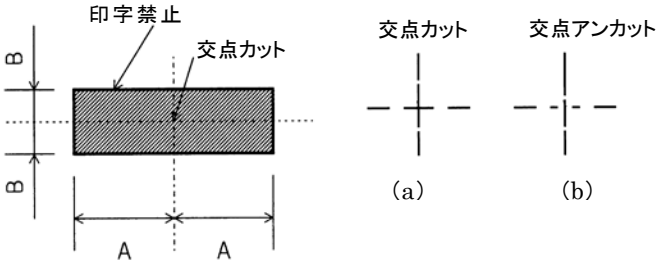
- 1 枚用紙のミシン目（縦、横ミシン目共）のカット（切る部分）およびアンカット（切らない部分）の比率は、約 3:1 にしてください。
- 横ミシン目の端面アンカット寸法（両端部 C）は、1mm 以上にしてください。
- 縦ミシン目と横ミシン目の交点（D）部は交点アンカット（b）の方法にしてください。交点カット（a）は、行わないでください。
- 複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。



注 1）縦ミシン目と横ミシン目の交点がカットされている（交点カット（a））とき、下図に示す斜線部には印字しないでください。
これを守らないと、用紙にキズがついたりプリンターの故障となることがあります。

注 2）縦ミシン目と横ミシン目の交点がカットされていない（交点アンカット（b））ときは、印字禁止領域の制限はありません。

注 3）印字を伴わない印字ヘッドの移動の際にも適用してください。



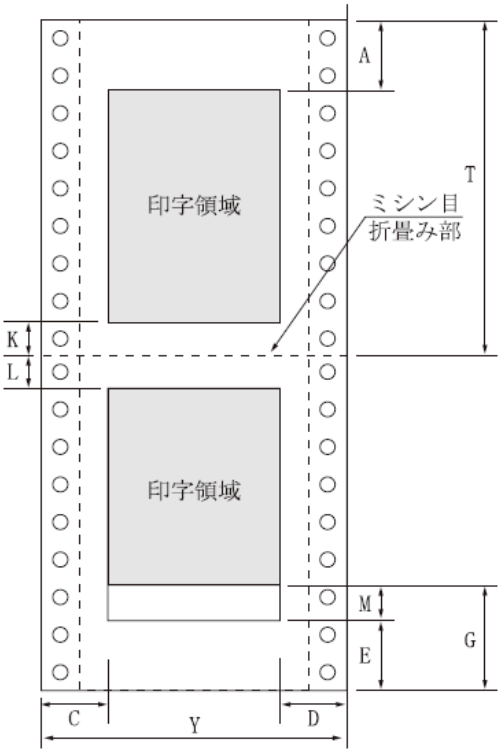
単位（㎜）

記号	A	B
寸法	3 以上	3 以上

一般用紙

用紙サイズおよび印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



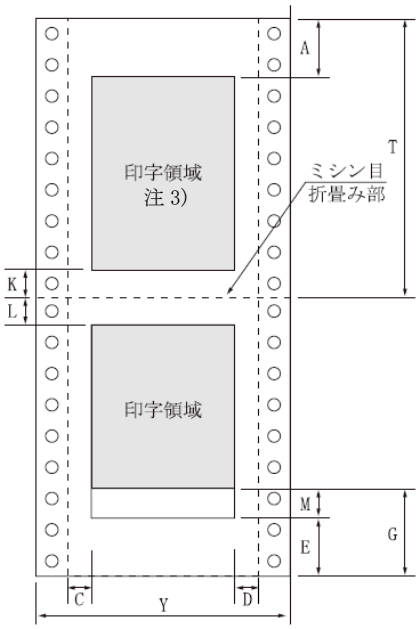
記号	項　目	寸法（mm）	
		前連帳	後連帳
A	上端余白	4.2 以上　注 1）	
C	横打ち出し	11.43 以上	
D	最終印字	注 2）	
E	下端余白	約 20	
G	PE 検出	4.2	
	注 3）	約 101	約 157
K	下端余白	4.2 以上	
L	上端余白	4.2 以上	
M	オーバーライド印字	注 3）	
T	用紙長さ	101.6 （4 インチ以上）	
Y	用紙幅	101.6 ～ 406.4 （4～16 インチ）	

注 1）Aの範囲では印字ヘッドの横移動はさせないでください。
（用紙のフクラミなどにより，リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。）
注 2）D値については用紙幅と印字桁数によりますが、最小 11.43mm とします。
注 3）Mの範囲は，トラクターから用紙が外れた領域です。多少改行が乱れることがあります。
トラクターから外れた後の改行がうまく行かない場合や、逆改行を行う場合は、トラクターの位置で PE を検知するように設定変更してください。メニュー設定の『PE ｷｮﾘ ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ』、『PE ｷｮﾘ ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ』でそれぞれ変更することができます。初期設定は 4.2mm です。

はがき用紙

このプリンターで連続帳票のはがき用紙を使用できます。はがき用紙を使用する場合は、前方(操作パネル側)から用紙をセットします。

用紙サイズおよび印字領域



記号	項　目	寸法 (mm)	
		前連帳	後連帳
A	上端余白	8.46　注 1)	
C	横打ち出し	5.08	
D	最終印字	5.08	
E	下端余白	8.46	
G	PE 検出	4.2	
		約 101	約 157
K	下端余白	8.46	
L	上端余白	8.46	
M	オーバーライド印字	注 2)	
T	用紙長さ	228.6 ～ 330.2 (9～13 インチ)	
Y	用紙幅	203.2 ～ 355.6 (8～14 インチ)	

注 1)　A領域では印字ユニットの横移動はさせないでください。
(用紙のふくらみなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。)

注 2)　Mの範囲は，トラクターから用紙が外れた領域です。多少改行が乱れることがあります。
トラクターから外れた後の改行がうまく行かない場合や、逆改行を行う場合は、トラクターの位置で PE を検知するように設定変更してください。メニュー設定の『PE ｷｮﾘ ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ』、『PE ｷｮﾘ ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ』でそれぞれ変更することができます。初期設定は 4.2mm です。

注 3)　印字領域内にミシン目がある場合、印字はそのミシン目から 5.08mm 以上離してください。
ただし、折畳み部以外のミシン目は、カットおよびアンカット比を 2:1 にしてください。

用紙連量

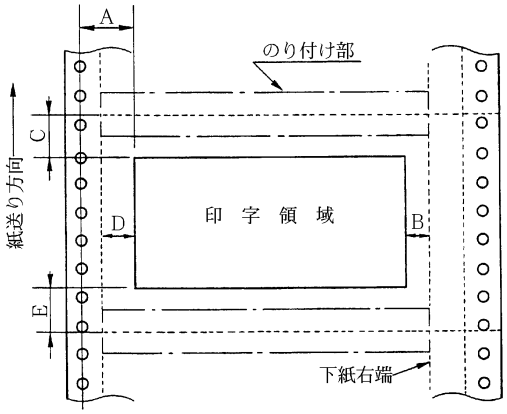
135kg 以下とし、枚数は 1 枚のみとします。

ミシン目の入れ方

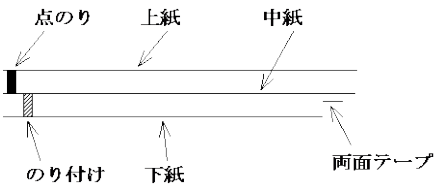
一般用紙と同様です。

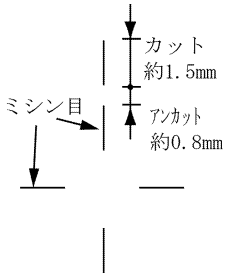
封筒用紙

用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法(mm)
A	19 以上(3/4 インチ)
B	1 以上(1/25 インチ)
C	8.46 以上(1/3 インチ)注1)
D	5.08(1/5 インチ)
E	21.7(5/6 インチ)注1)



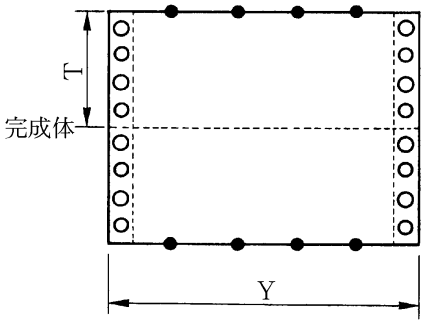


注 1) 改行精度の保証範囲は、25.4mm 以上です。
注 2) ミシン目の寸法は、右上図のとおりとしてください。
　　(ミシン目の強い場合は、破れやすくなります。)
注 3) のり付けの幅は、4.23mm 以下とします。
注 4) のり付けによる厚み増加は、0.1mm 以下とします。
注 5) 穴ズレは、0.3mm 以下とします。

紙質構成および連量

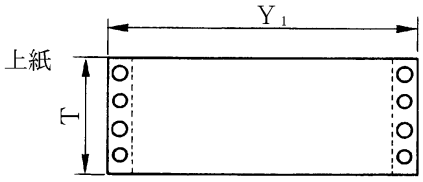
	上紙	中紙	下紙
紙質	裏カーボン紙	ノンカーボン紙	ノンカーボン紙
連量 (kg)	33.5	70	70

形状および構造



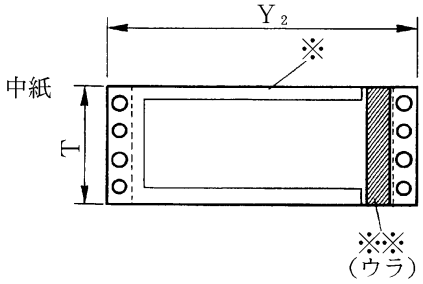
ミシン目

ミシン目＋折り目



(a)大きさ

記号	寸法(mm)
T	127(5 インチ)
Y	254(10 インチ)
Y1	254(10 インチ)
Y2	254(10 インチ)
Y3	228.6(9 インチ)

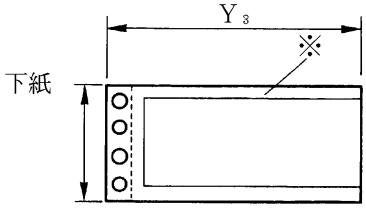


(b)とじ方法

とじ方法	上紙／下紙	中紙／下紙
種類	点のり	棒のり
位置	両端	左端／上下端 4.23mm 幅 (※印)

両面テープ使用(※※印)

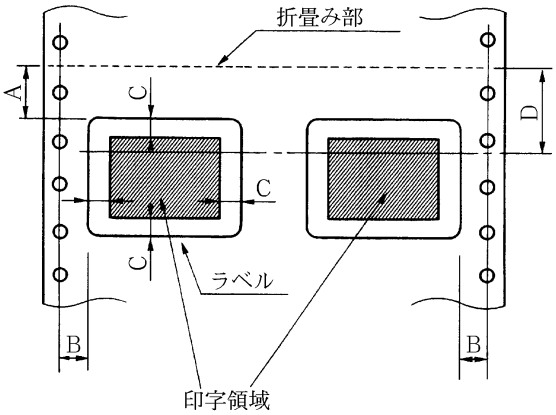
銘柄		アスコットテープ
幅 (mm)	はくり紙	12
	肉のり	10



ラベル用紙

ラベル用紙は、使用する環境や用紙メーカーにより、特性が異なりますので、十分確認の上、問題ないことをご確認してから使用してください。

用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法(mm)
A	2.54 以上 （1/10 インチ）
B	6.35 以上 （1/4 インチ）
C	2.54 以上 （1/10 インチ）
D	25.4 （1 インチ） 注 1）

用紙サイズ（台紙）は、一般連続帳票用紙と同じです。

注 1）範囲内での印字領域では、多少改行が乱れる場合があります。
（改行量が 1/6 インチ以上の場合は、となり合う印字行の文字同士が重なり合うことは有りません。）

用紙厚さ

・用紙厚さは、ラベル＋台紙が 0.2mm 以下となるようにしてください。

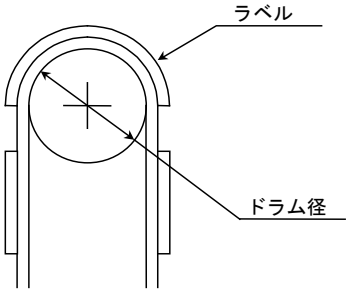
・台紙の厚さは、0.1mm 以下としてください。

・ラベルの厚さは、0.1mm 以下としてください。

ラベルの貼付け強度

・次の条件で、ラベルが台紙からはがれないものを使用してください。

ラベルのめくれのあるもの、折れ曲がりのあるものは使用しないでください。



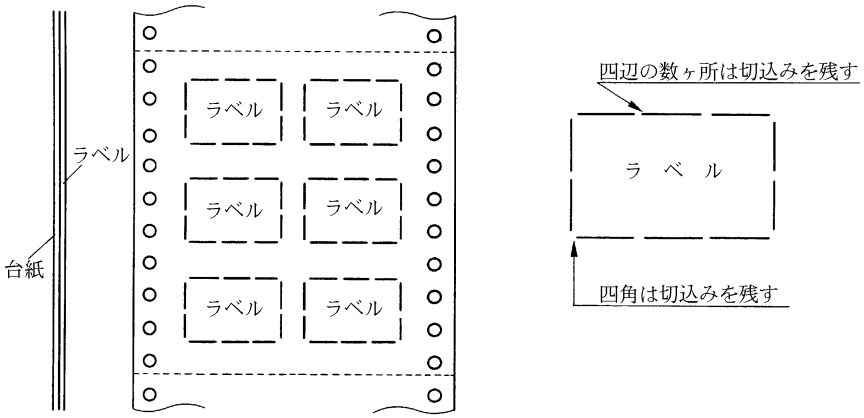
項目	条件
巻付ドラム経	φ27mm
巻付角度	180°
巻付時間	24 時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%RH

用紙の形態

・ラベルのはがれによる用紙送行不能、または印字ヘッドの損傷など、重大なトラブルを防止するために下記用紙形態をおすすめいたします。

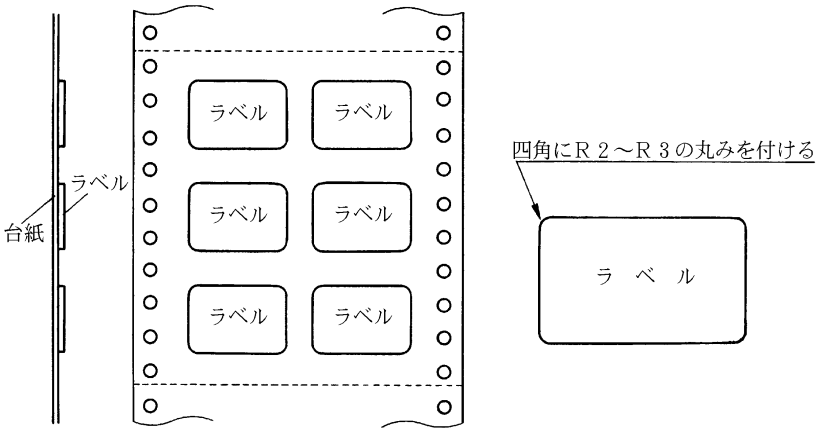
（１）カストリは行わず、ラベルの四角および他の四辺に切込みを残した用紙。

※カストリとは、台紙全体に張られた粘着シールをラベルの部分だけを残してはぎ取ることを言います。



※この形態は、ほぼ完全にラベルのはがれを防止することができ、最もおすすめするものです。できる限りこの形態を使用するようにしてください。

（２）カストリを行う場合、必ずラベルの四角に丸みを付けてください。

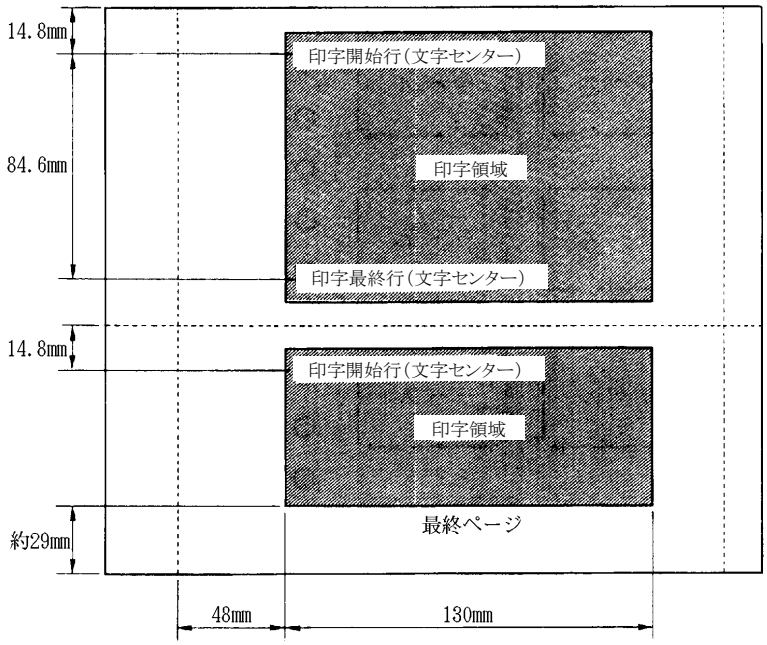


宅配伝票

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック）について規定します。
他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。

印字領域

郵便小包ラベル



注 1）印字領域内の用紙段差は、最大 0.15mm 以下としてください。
注 2）用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動紙厚調整機構の故障の原因となりますので、手動モードに切り替えて使用してください。
注 3）印字領域外への印字は禁止します。
注 4）折れ曲がりのある用紙は、斜行、角折れ、および用紙づまりの原因になります。

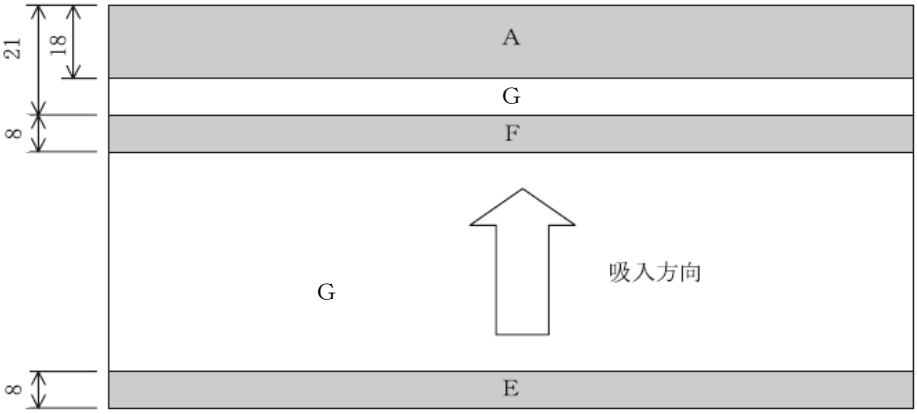
とじ穴の開けかた

印字領域内にとじ穴を開けないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部と印字が重ならないようにしてください。
また、用紙走行中にとじ穴がひっかかることがありますので、その際は用紙セット位置をずらしてください。

プレプリント用紙を使用するとき

あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙（プレプリント用紙）を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。
プレプリント禁止領域内の反射率は、60％以上としてください。

イージーセット機能オン時の手差し単票のプレプリント禁止領域

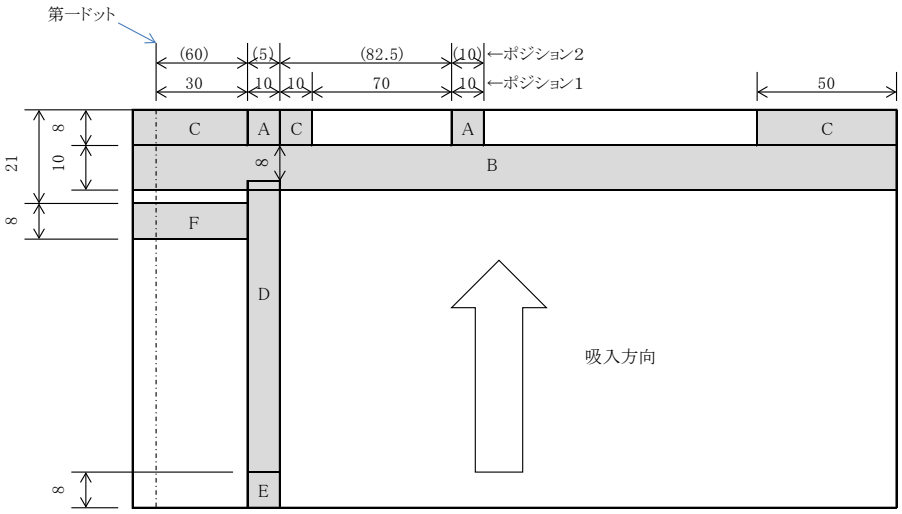


（単位：mm）

（１）A、E、F部は光反射率 60％以下の色(例えば黒)は使用しないでください。

（２）G部に反射率 60％以下の色(例えば黒)を使用する場合は、「プレプリント禁止領域に印刷するとき」に示す幅の条件に従ってください。

イージーセット機能オフ時の手差し単票、オートシートフィーダーで使用する単票、連帳の場合のプレプリント禁止領域



（単位：mm）

（１） A、B、C、E、F部は光反射率 60％以下の色(例えば黒)は使用しないでください。

（２） D部に反射率 60％以下の色(例えば黒)を使用する場合は、「プレプリント禁止領域に印刷するとき」に示す幅の条件に従ってください。

（３） B、C、部は「ｿﾉﾀﾉｾｯﾃｲ」の「ｼｬｺｳｹﾝｼｭﾂ」と「ﾖｳｼｶﾞｲｲﾝｼﾞﾎﾞｳｼ」を「ﾑｺｳ」にすると、プレプリントの制約はなくなります。

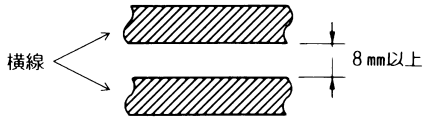
（４） A、C、D、E 部は「ﾊｰﾄﾞｳｪｱｾｯﾃｲ」の「F ﾊﾟｽｷｬﾘｱｲﾁ」または「R ﾊﾟｽｷｬﾘｱｲﾁ」の設定を変更することで、上図の「ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ 1」「ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ 2」に変更できます。

プレプリント禁止領域に印刷するとき

やむを得ずＤ部内に印刷するときは、次のようにしてください。

（１）斜線内に印刷する横線の太さは、下図に示すように 8mm 以下にしてください。

（２）（１）の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを 8mm 以上あけてください。



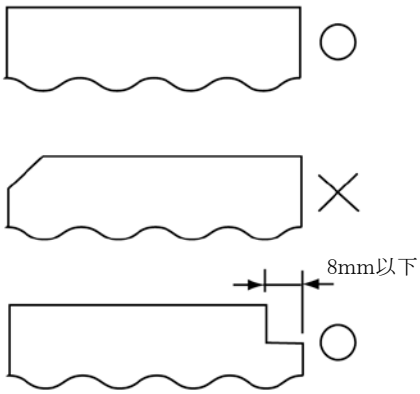
注）線の太さが 0.5㎜ 以下のときは、すきまが 4㎜ 以上でも可能です。

（３）斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、斜線内に１本までとしてください。

やむを得ずＡ、Ｂ、Ｃ、Ｅ部内に印刷するときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、すきまを 4mm 以上あけてください。

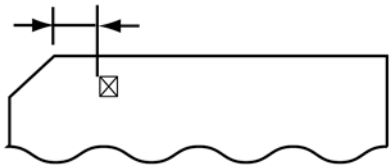
用紙の形状について

イージーセット有効時の用紙上端について



このような用紙はセット位置によって打ち出し位置がズレることがありますので、イージーセット機能オフで使用してください。
用紙右上部の切り欠きは 8mm 以下としてください。

イージーセット無効時の用紙上端について



左端部の面取は第 1 ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。

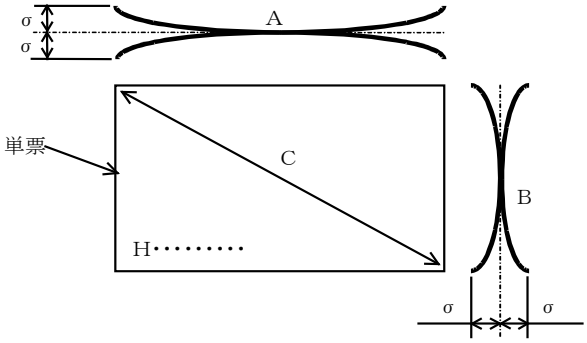
用紙上端の切り欠きや面取が 8mm を越える場合は、機能設定で用紙吸入時の斜行検出を無効にして、使用してください。

取り扱い上のご注意

単票取り扱い上の注意

（１）用紙のセットは装置に取り付けた銘板や操作マニュアルに従って確実にセットしてください。特に，イージーセット機能使用時は，自動的に用紙吸入，傾き補正，用紙端面の位置検知を行いますので用紙端面の折れ，端面部への濃色印刷がある場合には正常動作しない場合がありますのでご注意ください。

（２）単票のそりは、用紙の特性の他に取り扱い方の不備によって発生することがあります。単票のそりについては、下記条件を満たすものを使用してください。



記号	方向	そり量(σ)
A	幅方向	4mm 以下
B	長さ方向	4mm 以下
C	対角線方向	4mm 以下

ただし、上記の値は、単票全体にわたってのそりであり、部分的な曲がりやしわも送り不良の原因となるので、取り扱い時の注意が必要です。また、1枚1枚のそりが少ない場合でも、ある程度単票を積み重ねると全体にそっていることがあります。この場合のそりは、単票を50mmの厚さに重ねた状態で測定し、上記の規定を満たすことが必要です。

（３）用紙が大きくそっているものは、修正してから使用してください。

（４）用紙を保管する場合は水平に置き、そりが生じない様に用紙サイズよりやや大きめの平らな重りを載せて均一な圧力をかけておく様にしてください。また、単票は、1,000 枚以上積み重ねないようにしてください。

（５）用紙は風通しの良い場所に置き、直射日光や暖房器具からの輻射熱が当たらない様にしてください。

オートシートフィーダー取り扱い上の注意

（１）次の用紙は，基本的に使用しないでください。使用時には事前テストを十分におこないバックアップ機の準備を行った上で使用してください。

・ミシン目、とじ穴のある用紙

・コーナーにRのついている用紙

・折れ曲がりのある用紙

・厚紙

・一度使用した裏紙 など

（２）ホッパーへの用紙セットは、装置に取り付けた銘板や操作マニュアルに従って確実にセットしてください。

（３）ホッパーには必ず同一寸法、同一紙質の用紙をセットしてください。異なった寸法や紙質、また、縦横を混在して使用しないでください。

（ホッパー内の用紙は極力同一メーカーの同一ロットとし、スキ方向を一致させてください。）

（４）用紙が規定より大きくそっているものは、修正してください。

（５）外周切断面は凹凸がなく、直線であること。

ケバ等がある用紙は使用できません。

（６）バラバラになった用紙を集めたもの、複写用紙の裏紙などは使用しないでください。

（７）再生紙は特に痛みやすいので、取り揃える枚数はせいぜい一度に 100 枚位、多部紙は 15 部位にしてください。

（８）ホッパーへの用紙セットは、必ず捌いてから行ってください。

（９）多部紙を使用する場合は、ダミー用紙として常に5部位ホッパーへセットしておき、その上に印字する用紙をセットしてください。

(10) ホッパーに用紙を補給するときは、残りの用紙を一度取り出し、補給する用紙を下側にして再セットしてください。

(11) ホッパーの用紙残量が少ないと、用紙の送りが不安定になることがあります。

最終部の用紙は使用しない様にし、用紙残量が 10 枚程度になったら補充してください。

(12) 印字後用紙がカールしているときは、スタック部の印字済み用紙が 10 部程度になったら取り除いてください。

(13) 用紙はローラーで搬送しているためローラーの跡がつくことがあります。

特殊用紙について

（１）紙厚の変化する用紙（段差等のある用紙）は印字ヘッド損傷の原因となりますので使用しないでください。

（２）裏カーボン紙の複写は、低温時において、薄くなることがあります。

（３）ラベル紙を使用する場合、ラベル紙のはがれを防止するために、プラテンに巻き付けたまま放置しないでください。また、ラベル紙をプリンターにセットした状態で単票への印字（セット）は行わないでください。

（４）この章に記述した仕様に合わない特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。

（５）再生紙の種類によってはリボンカセットの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止して紙質の良いものに変更してください。

（６）和紙(OA和紙)は、用紙の吸湿による剛性低下、紙粉による媒体検出への影響、改行精度の低下などの問題がありますので、十分ご確認のうえご使用ください。

用紙の保管および取り扱いについて

用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じないように注意してください。

・用紙は、つぎの場所に保管しないでください。

高温、多湿の場所

直射日光の当たる場所

火気のある場所

・用紙をプリンター内部にセットしたまま、長時間放置しないでください。

再生紙の利用について

再生紙の仕様

項　目	仕　様
用紙寸法 （用紙サイズ）	連続紙：用紙幅 254mm（10 インチ）×用紙長さ 279mm（11 インチ） 単　票：A4サイズ（210mm×297mm） A3サイズ（297mm×420mm） B4サイズ（257mm×364mm）
連　量	55kg 相当紙
用紙の重ね合わせ枚数 （用紙部数）	1部紙（オリジナルのみ）とする。
ミシン目 （中間ミシン目）	中間ミシン目（横ミシン目、縦ミシン目）は 使用しないこと。

再生紙の特徴

再生紙は、製紙会社によりかなり品質のバラツキがあります。下表に示すように、再生紙の特性上、不具合を発生させやすいため、ご使用にあたっては本書記載の上質紙での規定に加え、運用テストを充分に行って、業務に支障のない運用形態で使用してください。

特徴（上質紙との差）	不具合内容
・白色度が低い ・紙粉が多い ・温度の影響を受けやすい ・引っ張り強度、剛度が弱い ・紙厚が厚くなる ・表面強度が低い	・用紙強度、剛度が弱いため、単票紙でのカールや先端折れなどからなる改行精度への影響や用紙詰まりの発生。 ・吸湿しやすいため用紙カール量、しわ、折れが増大し、また、にじみや汚れ重送、給紙ミスや用紙詰まりの発生。 ・紙粉、抜きカスなどによる印刷品質への影響、給紙ミスや各種センサ系の誤検出。 ・用紙強度、剛度が弱いため、スタック性、折りたたみ性が劣る。

また、再生紙の取り扱いにおいては、次の点もご留意ください。

再生紙の利用環境

常温、常湿の環境でご使用ください。

再生紙の取り扱い

・現状では、長期保存性に劣るため、保存文書等へのご使用は避けてください。
・変色しやすいため、できるだけ直射日光は避けてください。
・紙厚が若干厚いため、自動給紙機構への用紙セット枚数は少なくなります。
・紙粉が多いため各機種の取扱説明書に記載されている清掃、点検を確実に実施してください。
・用紙を装置に装填したままで、長期間放置しないで下さい。印刷しない場合は用紙を取り外し、ポリエチレンシートに包んで箱に入れて保管してください。

再生紙の購入・保管

・再生紙は、原料として使用されている古紙によって品質が大きく変化します。
このため、再生紙を大量に購入される場合は、事前に実機によるテスト（運用に支障がないことの確認）を実施されることをお勧めします。
・再生紙は空調された室内に保管し、包装を開封した用紙は速やかに使用してください。
また、残った用紙はポリエチレンシートに包んで箱に入れて保管してください。
なお、空調がない場合は、使用環境で24時間以上馴染ませてからご使用ください。
・用紙は、つぎの場所に保管しないでください。
高温、多湿の場所
直射日光の当たる場所
火気のある場所

紙質

再生紙を使用する場合、用紙の吸湿による剛性低下、紙粉による媒体検出への影響、改行精度の低下などの問題点がありますので、十分確認の上使用してください。

使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、紙づまり、折れ、および印字ずれの原因となります。最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性もあります。

・折り目、しわのあるもの、湾曲したもの
・極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
・小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
・切り抜き部分や窓のある紙
・ピン、クリップ、ホチキスの針など金属の付いている紙
・のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙
・浮き彫りのある紙
・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
・複写紙において、オリジナルと複写紙で極端に大きさの異なる紙、または部分的に極端に用紙厚が異なる紙
・端または角が破れていたり、折れている紙
・表面が光沢処理されている紙（注 1）
・一度印字した用紙

注1）表面がコーティングされ、絵柄などが印刷されている用紙を使用すると、用紙にインクが充分浸透しないため、印刷面が汚れるなどの給紙不良が起こる場合があります。

制限事項

・紙質は、上質紙をご使用ください。
とじ穴つき用紙、コーナーカット帳票用紙、ミシン目付き単票用紙、色紙などは、保証外のため使用しないでください。使用して問題が発生した場合、性能は保証できません。
やむをえず使用する場合は、本章の「保証外の印字」をご参照ください。

・単票使用時、プラテンを通った用紙が再びプラテンに巻き込まれないよう、用紙の走行状態にご注意ください。

・用紙のない部分やプラテンに直接印字しないでください。印字ヘッドピンを傷つけることがあります。

・用紙をプラテンに巻き付けた状態で、長時間放置しないでください。印字された用紙が再びプリンターに巻き込まれることがあります。

保証外の印字

次の印字は、原則的に禁止です。やむをえず使用する場合は、次のようにしてください。
また、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してから、印字を行ってください。
ただし、印字性能は保証できませんのであらかじめご了承ください。

目　的	操　　作　　法
用紙の途中から 印字するには	「オンライン」＋「高複写／改行」スイッチで微小改行、「オンライン」＋「高速／改頁」スイッチで微小逆改行を行います。 また、メニュー設定で、印字開始位置を調整します。
とじ穴のある用紙に 印字するには	次の点をチェックし、十分テストをしてからお使いください。 とじ穴が用紙検出スイッチなどにかかり、用紙終了やエラーを検出することがあります。 ・とじ穴の周囲 6.35 ㎜以内には印字しないようにする ・とじ穴のパンチくずは取り除く
コーナーカットのある 連続用紙に印字するには	次の点をチェックし、十分テストをしてからお使いください。 コーナーカットが用紙検出スイッチなどにかかり、用紙終了やエラーを検出することがあります。 ・コーナーカット端から 6.35 ㎜以内の周辺部には印字しない ・コーナーカット部のパンチくずは取り除く ・用紙のはがれを防止するために、コーナーカット部の周囲には、縦／横ミシン目を入れない
ミシン目のある単票に 印字するには	次の点をチェックし、十分テストをしてからお使いください。 ・ミシン目の仕様は、「第5章　使用できる用紙について」を参照 ・横ミシン目の上下 5.08 ㎜に印字しない ・縦ミシン目の左右 5.08 ㎜に印字しない
一度印字した用紙に 印字するには	次の点をチェックし、十分テストをしてからお使いください。 ・用紙の連量は 55 kgとする ・連続帳票のサイズは、幅 381 ㎜、長さ 279.4 ㎜を基本とする ・単票のサイズは、A4、A3、B4とする ・用紙がカールしていないこと

帳票設計時のご注意

帳票設計時には、用紙の送り公差および印刷・裁断・温湿度・紙質による伸縮等を考慮する必要があります。

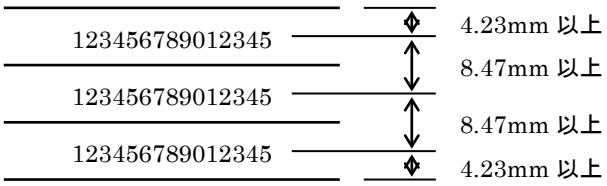
罫線の印刷、プレプリント印刷等を行う際は、以下の項目を必ず守ってください。

以下の項目を守らないと用紙セット公差（用紙セット時のバラツキ）や紙送り公差（プリンターのバラツキ）により、罫線に印字が重なったり、はみでたりする場合があります。

罫線の入れ方

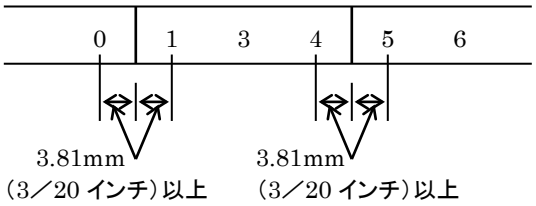
（１）横罫線の入れ方

横罫線を入れるときには、印字文字の行間隔を 8.47 ㎜（1／3 インチ）以上とし、文字は横罫線の中心としてください。



（２）縦罫線の入れ方

縦罫線を入れるときには、前後の文字中心より 3．81 ㎜（3／20 インチ）以上のスペースをとってください。



（３）罫線の色

罫線は誤読を防止するため黒以外の淡い色としてください。

（４）重ね合わせの場合

最上層と最下層では、5 部紙で約 1．5㎜ 程度の上下ズレを生じることがあります。これを考慮して下層の用紙は横罫線の印刷を避けるか、1 行おきの印字形式にするなど余裕をもったフォーマットとしてください。

用紙吸入位置の公差および、用紙送り公差(斜行)について

用紙吸入位置の公差、用紙送り公差(斜行)は使用する用紙の種類、綴じ方などの加工方法、プリンターの用紙ルート、給紙方法などにより異なります。

用紙送り精度を重視する印字を行う場合は、余裕をもった帳票設計をしてください。

印字品質については、「付録 印字品質」を参照ください。

第 6 章

保守と点検

この章では、リボンカセットの交換、用紙づまりやプリンターがうまく動かないときの処置、テスト印字のしかた、清掃のしかた、輸送のしかた、およびアフターサービスについて説明します。

リボンカセットの交換 6-2
リボンカセットの種類 6-2
リボンカセットの交換方法 6-3
サブカセットの交換方法 6-5
用紙づまりのとき 6-6
単票用紙がつまったとき 6-6
連続用紙がつまったとき 6-9
プリンターがうまく動かないとき 6-12
エラーメッセージが表示されている 6-12
こんなときには 6-15
保守機能 6-18
メニュー設定一覧印刷 6-18
テスト印字 6-19
ブザー音量設定 6-20
水平印字補正 6-21
HEXダンプ（16進ダンプ）印字をする 6-23
清掃のしかた 6-24
プリンターを輸送するとき 6-25
アフターサービス 6-26

リボンカセットの交換

リボンカセットの種類

このプリンターの純正リボンカセットは、下表のとおりです。

商品名	サプライ番号	備　考
リボンカセット SDM-13（黒）	0327310	黒色インクリボンが入った リボンカセットです。
サブカセット SDM-13（黒）	0327320	つめかえ用インクリボンです。

⚠警告

一般的禁止

インクリボンをお子さまが口に入れたりなめたりしないようにしてください。
健康を損なう原因となることがあります。

お願い

・リボンカセットは、純正品の使用をお奨めします
純正品は製品とともに開発し、製品の性能および品質を発揮する最適な仕様となっております。
・リボンがたるんだ状態で使用しないでください。
リボンがたるんだまま印字を開始すると、リボンがからまったり、リボンの巻き取りがロックすることがあります。
・使用済みのリボンカセットは、不燃物として処理してください。

リボンカセットの交換方法

リボンカセットの交換は、次の手順で行います。

1　印字ヘッドをリボン交換位置に移動する

トップカバーを閉じて、電源を投入すると、印字ヘッドがリボン交換位置に移動します。

2　電源を切る

電源スイッチが（○）側に倒れた状態にします。

⚠注意

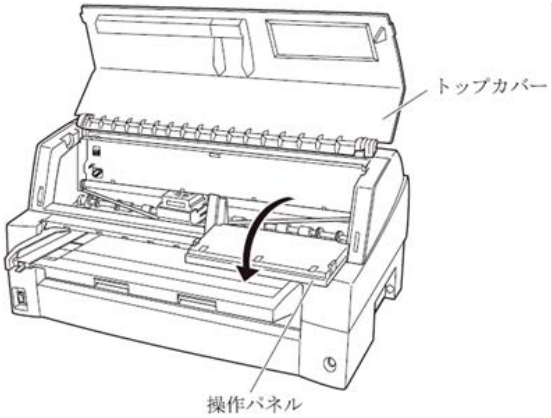
リボンカセットの交換は、必ず電源を切った状態で交換してください。
印字ヘッド部が動き出し、けがのおそれがあります。

3　トップカバーを開ける

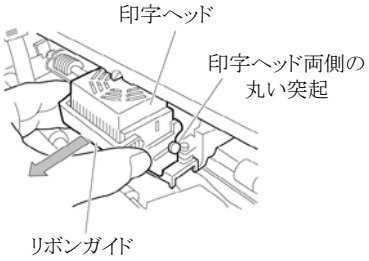
⚠注意

印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンター内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、リボンを交換してください。
やけどの原因となることがあります。

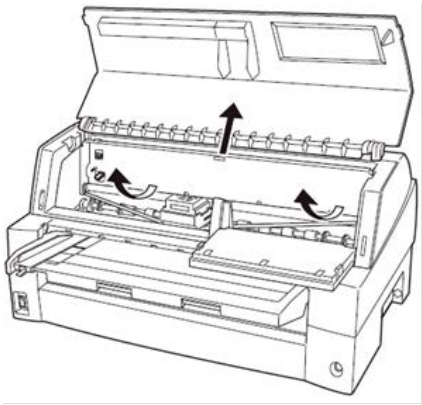
4　操作パネルを手前に倒す



5　リボンガイドを外す



6　リボンカセットを取り外す



7　新しいリボンカセットを取り付ける

新しいリボンカセットの取り付けは、「第1章 リボンカセットの取り付け」を参照してください。

サブカセットの交換方法

サブカセットの交換方法は、サブカセットに添付してある交換要領書を参照してください。
サブカセットは 1 つのリボンカセットに対して 5 回まで交換可能です。
サブカセットを 5 回交換したら、リボンカセットを交換してください。

用紙づまりのとき

単票用紙がつまったとき

次の1～3の基本操作を行い、用紙づまりの状態にあわせて、それぞれの操作を行ってください。

1　オフライン状態にする

オンライン スイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2　プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

⚠注意

一般的禁止

用紙の除去は、必ず電源を切った状態で行ってください。
印字ヘッド部が動き出し、けがのおそれがあります。

3　トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

トップカバーを開けるときは、後方に押しすぎないでください。

⚠注意

高温注意

印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンター内部が高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。
やけどの原因となることがあります。

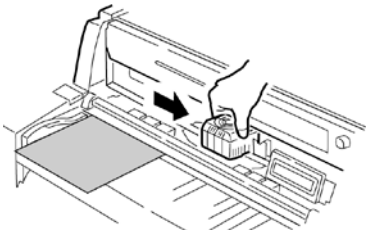
お願い

一度用紙づまりを起こした用紙の再使用はしないでください。

・単票用紙がプリンター内部でつまったとき

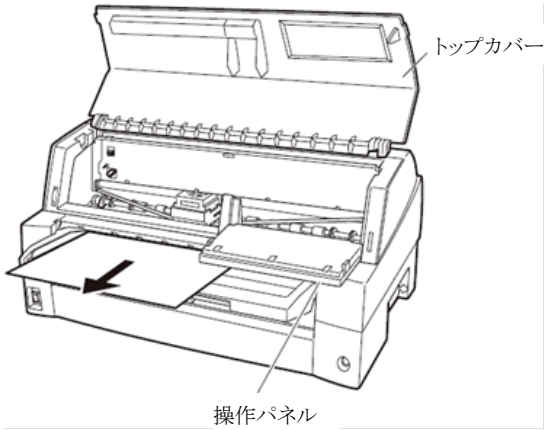
1　印字ヘッドを用紙のないところへ移動させる

必要に応じて、操作パネルを手前に倒します。



2　用紙を引き出す

プリンターの前、または後ろから出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。



用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます。
（取り除きにくい場合は、ピンセットなどをご使用ください。）

3　操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

トップカバーを閉めるときは、両側のロックが鳴るまで確実に閉めてください。

・単票用紙がリアスタッカーでつまったとき

1 スタッカーユニットを取り外す

「第1章 リアスタッカーの取り付け」を参照し、スタッカーユニットを取り外します。

2 用紙を取り除く

用紙つまりの状態にあわせて、つまった用紙を取り除きます。

・単票用紙がオートシートフィーダーでつまったとき

3 オートシートフィーダーを取り外す

「第1章 オプションの取り付け」を参照し、オートシートフィーダーを取り外します。

4 つまった用紙を取り除く

取り外したオートシートフィーダーから、つまった用紙を紙の送られる方向にゆっくり引き出します。

連続用紙がつまったとき

次の1～2の基本操作を行い、用紙づまりの状態にあわせて、それぞれの操作を行ってください。

1　オフライン状態にする

オンライン スイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2　プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

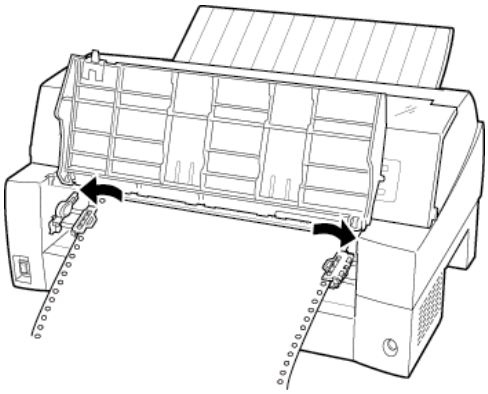
⚠注意

用紙の除去は、必ず電源を切った状態で行ってください。
印字ヘッド部が動き出し、けがのおそれがあります。

前トラクターからの給紙でつまったとき

1 印字前の連続用紙を切り離す

2 トラクターユニットから連続用紙を外す



3 つまった用紙を取り除く

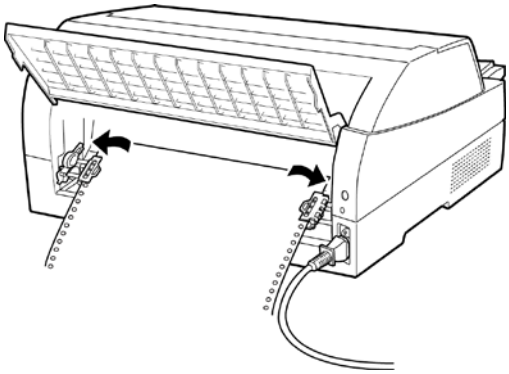
プリンターの前、または後ろから出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます。
（取り除きにくい場合は、ピンセットなどをご使用ください。）

後トラクターからの給紙でつまったとき

1 印字前の連続用紙を切り離す

2 トラクターユニットから連続用紙を外す



3 つまった用紙を取り除く

プリンターの前、または後ろから出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます。
（取り除きにくい場合は、ピンセットなどをご使用ください。）

プリンターがうまく動かないとき

プリンターが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。処置を行っても機能が回復しない場合は、お買い求めの販売店、保守会社、または当社プリンターお問い合わせ窓口（「第 6 章 アフターサービス」参照）にご相談ください。

エラーメッセージが表示されている

プリンターに異常が発生すると操作パネルのランプが点灯、点滅し表示パネルにエラーメッセージが表示されます。ランプの状態、表示パネルのメッセージ、プリンターの状態、および対処方法を次の表に示します。

ランプ	メッセージ	原因	対処方法
[ﾒｯｾｰｼﾞ] 点灯	ﾖｳｼ ﾅｼ ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ ﾖｳｼｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	前トラクターに用紙がない	前トラクターに用紙をセットしてください。
	ﾖｳｼ ﾅｼ ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ ﾖｳｼｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	後トラクターに用紙がない	後トラクターに用紙をセットしてください。
	ﾖｳｼ ﾅｼ ﾃｻｼ ﾖｳｼｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	単票手差しテーブルに用紙がない	手差しテーブルに用紙をセットしてください。
	ﾖｳｼ ﾅｼ ﾏｴ ASF ﾖｳｼｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	前 ASF に用紙がない	前 ASF に用紙をセットしてください。
	ﾖｳｼ ﾅｼ ｳｼﾛ ASF ﾖｳｼｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	後 ASF に用紙がない	後 ASF に用紙をセットしてください。
	ｷｭｳｼｼﾞｬﾑ ﾃｻｼ ﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	手差し給紙部に用紙がつまっている	手差し給紙部の用紙づまりを取り除いてください。
	ｷｭｳｼｼﾞｬﾑ ﾏｴ ASF ﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	ASF に用紙がつまっている	前 ASF の用紙づまりを取り除いてください。
	ｷｭｳｼｼﾞｬﾑ ｳｼﾛ ASF ﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	後 ASF に用紙がつまっている	後 ASF の用紙づまりを取り除いてください。
	ｷｭｳｼｼﾞｬﾑ ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ ﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	前連帳給紙部に用紙がつまっている	前トラクターの用紙づまりを取り除いてください。
	ｷｭｳｼｼﾞｬﾑｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ ﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	後連帳給紙部に用紙がつまっている	後トラクターの用紙づまりを取り除いてください。
	ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ｶﾊﾞｰｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	カバーがあいている	カバーを閉じてください。

ランプ	メッセージ	原因	対処方法
[ﾒｯｾｰｼﾞ] 点滅	ｶｲｷﾞｮｳｼﾞｬﾑｹﾝﾁ ﾊﾟﾜｰ OFF ﾖｳｼ ｶｸﾆﾝ	改行動作中に用紙づまりが発生した	用紙づまりを取り除いてください。
	ﾊｲｼﾞｬﾑ ﾃｻｼ ﾊﾟﾜｰ OFF ﾖｳｼ ｶｸﾆﾝ	手差しで排紙時に用紙づまりが発生した	手差し給紙部の用紙づまりを取り除いてください。
	ﾊｲｼﾞｬﾑ ﾏｴ ASF ﾊﾟﾜｰ OFF ﾖｳｼ ｶｸﾆﾝ	前 ASF で排紙時に用紙づまりが発生した	前 ASF の用紙づまりを取り除いてください。
	ﾊｲｼﾞｬﾑ ｳｼﾛ ASF ﾊﾟﾜｰ OFF ﾖｳｼ ｶｸﾆﾝ	後 ASF で排紙時に用紙づまりが発生した	後 ASF の用紙づまりを取り除いてください。
	ﾊｲｼﾞｬﾑ ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ ﾊﾟﾜｰ OFF ﾖｳｼ ｶｸﾆﾝ	前連帳の排紙時に用紙づまりが発生した	前トラクターの用紙づまりを取り除いてください。
	ﾊｲｼﾞｬﾑ ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ ﾊﾟﾜｰ OFF ﾖｳｼ ｶｸﾆﾝ	後連帳の排紙時に用紙づまりが発生した	後トラクターの用紙づまりを取り除いてください。
	ﾖｳｼｱﾂｲｼﾞｮｳ ﾊﾟﾜｰ OFF ｿｳﾁ ｶｸﾆﾝ	手動で設定した用紙厚の範囲外の用紙がセットされた	用紙厚設定を使用する紙にあわせて変更してください。
	ｲﾝｼﾞｹﾀｽﾞﾚ ﾊﾟﾜｰ OFF ｿｳﾁ ｶｸﾆﾝ	印字ヘッドの左右動作において、用紙づまり、用紙の段差等、過負荷を検出した	印字ヘッド部の用紙、リボンの状態を確認してください（用紙厚については、「第4章 用紙のセット」の「用紙厚を調整する」を参照してください）
	ﾘﾎﾞﾝｲｼﾞｮｳ ﾊﾟﾜｰ OFF ﾘﾎﾞﾝ ｶｸﾆﾝ	リボン送りの異常を検出した	リボンカセットを外し、リボンカセットのツマミを回し、リボンが正常に送られることを確認してください。 リボンカセットを交換してください。 リボンカセットは純正品の使用をお奨めします。
[ﾒｯｾｰｼﾞ] 点灯	ﾀﾝﾋﾟｮｳ ﾇｷﾄﾘﾏﾁ ﾖｳｼｦ ﾇｷﾄｯﾃｸﾀﾞｻｲ	排出した単票用紙が単票テーブルに残っている	単票テーブルから用紙を取り除いてください。
	ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ ﾀｲﾋﾏﾁ ﾖｳｼｦ ﾀｲﾋｼﾃｸﾀﾞｻｲ	単票指定コマンドにより、連続用紙を 22 インチ退避しても。退避しきれなかった	連続用紙を退避してください。
	ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ ﾀｲﾋﾏﾁ ﾖｳｼｦ ﾀｲﾋｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
	ﾀﾝﾋﾟｮｳ ﾃｿｳﾆｭｳﾏﾁ ﾖｳｼｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	単票用紙の挿入要求	単票用紙をセットしてください。
	ﾃｿｳﾆｭｳﾏﾁ ﾀｲﾑｱｳﾄ ｵﾝﾗｲﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	単票挿入待ち状態で、メニュー設定で設定した時間が経過した または、単票挿入待ち状態でオンラインスイッチを押した	オンラインスイッチを押すと、挿入待ちの状態になりますので、用紙をセットしてください。
	ﾀｲﾋﾏﾁ ﾀｲﾑｱｳﾄ ｵﾝﾗｲﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	連続用紙退避待ち状態で、メニュー設定で設定した時間が経過した または、退避待ち状態でオンラインスイッチを押した	メニューを押すと、退避待ちの状態になりますので、用紙を退避してください。

ランプ	メッセージ	原因	対処方法
[ﾒｯｾｰｼﾞ] 点灯	ﾏｴﾚﾝﾁｮｳ ｶｯﾄﾏﾁ ﾖｳｼｦ ｶｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	連続用紙のカット待ち状態	連続用紙をカットしてください。
	ｳｼﾛﾚﾝﾁｮｳ ｶｯﾄﾏﾁ ﾖｳｼｦ ｶｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
	ﾖｳｼ ｷｭｳﾆｭｳｴﾗｰ ﾖｳｼｦｻｲｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	用紙の斜行を検出したため、用紙の再セットを要求している	用紙を再セットしてください。
	ｾｯﾄｲﾁ ｲｼﾞｮｳ ｾｯﾄｲﾁ ｶｸﾆﾝ	イージーセット機能有効時、吸入できない位置・角度で用紙がｾｯﾄされた	イージーセット対応範囲に用紙を再ｾｯﾄしてください。
	ﾋﾀﾞﾘﾖﾊｸ ｲﾁｲｼﾞｮｳ ﾖﾊｸｾｯﾃｲ ｶｸﾆﾝ	左余白を変更しないと印字できない用紙をセットした（印字データと用紙サイズに、余白設定があっていない）	メニュー設定で「ｲｰｼﾞｾｯﾄｻﾀﾝﾖﾊｸ」を変更してください。
[障害] 点灯	XXXX ｱﾗｰﾑ ｻｰﾋﾞｽﾏﾝｺｰﾙ	プリンターの故障	表示されているメッセージをひかえて、プリンターの電源を切った後、保守員に連絡してください。

こんなときには

プリンターが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合は、次の表でプリンターの症状に当てはまる項目を探し、それぞれの処置方法に従ってください。
処置を行っても機能が回復しない場合は、お買い求めの販売店、保守会社、または当社プリンターお問い合わせ窓口（「第 6 章　アフターサービス」参照）にご相談ください。

電源ランプが点灯せず、プリンターが動作しない
プリンターの電源を切り、電源コードの接続を確かめてください。 （「第1章電源コードの接続」参照）
メッセージランプが点滅し、プリンターが動作しない
用紙やリボンが印字ヘッドに引っかかっているとき →電源を切って、印字ヘッドに引っかかっているものを取り除いてください。
用紙やリボンが印字ヘッドに引っかかっていないとき →電源を切って、もう一度電源を入れてください。
印字ヘッドを固定している輸送用固定材が取り外されていないとき →電源を切って、輸送用固定材を取り外してください。 （「第1章輸送用固定材の取り外し」参照）
「用紙セット／排出」スイッチを押しても給紙できない。 →イージーセット機能有効時に用紙セット範囲を越える用紙をセットしている。 用紙セット範囲内に正しく再セットしてください。
印字ができない
「オンライン」ランプが消えているとき →「オンライン」ランプが消えているときは、印字できません。 オンラインスイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。
「オンライン」ランプが点灯しているとき →プリンターの電源を切り、プリンターとパソコンをつなぐプリンターケーブルの接続を確かめてください。 （「第1章パソコンとの接続」参照）
印字音はするのに印字しないとき →リボンカセットが正しく取り付けられていません。 印字を中止して、印字ヘッドとリボンガイドの間にリボンが入っているかどうかを確かめてください。 （「第1章リボンカセットの取り付け」参照）
印字が遅い
印字ヘッドが動く速さが遅いとき →オフィスモードになっていませんか？ オフィスモード使用時は、スループットが低下する場合があります。印字速度を重視される場合は、設定値を「無効」に設定してください。また、オフィスモード有効時は、高速スイッチおよび高速印字指定コマンドは無効になります。 （「第3章メニュー設定項目」参照）

印字が欠ける、薄い
印字が横一列に欠けるとき →印字ヘッドのピンが折れています。 印字ヘッドを交換する必要があります。お買い求めの販売店、保守会社、または当社プリンターお問い合わせ窓口にご連絡ください。 （「第6章アフターサービス」参照）
印字の上または下の部分が欠けるとき →リボンカセットが正しく取り付けられていません。 印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。 （「第１章リボンカセットの取り付け」参照）
印字がムラになって欠けるとき →リボンがたるんだり、ねじれたりしています。 印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。 （「第１章リボンカセットの取り付け」参照）
印字が薄いとき →紙厚設定が正しく設定されていません。 使用している用紙に合わせて正しくセットしてください。 （「第４章用紙厚を調整する」参照） →リボンが古くなっています。 新しいリボンカセットと交換してください。 （「第6章リボンカセットの交換」参照）
用紙の右端約 5mm の範囲に印字しない（文字が欠ける） →メニュー設定項目の“用紙外印字防止”の設定が“有効”になっている。 “用紙外印字防止”の設定を“無効”に変更してください。 （「第３章メニュー設定項目」参照）
思いどおりに印字ができない
印字開始位置が上、または下すぎるとき →印字開始位置を調整してください。 （「第４章印字開始位置を微調整する」参照） →ソフトウェアで上端余白の設定が必要な場合があります。 お使いのアプリケーションソフトの説明書で確認してみてください。
連帳用紙の印字位置がページによってズレるとき →仕様外の薄い用紙や厚い用紙を使用すると、連帳用紙の場合ページによって印字位置がズレる場合があります。 「第5章使用できる用紙について」を参照し、仕様に合った用紙を使用してください。
印字がズレる、乱れるとき 縦罫線などを正逆両方向で印字した場合に、印字が乱れる場合があります。 特にオフィスモードを有効にした場合、ズレが目立つ場合があります。 →行間ズレを微調整してください。 （「第6章水平印字補正」参照） →「第３章メニュー設定項目」－「コマンドキノウセッテイ」の「インジホウコウ２」を「カタホウコウ」に設定してください。

思いどおりに印字ができない
文字化けや、意味のない文字列を印字してしまうとき →プリンタードライバーの選択機種が正しいか確かめてください。 →インターフェイスケーブルの接続状態を確かめてください。 →パソコンの画面表示、印刷プレビューが、すでにおかしい場合は、パソコンを調査してください。 →第2章に示す、プリンタープロパティメニュー内のスプール設定の内容を変更しているか確認してください。
うまく用紙送りができない
用紙がつまったとき →用紙を破らないように、静かに取り除いてください。 （「第6章用紙づまりのとき」参照）
通常の給紙の場合にうまく用紙送りできないとき →用紙がきちんとセットされているかどうかを確かめてください。 （「第4章用紙をセットする」参照） →用紙の仕様が合っていません。仕様に合った用紙を使用してください。 （「第5章使用できる用紙について」参照） →折れたり、曲がったりしている用紙は使用しないでください。
手差しでセットした用紙が、印字をせずに排出されるとき →本プリンターは単票テーブルから手差しでセットした用紙が、イージーセットの対応範囲より斜行して吸入された場合、印字をせずに自動的に用紙を排出します。 単票テーブルの用紙ガイドを印字開始位置に合わせ、イージーセットの対応範囲に用紙を挿入してください。 （「第4章用紙のセット」参照） なお、本機能はプリンターの機能設定により、無効に設定することが可能です。
オートシートフィーダー（オプション）給紙の場合にうまく用紙送りできないとき →オートシートフィーダーに用紙が正しくセットされていません。 セット枚数が多過ぎないかどうかを確かめてください。 →オートシートフィーダーがプリンターにきちんとセットされていません。 正しくセットし直してください。 （「第1章オートシートフィーダーの取り付け」参照） →用紙の抜取り待ち状態（「手前」ランプ点滅状態）になっています。 単票テーブルに排出された用紙を取り除いてください。 （「第4章単票テーブルに用紙をセットする」参照） →用紙の仕様が合っていません。 仕様に合った用紙を使用してください。 （「第5章使用できる用紙について」参照） →プラテンが汚れています。 プラテンを清掃してください。 （「第6章清掃のしかた」参照）
「障害」ランプが点灯する
プリンターが故障しています。 →電源を切り、再度入れ直しても、障害ランプが消灯しない場合は、表示パネルの4桁のエラーメッセージをひかえて、電源を切った後、保守員に連絡してください。

保守機能

メニュー設定一覧印刷

オフィスモードからその他設定まで、プリンターのメニュー設定項目と設定値の一覧を印刷します。

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2 プリンターの電源を切る

プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 高速／改頁スイッチを押しながら、電源を投入する

表示パネルに「メニューインサツ」と表示されたことを確認してください。

4 用紙をセットし、印字を行う

用紙をセットするとメニュー設定の一覧を印字します。
印字幅は、単票モードで6インチ、連帳モードで13インチです。
印字を途中で終了させる場合は、オンラインスイッチを押してください。

5 通常の印字モードにもどる

プリンターの電源を一度切り、再度電源を投入すると、通常の印字モードにもどります。

テスト印字

テスト印字は、次の手順で行います。

1　オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2　プリンターの電源を切る

プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3　オンラインスイッチを押しながら、電源を投入する

表示パネルに「テストインサツ」と表示されたことを確認してください。

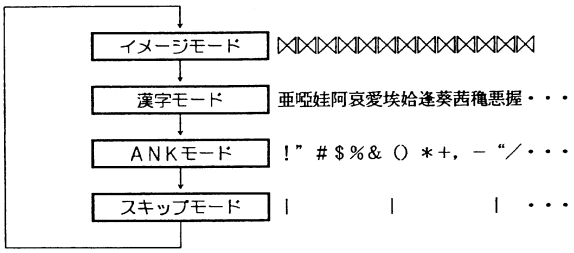
注）　手差しモードでテスト印刷を行う場合は用紙をセットした状態で電源を切ってください。

4　印字を行う

印字幅は、単票モードで6インチ、連帳モードで13インチです。
印字を途中で終了させる場合は、オンラインスイッチを押してください。

テストモードを切り替えるとき

印字中に印字ヘッドが左端または右端に移動したときに用紙カットスイッチを押すと、次のようにテストモードが切り替わります。
また、高速/改頁　スイッチを行端時に押すと、標準、高速印字の切り替えを、高複写/改行スイッチを押すと、標準、高複写印字の切り替えを行います。



5　通常の印字モードにもどる

プリンターの電源をOFF／ONすると、通常の印字モードにもどります。

ブザー音量設定

ブザー音量設定は、次の手順で行います。

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2 プリンターの電源を切る

プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 紙厚調整スイッチを押しながら、電源を投入する

表示パネルに「ブザー　オンリョウ」と表示されたことを確認してください。
設定されている音量の設定値が表示され、ブザー音を単発鳴動します。

4 音量を設定する

高速/改頁スイッチと高複写/改行スイッチでブザー音量を選択してください。
（高速/改頁スイッチ：音量小，　高複写/改行スイッチ：音量大）
設定値を変更するたびにブザー音を単発鳴動します。
設定値は1～8までの8段階で、初期値は5です。
（数字が大きくなると音量も大きくなります。）

5 設定値を登録する

登録・終了/オンラインスイッチを押すと、確認メッセージが表示されます。
「ハイ」を選択する（高速/改頁スイッチを押す）と、設定値を登録し、イニシャル動作を行います。
「イイエ」を選択する（高複写/改行スイッチを押す）と、設定値を登録せずにイニシャル動作を行います。

水平印字補正

縦罫線などを正逆両方向で印字したときに生じる行間の横方向の印字位置の不揃いを直します。標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードの行間ズレを直すことができます。ドラフト印字モードとは 60dpi の解像度の内蔵フォントを使用して標準の 3 倍の速度で印字するモードです。行間ズレは、次の手順で直します。行間ズレを直すときは、必ず用紙をセットしておいてください。

1　オフライン状態にする

オンライン スイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2　プリンターの電源を切る

プリンターの電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3　高複写／改行 スイッチと 高速／改頁 スイッチを同時に押しながら、電源を投入する

表示パネルに「スイヘイインジ　ホセイ」と表示されたことを確認してください。

4　用紙をセットし、印字を行う

用紙をセットするとテスト印字を開始します。
印字幅は、単票モードで約6インチ、連帳モードで約13インチです。

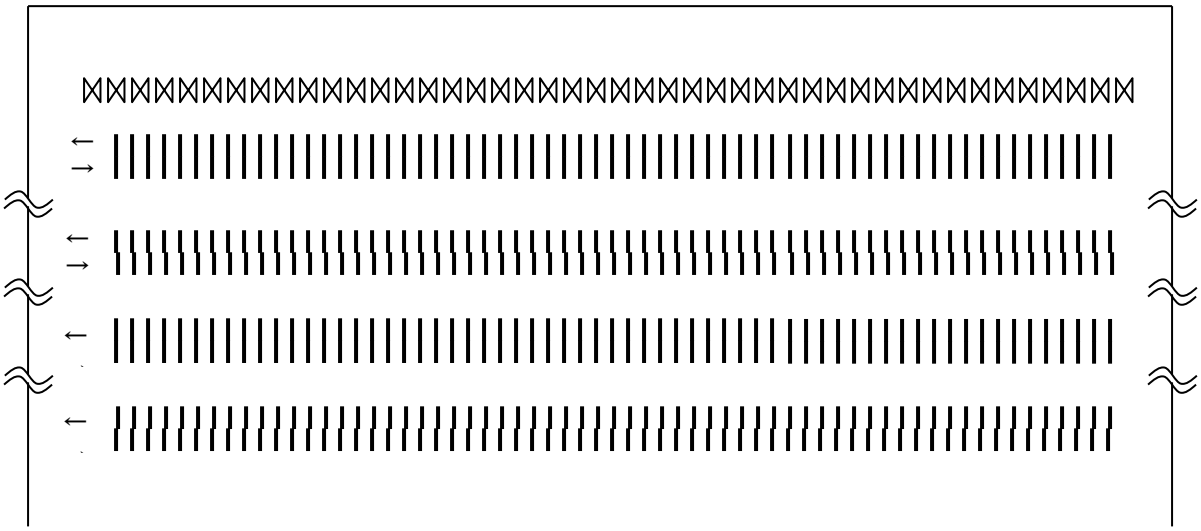
5　行間ズレを補正する

パターンをひとつ印字すると、印字ヘッドが右端で停止します。この状態で以下の操作を行うと補正したパターンを印字します。印字結果の縦線がまっすぐになるように調整してください。

改頁/高速スイッチを押すと、正方向（左→右）印字を左に、逆方向（右→左）印字を右に補正します。

改行/高複写スイッチを押すと、正方向（左→右）印字を右に、逆方向（右→左）印字を左に補正します。

また、用紙選択スイッチを押すと複写モードを4パターン切り替えます。紙厚調整スイッチを押すと印字速度を「標準」－「高速」－「ドラフト」の順に切り替えます。



6　補正値を保存し、補正モードを終了する

設定が終了したら、オンラインスイッチを押します。

設定値を保存し、初期化動作後、通常モードにもどります。

ＨＥＸダンプ（１６進ダンプ）印字をする

HEXダンプ印字は、プログラムの診断に利用してください。パソコンからプリンターへ送られてきたデータを16進数のまま印字します。
HEXダンプ印字は次の手順で行います。

1　オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

2　プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3　HEXダンプモードでプリンターを起動する

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。
改行/高複写スイッチを押しながら、プリンターの電源スイッチを「｜」側に倒し、電源をONにします。
表示パネルに「HEXダンプ1」と表示されたことを確認してください。

4　プリンターをオンライン状態にする

プリンターがオンライン状態になっていることを確認します。
オフライン状態のときは、オンラインスイッチを押して、プリンターをオフライン状態にします。

5　16進数で印字したいデータを印字する

表示パネルに「インサツカノウ　HEX1」と表示された状態で、印字を行うと、印字データは16進数で印字されます。

6　HEX ダンプモードを終了する

プリンターの電源をOFFにし、再度電源を投入することで、通常の印字モードにもどります。

清掃のしかた

プリンターを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

⚠注意

・プリンターの清掃を行う際は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
　電源スイッチを切らずにプリンターの清掃を行うと、感電の原因となることがあります。
・印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、清掃してください。
　やけどの原因となることがあります。

⚠警告

・シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。
　プリンターの表面が変色したり、変形したりするおそれがあります。
・プリンター内部を濡らさないでください。
　電気回路がショートするおそれがあります。
・プリンターに潤滑油を補給しないでください
　プリンターの故障の原因となる場合があります。
　潤滑油の補給が必要な場合は、お買い求めの販売会社までご連絡ください。

清掃は、次の手順で行います。

1　プリンターの電源を切り、電源プラグを抜く

2　トップカバーを開ける

3　プリンターを清掃する

印字した用紙が汚れたり、カバー部が汚れたりしているときは、中性洗剤を薄めた水に清潔な柔らかい布を浸し、よく絞ってカバー表面、プラテン、およびゴムローラーの表面を拭いてください。プリンター内の紙粉は除去してください。

印字ヘッドなどの壊れやすい部品には触らないでください。
　破損のおそれがあります。

4　トップカバーを閉じて電源を入れる。

プリンターを輸送するとき

プリンターを衝撃から守るため、以下の手順で梱包してから輸送してください。

1 プリンターの電源を一旦入れた後に切る

（電源スイッチが（○）側に倒れていることを確認します。）

一旦電源を入れることで、印字ヘッドが移動し、以降の作業ができる状態になります。

2 用紙を取り去り、リアスタッカーを取り外す

3 プラグを電源プラグから抜いて、プリンターケーブルをプリンターから外す

4 リボンカセットを取り外す

（第6章「リボンカセットの交換方法」参照。）

5 リアスタッカーを包装する

6 印字ヘッドを手でゆっくりと右端まで移動する

7 印字ヘッドを保護するために、輸送用固定材を取り付ける

8 プリンターを衝撃から守るために梱包材などでくるみ、届いたときと同じ状態にして箱に入れる

⚠注意

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを移動させてください。
やけどの原因となることがあります。

輸送用固定材や梱包材は必ず取り付けてください。
輸送用固定材や梱包材を取り付けずに輸送するとプリンターの部品の破損や、調整値が狂ってしまうことがあります。

アフターサービス

・ お買い求めの際に添付されている保証書は、大切に保管してください。
・ 保証書は、日本国内のみ有効です。
・ 無償保証期間は、お買い上げ日より 6 ヶ月です。詳細は保証書をご覧ください。
・ 保守部品保有期間は、製造中止後 5 年です。
・ 分解、改造などを行わないでください。
無償保証期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
・ プリンターのご使用にあたっては、純正サプライ用品の使用をお奨めします。非推奨品の使用が原因で不具合や故障が発生した場合は、無償保証期間内や保守契約期間内であっても有償修理となりますので、ご注意ください。
・ 操作および機能についてのご不明な点や、修理につきましては、以下へご相談ください。

● 富士通アイソテック株式会社 プリンターお問い合わせ窓口
〒960-0695 福島県伊達市保原町東野崎 135
E-mail ： fit-hansui@cs.jp.fujitsu.com

■故障，修理，保守サービスに関するお問い合わせ

お買い求め頂いた販売店様へお問合せください。

付録

プリンターの概略仕様 A-2
印字品質 A-3
外観図 A-4
標準外観図 A-4
オートシートフィーダー取り付け時の外観図 A-5
インターフェイス仕様 A-6
パラレルインターフェイス A-6
USBインターフェイス A-9
ネットワーク接続 A-10
自動検出機能 A-11
専用コマンド A-13
制限事項 A-21
消耗品の廃棄について A-23
有償交換部品のご案内 A-24

プリンターの概略仕様

印字方式			ワイヤドットマトリックス			
fit7650Pro-H 印字速度 [字/秒] *1	文字種		通常印字	高速印字	高複写印字 1	高複写印字 2
	漢字	24 ドット	140(130)	280(260)	130(120)	50(50)
	高品位 ANK	10CPI	210(195)	420(390)	195(180)	75(75)
		12CPI	252(234)	504(468)	234(216)	90(90)
		15CPI	315(291)	630(582)	292(243)	112(112)
	高速度 ANK	10CPI	540(540)	ー	540(540)	225(225)
		12CPI	648(648)	ー	648(648)	270(270)
		15CPI	810(810)	ー	810(810)	337(337)
fit7850Pro-H 印字速度 [字/秒] *1	文字種		通常印字	高速印字	高複写印字 1	高複写印字 2
	漢字	24 ドット	180(159)	360(318)	159(149)	74(74)
	高品位 ANK	10CPI	272(239)	544(478)	239(224)	112(112)
		12CPI	326(286)	652(572)	286(268)	134(134)
		15CPI	408(358)	816(716)	358(336)	168(168)
	高速度 ANK	10CPI	540(540)	ー	540(540)	330(330)
		12CPI	648(648)	ー	648(648)	396(396)
		15CPI	810(810)	ー	810(810)	495(495)
ドット径			0.21mm			
ドットピッチ			1／180 インチ（0.14mm）　（縦・横共）			
印字ヘッド			48 ピン（24 ピン×２列）			
印字桁数	漢字全角		90（字／行）			
	半角漢字		188（字／行）			
	ANK（パイカ）		136（字／行）			
	ANK（エリート）		163（字／行）			
印字動作			両方向最短距離印字			
複写能力（コピー能力）	標準モード		８枚			
	高複写モード		９枚			
イメージ印字	行ドット数		２４４８			
用紙送り	用紙送り方式		押し込みトラクター方式（連続帳票用紙） フリクション方式（単票用紙）			
	改行間隔		1／360 インチ（0.07mm）×n （n はプログラム設定による）			
	改行速度		約 50ms（1／6 インチ(4.23mm)改行時）			

*1　用紙の厚さによって、印字速度が異なります。
表中のA（B）は、A＝レンジ1～3、B＝レンジ4～8（高複写印字1のときは4～9）のときを示しています。

印字方式		ワイヤドットマトリックス	
		fit7650Pro-H	fit7850Pro-H
スタッカー容量(単票)		120 枚以下(A4 サイズ、1P 用紙、連量 55kg) ・用紙の種類、サイズ、カールの度合いや、印字デューティー、使用環境などにより減少します。	
使用環境	温度	稼動時　:　5～35℃ 非稼動時:－15～60℃	
	湿度	稼動時　:20～80%RH 非稼動時:5～95%RH (ただし、結露しないこと。湿度勾配 30%RH／日以下)	
インターフェイス		セントロニクス社準拠パラレルインターフェイス	
		USB2.0 インターフェイス	
電源仕様	入力電源種別	商用単相	
	電源電圧	AC100V±10%	
	電源周波数	50／60Hz　±1Hz	
消費電力		平均 190W(最大 510W)	平均 270W(最大 685W)
		待機時 10W 以下	
外形寸法	幅	600mm	
	奥行	350mm	
	高さ	290mm	
質量		約 22kg	約 22.5kg
稼動音(4方向平均)		約 58dB(A)	約 60dB(A)
装置寿命		5 年または 750 万改行のいずれか早い方	
印字ヘッド寿命		6 億打／ドット	
リボン	種類	エンドレスリボンカセット	
	寿命	1,500 万字(ﾄﾞﾗﾌﾄ ANK)	

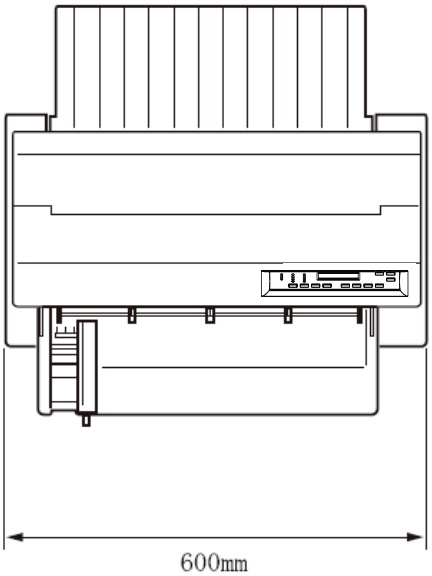
印字品質

下記範囲内で、装置ごとの個体差が生じる場合があります。

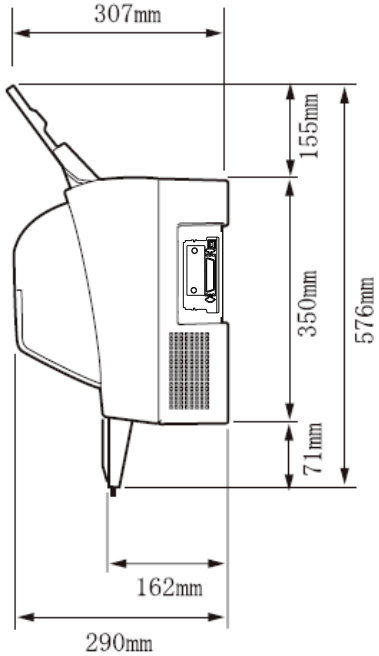
・印字ずれ(漢字、イメージ)　片方向　0.05mm 以下
　(縦罫線のつなぎずれ)　両方向　0.1mm 以下
・ドットひずみ　縦横共　0.1mm 以下
・改行ピッチ　単　一　±0.3mm 以下 (1 枚紙 55kg 用紙,連帳/単票)
　(1/6 ｲﾝﾁ(4.23mm)正改行)　累　積　±0.8mm 以下(4.23mm×60 改行,連帳 1 枚紙 55kg 紙)
・用紙吸入位置(行方向)　単　票　±2.0mm 以下　連　帳　±1.0mm 以下
　(桁方向)　単　票　±1.5mm 以下　連　帳　±1.5mm 以下
・斜　行　0.8mm／136 桁以下 (連帳 1 枚紙 55kg 用紙)
　1.5mm／60 桁以下 (単票 1 枚紙 55kg 用紙)
・層間ずれ　1.2mm 以下
　(両端糊付け連続帳票８枚用紙の１枚目と８枚目のズレ)

外観図

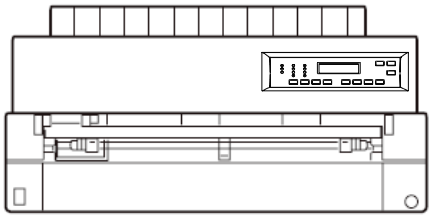
標準外観図



〈上面図〉



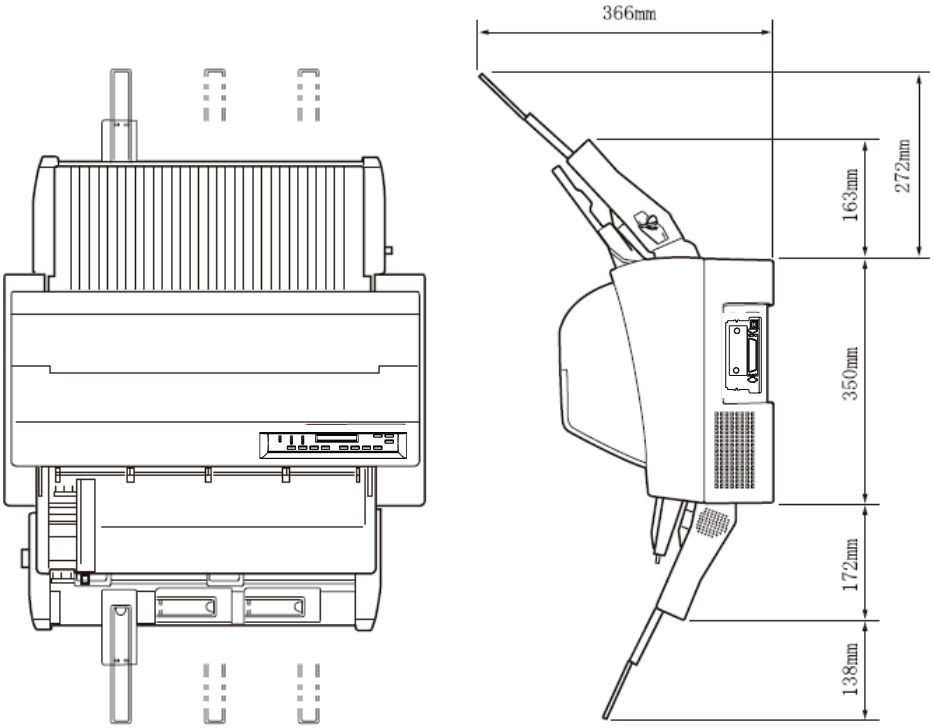
〈側面図〉



〈正面図〉

オートシートフィーダー取り付け時の外観図

オートシートフィーダーを前/後面に取り付けたときの外観図



インターフェイス仕様

パラレルインターフェイス

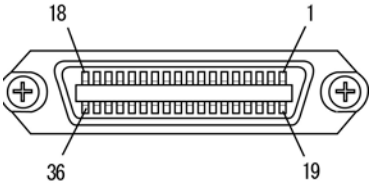
インターフェイスコネクター

プリンター側 ： レセプタクル：アンフェノール(DDK)57-40360 相当

ケーブル側 ： プラグ ：アンフェノール(DDK)57-30360 相当

コネクターピン配列

インターフェイスコネクター（36 ピン）



ピン No	信　号	ピン No	信　号
1	*DSTB	19	*DSTB-RET
2	DATA 1	20	DATA 1-RET
3	DATA 2	21	DATA 2-RET
4	DATA 3	22	DATA 3-RET
5	DATA 4	23	DATA 4-RET
6	DATA 5	24	DATA 5-RET
7	DATA 6	25	DATA 6-RET
8	DATA 7	26	DATA 7-RET
9	DATA 8	27	DATA 8-RET
10	*ACKNLG	28	*ACKNLG-RET
11	BUSY	29	BUSY-RET
12	PE	30	*INIT-RET
13	SLCT	31	*INIT
14	*AFXT	32	*ERROR
15	NC	33	SG
16	SG	34	NC
17	FG	35	NC
18	NC	36	*SLCT IN

注 1） -RET 信号は、すべて SG に接続されています。
注 2） （ ）内の信号は、ステータス出力です。
注 3） *”は、負論理信号であることを示します。

入力信号の説明

DATA 1～8　プリンターの受信データです。
“H”で信号あり、“L”で信号なしです。

*DSTB　DATA1～8 を読み込むためのパルス信号です。
定常状態では“H”です。“H”から“L”になるとき、データを読み込みます。

*AFXT　復帰改行する信号です。
“L”になっていると、CR コードを受信して復帰改行します。

*SLCT IN　DC1/DC3 を無効にする信号です。
電源投入時に、“L”になっていると、DC1/DC3 コードが無効になります。

*INIT　プリンターを初期状態にする信号です。
“L”になるとプリンターは初期状態になります。

出力信号の説明

*ACKNLG　*STROBE に対する応答信号です。
データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。

PE　用紙切れを通知する信号です。

BUSY　プリンターのビジー状態を通知する信号です。
この信号が“H”のとき、プリンターはビジー状態で、データは受信できません。
以下の状態のとき、この信号は“H”です。
受信データ処理中、アラーム状態、オフライン状態、電源投入時または*INIT 信号を受信しての初期化動作中。

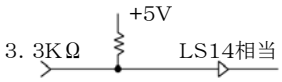
SLCT　常に“H”です。

*ERROR　アラーム状態、オフライン状態を通知する信号です。
この信号が“L”のときは、アラーム状態、オフライン状態です。

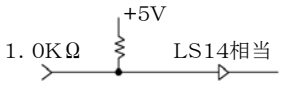
インターフェイス回路

・入力回路

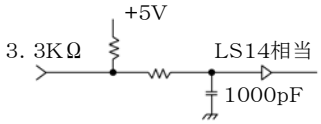
ピン No.	信号
2～9	DATA1～8



ピン No.	信号
14	*AFXT



ピン No.	信号
1	*STROBE
31	*INIT
34	NC



・出力回路

ピン No.	信号
10	*ACKNLG
11	BUSY
12	PE
13	SLCT
15	NC
32	*ERROR
33	SG
18	NC

ＵＳＢインターフェイス

インターフェイスコネクター

プリンター側　：　TypeB レセプタクル（メス）

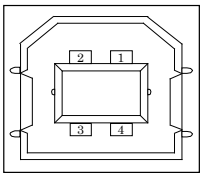
ケーブル側　　：　TypeB プラグ（オス）

インターフェイスケーブル

5m以下の USB2.0 仕様のケーブル

（シールドされているケーブル線を使用してください。）

コネクターピン配列



No.	信号線名称	機能
1	Vbus	電源
2	D−	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

基本仕様

USBインターフェイス準拠（USB2.0）

電力制御

セルフパワーデバイス

伝送モード

フルスピード（最大12Mbps）

ネットワーク接続

ネットワーク接続用のオプションと接続することにより、本プリンターをネットワークプリンターとしてご使用いただけます。

接続方法については、LANボード添付の取扱説明書を参照ください。

ネットワーク接続用オプション

・ 内蔵型　　LANボード　　PR－LN1－H

接続時の設定

ネットワークオプションを接続する場合は、「第1章　お使いになる前に」の「オプションの取り付け」を参照いただき、プリンターの設定内容を確認してください。

自動検出機能

このプリンターには、次の 7 つの自動検出機能があります。

o　印字ヘッド昇温検出

印字ヘッドの加熱状態を検出すると、1 行を 2 回に分けて印字し、印字ヘッドの劣化を防止します。

o　ヘビーデューティー検出

高密度の印字(50%以上)を行うと、1 行を 2 回に分けて印字します。

o　内部異常検出

プリンター内で、過電圧、過電流、ファイヤチェックなどの異常が発生したときは、プリンター保護のために、自動的に電流を切断します。この状態で電源スイッチを“ON”にしても、約 5 分間は電源が投入できませんので、それ以降に電源を再投入してください。この状態で電源が投入できないときは、プリンターの故障ですので、コンセントを抜いてお買い求めの販売会社に相談してください。

o　用紙無し検出

印字中に用紙がなくなると、印字動作が停止して「メッセージ」ランプが点灯し、ブザーが鳴ってオフライン状態になります。

o　用紙づまり検出

連帳用紙の吸入セット時(第 4 章参照)に用紙づまりが発生した場合は、吸入動作失敗として検出し、ブザーを鳴らします。
単票用紙の吸入セット時(第 4 章参照)に用紙づまりが発生した場合は、用紙を自動的に手前排出します。
用紙づまりが発生した場合は、「第 6 章 用紙づまりのとき」を参照して、つまった用紙を取り除き、再度用紙をセットし直してください。

o　用紙吸入時の斜行検出

単票テーブルから、手差しセットした単票用紙が、斜行して吸入された場合、印字をせずに自動的に用紙を排出します。

印字可能な印時領域については、「第 5 章　使用できる用紙について」を参照してください。

o　用紙外印字防止

用紙の吸入セット後に、用紙の左右端を検出して印字領域を越えるデータを受信した場合にそのデータをカットし、用紙外への印字を防止します。
本機能は、メニュー設定項目の「用紙外印字防止」にて有効、無効の設定が可能です。
工場出荷時は、機能は「有効」に設定されています。
印字可能な印字領域については、「第 5 章 使用できる用紙について」を参照してください。

専用コマンド

本プリンターには、次の専用コマンドがあります。

■コマンド仕様

ＡＳＦ特殊改行

＜１Ｂ　７Ｃ　０Ａ　００　００＞

機　　能：印字バッファー内に印字データがない場合、改行量に従って１改行動作を行います。ただし、単票の給紙動作は行いません。
印字データがある場合、改行（ＬＦ）コマンドと同じ動作を行います。

入 力 書 式：(ＨＥＸ) １Ｂ　７Ｃ　０Ａ　００　００

パラメーター：なし

頭出し位置指定

＜１Ｂ　７Ｃ　０Ｄ　０２　００　ｎ１　ｎ２＞

機　　能：用紙の頭出し位置を設定し、次に設定または解除されるまで有効です。
０mm位置以外で用紙給紙済みのときは、このコマンドを受け捨てます。
はがきモード設定コマンドで設定されているときは、頭出し位置指定を受け付けません。

入 力 書 式：(ＨＥＸ) １Ｂ　７Ｃ　０Ｄ　０２　００　ｎ１　ｎ２

パラメーター：２バイト
ｎ１＝００ｈ：頭出し位置を設定します
０１ｈ：頭出し位置を解除します
ｎ２：ｎ２／１８０インチで頭出し量を設定します
０≦ｎ２≦２５５

印字動作完了確認

＜１Ｂ　７Ｃ　０４　００　００＞

機　　能：印字開始コード受信に続けて受信すると、印字動作終了まで印字データを受信しません。ハードウェア設定の「受信バッファ」設定が「無効」の時に有効になります。

入 力 書 式：(ＨＥＸ) １Ｂ　７Ｃ　０４　００　００

パラメーター：なし

単票排出指定

＜１Ｂ　７Ｃ　０１　０１　００　ｎ１＞

機　　能：印字バッファー内のデータを印字し、単票を排出します。
入 力 書 式：（ＨＥＸ）１Ｂ　７Ｃ　０１　０１　００　ｎ１
パラメーター：１バイト
ｎ１＝００ｈ：テーブル（手前）へ排出します
０１ｈ：スタッカー（後方）へ排出します

はがきモード設定

＜１Ｂ　７Ｃ　０２　０１　００　ｎ１＞

機　　能：はがきモードの設定・解除をします。
入 力 書 式：（ＨＥＸ）１Ｂ　７Ｃ　０２　０１　００　ｎ１
パラメーター：１バイト
ｎ１＝００ｈ：解除します
０１ｈ：設定し、単票の頭出し位置を１１．５ｍｍにします

用紙モード切り替え

＜１Ｂ　７Ｃ　０Ｃ　０１　００　ｎ１＞

機　　能：用紙を切り替えます。
入 力 書 式：（ＨＥＸ）１Ｂ　７Ｃ　０Ｃ　０１　００　ｎ１
パラメーター：１バイト
ｎ１＝００ｈ：連続帳票を指定します
０１ｈ：単票を指定します
０２ｈ：モードを解除します
動　　作・モード解除か連続帳票・単票の指定コマンドで、単票の下端検出後の動作を解除します。
・連続帳票指定のとき
メニュー設定に従い、用紙下端検出後の処理を行います。
単票を排出し連続帳票に切り替ります。連続帳票が給紙され、印字データが送られると印字を開始します。
・単票指定のとき
単票が未給紙のときは給紙します。このコマンドで給紙したときは、用紙下端まで印字しますが、単票を排出しません。
連続帳票の退避・排出動作を行い、単票給紙モードになります。

連続帳票・単票の指定

＜１Ｂ　７Ｃ　０３　０１　００　ｎ１＞

機　　能：用紙を切り替えます。
入 力 書 式：（ＨＥＸ）１Ｂ　７Ｃ　０３　０１　００　ｎ１
パラメーター：１バイト
ｎ１＝００ｈ：連続帳票を指定します
０１ｈ：単票を指定します
動　　作・連続帳票指定のとき
メニュー設定に従い、用紙下端検出後の処理を行います。単票を排出し連続帳票に切り替ります。連続帳票が給紙され、印字データが送られると印字を開始します。
・単票指定のとき
単票が未給紙のときは給紙します。頭出し位置が 0mm となります。このコマンドで給紙したときは、用紙下端まで印字を行いますが、単票の排出はしません。連続帳票の退避・排出動作を行い、単票給紙モードになります。

連続帳票給紙方法の指定

＜１Ｂ　７Ｃ　０Ｂ　０１　００　ｎ１＞

機　　能：連続帳票の給紙方法を指定します。
入 力 書 式：（ＨＥＸ）１Ｂ　７Ｃ　０Ｂ　０１　００　ｎ１
パラメーター：１バイト
ｎ１＝００ｈ：前連帳
０１ｈ：－
０２ｈ：後連帳
動　　作・前連帳のときに、前連帳の指定など、同じ指定は無視します。
・連続帳票モードで受信したとき
①前連帳に設定されているとき
・後連帳指定
前連続帳票を退避し、後連帳に切り替え、後連続帳票を自動給紙します。
②後連帳に設定されているとき
・前連帳指定
後連続帳票を退避し、前連帳に切り替え、前連続帳票を自動給紙します。
・単票モードで受信したとき
次に連続帳票モードを指定したときに有効になります。

印字圧モード設定

＜１Ｂ　７Ｃ　０Ｅ　０１　００　ｎ１＞

機　　能：印字圧を設定します。
入 力 書 式：（ＨＥＸ）１Ｂ　７Ｃ　０Ｅ　０１　００　ｎ１
パラメーター：１バイト
ｎ１＝００ｈ：標準印字圧モードに設定します。
（高複写ランプ消灯）
０１ｈ：高印字圧モード１に設定します。
（高複写ランプ点灯）
０２ｈ：高印字厚モード２に設定します。
（高複写ランプ点灯）

単票排出方向設定

＜１Ｂ　７Ｃ　０Ｆ　０１　００　ｎ１＞

機　　能：単票用紙の排出方向を設定します。
入 力 書 式：（ＨＥＸ）１Ｂ　７Ｃ　０Ｆ　０１　００　ｎ１
パラメーター：１バイト
ｎ１＝００ｈ：テーブル（手前）排出を設定します。
（手前排出ランプ点灯）
０１ｈ：スタッカー（後方）排出を設定します。
（手前排出ランプ消灯）

オートシートフィーダー制御

＜１Ｂ　１９　ｎ１＞

機　　能：オートシートフィーダー制御を指定します。
入 力 書 式：（ＨＥＸ）１Ｂ　１９　ｎ１
パラメーター：１バイト
ｎ１＝３０ｈ：オートシートフィーダーモードを解除します。
＝３１ｈ：前オートシートフィーダーを選択します。
＝３２ｈ：後オートシートフィーダーを選択します。
＝３４ｈ：オートシートフィーダーモードを設定します。
＝５２ｈ：単票用紙を排出します。

ＬＣＤ帳票名表示

＜１Ｂ　７Ｃ　１８　ｎ１　ｎ２　ｘ　Ｐ１　…Ｐ１６＞

機　　能：プリンターのＬＣＤに帳票名を表示します。
カタカナ表示で最大１６文字が表示可能です。
入 力 書 式：（ＨＥＸ）１Ｂ　７Ｃ　１８　ｎ１　ｎ２　ｘ　Ｐ１　…Ｐ１６
パラメーター：ｎ１＝０２ｈ～２１ｈ：表示する文字数＋１バイトを（ＨＥＸ）で指定します。
ｎ２＝　０　：０固定
ｘ　＝８７ｈ：左詰め表示。
＝８４ｈ：右詰め表示。
＝０７ｈ：表示解除。
Ｐ１～Ｐ１６：表示する文字の文字コードを指定します。

拡大文字指定コマンド

＜１Ｂ　７Ｃ　２１　０２　００　Ｐ１　Ｐ２＞

機　　能：ＡＮＫ文字の拡大率を指定します。
　　１倍～１６倍までの指定が可能です。
入 力 書 式：(ＨＥＸ) １Ｂ　７Ｃ　２１　０２　００　Ｐ１　Ｐ２
パラメーター：Ｐ１：縦方向の倍率を（ＨＥＸ）で指定します。
　　Ｐ２：横方向の倍率を（ＨＥＸ）で指定します。

パラメーター(P1, P2)	倍率
<01>16	1
<02>16	2
<03>16	3
<04>16	4
<05>16	5
<06>16	6
<07>16	7
<08>16	8

パラメーター(P1, P2)	倍率
<09>16	9
<0A>16	10
<0B>16	11
<0C>16	12
<0D>16	13
<0E>16	14
<0F>16	15
<10>16	16

■コマンドの動作

●0mm 給紙

【単票モード】のとき

・単票給紙状態では0mmの位置で一旦停止し、印字データ、改行系コマンドでメニュー設定位置まで移動（改行）して印字します。ただし、頭出し位置指定コマンドで頭出し位置を指定した場合は、メニュー設定位置ではなく、コマンドで指定した位置へ移動します。

・0mmの位置以外の単票給紙状態で、連続帳票・単票の指定コマンド（lB 7C 03...）や用紙モード切り替えコマンド（lB 7C 0C...）による単票指定を受信した場合は、コマンドを受け捨てます。

・0mmの位置で複数回頭出し位置指定コマンドを受信した場合は、最後のコマンドで指定した位置が有効です。

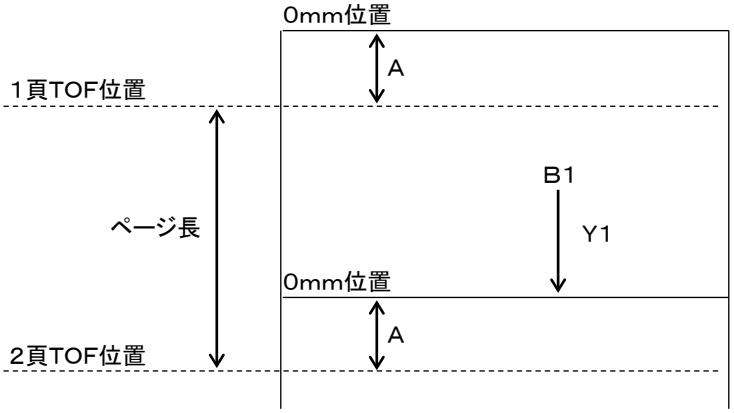
・0mm位置から改行、微小正逆改行をした場合、コマンドまたはメニュー設定の位置に移動してから改行します。

・0mm位置から改頁をした場合、コマンドまたはメニュー設定の頭出し位置に移動してから排紙します。

【連続帳票モード】のとき

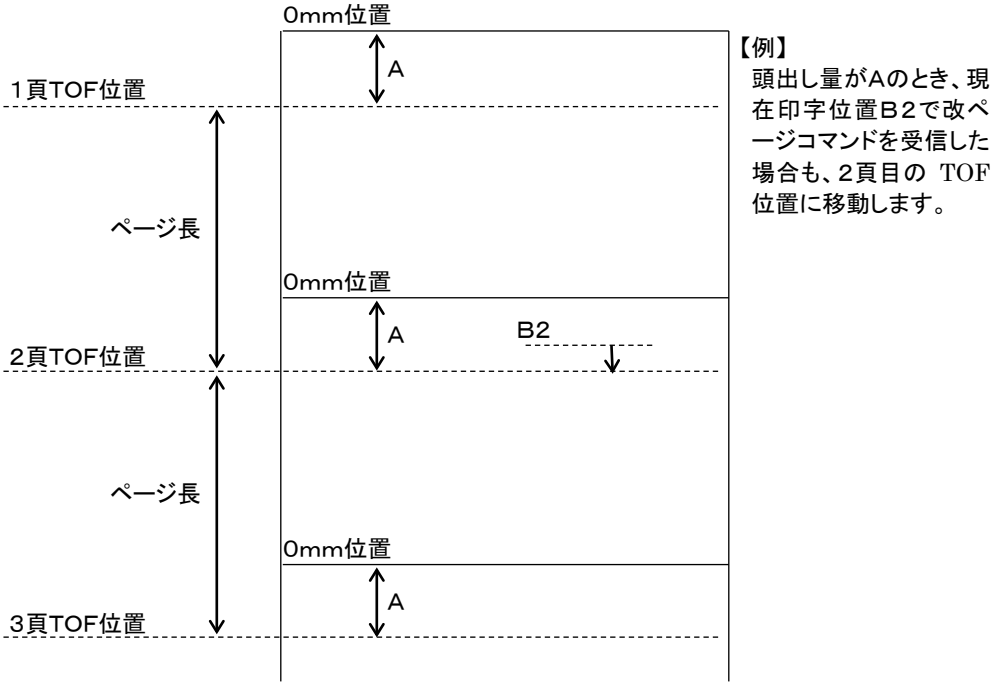
・連続帳票給紙状態では0mmの位置で一旦停止し、印字データ、改行系コマンドでメニュー設定位置まで移動(改行)して印字します。ただし、頭出し位置指定コマンドで頭出し位置を指定した場合は、メニュー設定位置ではなく、コマンドで指定した位置へ移動します。

・連続帳票モードで改ページコマンドを受信した場合は、次のページのTOF位置（頭出し位置コマンドで指定された位置または、メニュー設定の吸入位置で一旦停止します。）
その位置で次の頭出し位置コマンドを受信した場合は、コマンドは無視されます。



【例】
頭出し量がAのとき、1頁のB1位置で改ページコマンドを受信すると、2頁目の TOF 位置となります。

・改頁コマンドを0mmとTOF位置の間で受信した場合も同様です。



・0mmの位置で頭出し位置指定解除コマンドを受信した場合は、改行系コマンドの受信で、メニュー設定値まで移動(改行)します。

・電源を入れたときは、用紙は常に0mmの位置とします。

・0mm位置で複数回頭出し位置指定コマンドを受信した場合、最後に受信したコマンドの指定位置を有効とします。

・0mmの位置から、改行スイッチを押すかまたは微小正・逆改行をした場合は、コマンドの設定またはメニュー設定の位置に移動してから改行を行います。

・0mmの位置から改ページスイッチを押した場合は、コマンドの指定またはメニュー設定の位置に移動して改ページ動作を行います。

●連続帳票退避失敗時

連続帳票(最大 22 インチ)が退避しきれなかった場合、調整値変更メニューの「帳票退避時間設定」で設定されている時間ブザーを鳴らします。

設定されている時間を経過しても用紙が退避しない場合は、オフライン状態となります。

設定時間内に用紙を退避した場合は「用紙選択」スイッチ待ち状態となります。

●単票排出失敗時

単票排出時に用紙ジャムとなった場合、用紙ジャムアラームでエラーを出力します。

連続帳票指定への切り替えを指定していた場合は、連続帳票の切り替えは行いません。

制限事項

■電源について

・電源は必ず AC100V(50Hz または 60Hz)を使用してください。

・電源コードの抜き差しは、電源スイッチを必ず“OFF”にして、プラグの部分を持って行ってください。電源コードは引っ張らないでください。

・電源 OFF 後再び電源 ON する場合、1 分以上間隔を開けて電源 ON してください。

■設置時

・凹凸のない水平な所に設置してください。

・机の上に置くとき、プリンターを斜めにして引きずらないでください。

・湿気の多い場所、ほこりの多い場所、潮風にさらされる場所では、使用しないでください。

・直射日光があたる場所や、ヒーターのような熱器具の近くに置かないでください。

・エアコンの前など極端に温度や湿度が変化する場所には置かないでください。

・強い振動、衝撃の伝わる場所や、強い磁界、腐食性ガスの発生する場所は避けてください。

・落としたり、ぶつけたりしないでください。

・電圧、電流が急激に変動する場所は避けてください。

・プリンターのケース底面には、内部温度の上昇を防ぐため、通風孔を設けています。そのため通風孔をふさがないでください。

■使用時

・連続帳票を使用し、より用紙送り精度の高い印字を行うときは、前連帳で印字することをおすすめします。

・用紙なしで印字しないでください。また、用紙のない領域へは印字しないでださい。印字ヘッドを傷つけることがあります。

・専用リボンカセットを使用してください。ほかのリボンを使用すると、印字ヘッドピンの寿命を早める恐れがあります。

・用紙は、規格内のものを使用してください。

・リボンカセット交換時、リボンがたるんでいないことを確認してから動作させてください。

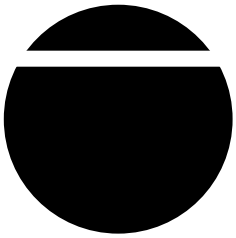
・プリンター内に、クリップや虫ピンなどの異物を落とさないようにしてください。

・動作中（電源投入時）には、プリンター内部に手や、異物を入れないでください。

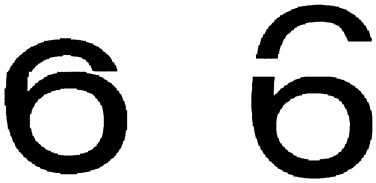
・プリンターを分解しないでください。故障の原因となる場合があります。

・印字中は、絶対にトップカバーを開けないでください。

・紙送り量のバラツキなどで、次のように一部が欠けるような印字になることがあります。ベタ印字で特に単票で目立ちますが、異常ではありません。



・縦倍角文字やイメージモードなどのように 1 つの文字が 2 行分以上にまたがると、次のようにつまったり、空いて印字されることがあります。文字内で紙送り（改行）が起こるため、用紙送り精度のわずかな誤差で発生します。
重要度の高い伝票や書類などへの数字や文字の印字は、プリンター搭載フォントを使用し 1 度で印字してください。



消耗品の廃棄について

使用済みの消耗品は、法令・条例に従って産業廃棄物としてお客様にて処分をお願いします。
お客様が処理業者に処理を委託する場合で、(公財)日本産業廃棄物処理振興センターが発行する伝票(産業廃棄物マニュフェスト)への記載が必要となった場合に、下記に本消耗品の種類・特性などを示しますので、伝票記載時の参考にしてください。

産業廃棄物処理マニュフェスト情報

消耗品内訳	マニュフェスト情報			
名　称	種　類	形　状	重金属等有無	特　性
リボンカセット	廃プラスチック	固　形	無　し	―

有償交換部品のご案内

■有償部品

次の一覧表の数値はあくまでも目安であり、故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期に部品交換が必要となる場合があります。

有償部品

部品名	交換の目安
印字ヘッド	約4年または約6億ドット／ピンのいずれか早いほう
電源ユニット DVボード ROMボード	約5年または約15，000時間のいずれか早いほう

交換目安の条件

印字ヘッドが寿命の場合、印字が薄くなったり、ドット抜けが発生します。

・1日あたり8時間使用

・一ヶ月25日稼働

・A4用紙（漢字700字程度）を1日100枚プリント

■電解コンデンサーの寿命について

⚠注意

このプリンターに使用されているアルミ電解コンデンサーは有寿命部品です。設計寿命は、月２００時間使用で約５年です。
寿命になると、電解液の漏れや枯渇が生じます。
特に電源ユニットでの電解液漏れは、発煙の原因になることがあります。これらの危険を避けるために、設計寿命を越えて使用する場合は、有寿命部品単位で交換してください。
また、業務用など昼夜連続運転相当では５年より寿命は短くなります。

fit7850Pro-H/fit7650Pro-H

取扱説明書

発 行 日　2026 年 3 月 第 4 版

発行責任　富士通アイソテック株式会社

● 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

● 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。

● 無断転載を禁じます。